

看護学部

看護学科

(授業科目名 五十音順)

科目名	医療英語		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	前田 葵、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] Acquisition of the fundamental communication skills between nurses and patients in English				
[授業概要] As globalization continues, more foreigners have been entering Japan than ever before. Even in the medical field, the demand for the ability to communicate in English between nurses and patients, is increasing. Therefore, we live in an age where English education for doctors, nurses and caretakers is a necessity. In this course, through emphasis on communication between nurses and patients, students acquire the ability to understand patients and make them feel secure. To accomplish this goal we will focus on speaking and listening skills through the following materials. Furthermore we develop reading abilities in order to understand medical records written in English by doctors. グローバル化が進む中、日本でも多くの外国人の入国がみられる現在となった。医療の現場でも看護師と患者との間における英語コミュニケーション能力の需要が高まっている。それゆえ医師、看護師、介護士の特別な英語教育はもはや避けて通れない時代となった。この授業では特に看護師と患者のコミュニケーションを重視して患者の立場を十分理解して安心できる対応がとれるようコミュニケーションの能力を身につける。そのためにはスピーキング、リスニングを中心に授業を進行し、さらに医師が英語で書いたカルテも理解できるようにリーディング力も養っていく。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Read the textbook well before class and memorize the medical terms we learn in the previous class.				
[授業計画] 1. Classroom activities (based on textbook lesson 1～3) 2. Classroom activities (based on textbook lesson 4～6) 3. Classroom activities (based on textbook lesson 7～8) 4. Classroom activities (based on textbook lesson 9～11) 5. Classroom activities (based on textbook lesson 12～14) 6. Classroom activities (Review) 7. Classroom activities (Review)				

科目名	医療英語	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田 葵、教務助手		
[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 遠隔授業の場合はmanabaを通じてフィードバックするが、対面授業の時は翌週に行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:Active Participation 授業内でのグループディスカッションやグループワーク等 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:PresentationとFinal Assessment 授業内でのグループディスカッションやグループワーク等 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:Active Participation [教科書(ISBN)] 書籍名:Speaking of Nursing 看護系学生のための英語コミュニケーション 著者名:Peter Vincent 著 Alan Meadows 著 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523178507 [参考書(ISBN)]			

科目名	医療看護実習 I		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	玉木 敦子、藤原 由子、高橋 秋絵、横内 光子、奥井 早月、西原 詩子、関尾 裕子、吉原 文子、高呂 節子、小枝 美由紀、原口 梨那、小野 聖子、西原 翼、菅野 由美子、坂口 めぐみ、上田 志津恵、今野 睦美、看護助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 1.病院が個人や地域に対して担う役割について説明することができる。 2.看護師の実践と役割について実習体験をもとに説明することができる。 3.入院患者の生活や病気の体験について自分の言葉で表現できる。 4.実習を通して今後の自分の課題を見出すことができる。 [授業概要] 医療看護実習 I では、病院オリエンテーション、看護業務・看護実践の見学を通して、病院や看護師の役割について学ぶ。また、患者とのコミュニケーションを通して入院生活や病気の体験を知ることが目的とする。この実習を通して学生自身がこれから学んでいくべき課題を見出すことをねらいとしている。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・病院実習にふさわしい身だしなみ、マナーを身につけ、心身の健康を整えて実習に臨む。 ・病院実習の学びを深めるために、実習前に学内で行われるオリエンテーションや事前演習に必ず参加し、事前課題に取り組む。 [授業計画] 1.事前演習が始まる前に、各自で「実習ガイダンス資料」「医療看護実習 I 実習要項」を熟読する。 2.実習前に学内で行われるオリエンテーションや事前演習に必ず出席する(日時と場所は別途伝える)。 3.充実した実習を行うために計画的に事前課題に取り組み、健康管理に気をつける。 4.病院実習初日に、実習病院の看護部門より病院の理念、組織、役割、設備、看護体制などについてオリエンテーションを受け、施設見学を行う。 5.病院実習では、看護師に同行して看護実践の場面や業務を見学する。また看護師から紹介を受け、患者とのコミュニケーションを通して入院生活や病気の体験を知る。 6.病院実習終了時には毎日デイリーカンファレンスを行う。看護師長または実習指導者に参加を依頼し、学生が主体的に行うデイリーカンファレンスでは、実習で感じたこと、気づいたこと、疑問などをメンバーとディスカッションする。 7.病院実習最終日のカンファレンスには看護部長または看護部の教育担当者、看護師長、実習指導者等に参加を依頼し、学生は3日間の病院実習から得た学びを報告する。 8.実習最終日は学内でカンファレンスを行う。実習を通して学んだことを学生同士で共有し、自らの成長や学習課題について考えを深める。				

科目名	医療看護実習Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	玉木 敦子、藤原 由子、高橋 秋絵、横内 光子、奥井 早月、西原 詩子、関尾 裕子、吉原 文子、高呂 節子、小枝 美由紀、原口 梨那、小野 聖子、西原 翼、菅野 由美子、坂口 めぐみ、上田 志津恵、今野 睦美、看護助手		

[成績評価方法]
目標到達度(課題レポートを含む)80%、実習への参加態度(20%)を総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
* 学内最終日にカンファレンスや個人面談を通してフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム)
生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解)
生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力)
自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理実践と道徳的態度)
看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加)
社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力)
保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 目標到達度(課題レポートを含む)、実習への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出

科目名	医療看護実習Ⅱ（急性期）		前期～後期	3 単位
サブタイトル			実習	
担当者	横内 光子、藤原 由子、小野 聖子、西原 翼、成人分野助手			
〔アクティブラーニング授業〕				
PBL（課題解決型）	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他	学内ではシミュレーション演習、臨地では実践演習	実務経験のある教員による授業	○	
〔 到達目標 〕 1.周手術期にある患者、急性発症の状況にある患者の身体・精神・社会的な特徴について理解できる。 2.急激に変化する患者の全身状態に応じて提供される看護の内容とその意図を理解し、指導を受けながら看護を実践することができる。 3.患者が手術や侵襲的治療を受けるにあたり、利用できる医療資源や社会資源、短期的および長期的な支援を行う医療連携体制について考えることができる。 4.急性期にある患者とその家族に関わる姿勢や、急性期看護に必要な態度を身に付けることができる。 5.看護実践の体験を通して感じたことや考えたことを学生同士で話し合い、急性期にある患者の特徴と看護について考えることができる。				
〔 授業概要 〕 成人期から老年期にある患者を対象とし、何らかの病気または傷害により、手術をはじめとする身体的負担の大きい治療を受ける急性期にある患者の身体・精神・社会的な特徴を理解する。患者およびその家族にとって、生命や健康が危機的状態におかれる体験の意味を理解し、回復に影響を及ぼす患者とその家族の特性をアセスメントすることで、苦痛を緩和し、患者とその家族のもつ回復力を最大限に引き出すための看護を学ぶ。 科学的根拠に基づいた専門的知識と技能を総合的に活用し、手術や治療の侵襲による心身の反応をとらえながら、症状や苦痛を緩和し、予防的ケアを行う経験を通じて急性期看護の特徴を理解する。急性期にある患者との関わりを通して、これまでに学習した知識や技能、および倫理的・道徳的態度を統合し、実践する力を養う。 実習では、急性期の実務経験のある教員と臨床における実習指導者が、急性期看護の実践ができる過程をサポートする。				
〔 準備学修（予習・復習）の内容・時間 〕 急性期看護論を含めた既習の関連科目の復習を行うこと。特に人体のしくみと機能Ⅰ・Ⅱ、疾病と治療Ⅱ・Ⅲ、感染免疫学、栄養代謝学、薬理学などの医学的基礎知識についても十分に復習しておくこと。				
〔 授業計画 〕 病院にて、以下の通り3週間の実習を行う予定にしているが、社会的な感染症の蔓延状況によっては臨地に行く期日や時間が短縮される場合がある。また見学や参加等できない項目がある場合は、学内実習等で補うことがある。 1.原則として、1～2名の周手術期患者あるいは急性疾患の患者を受け持ち、看護過程を展開しながらアセスメントと援助の実践を学ぶ。 2.原則として、受け持ち患者の検査や手術、血管内治療等を見学し、検査中、手術中あるいは治療中の看護を学ぶ。 3.手術前は、術前検査、術前訓練などを、手術後は、手術後の観察、手術後清潔の援助、離床の援助、退院指導などについて、指導を受けながら実施する。 4.実習内容は、一定の様式の実習記録に記載する。 5.日々のカンファレンスにおいて、情報や学びを共有し、学習上の問題解決を図る。 6.中間カンファレンスと最終カンファレンスにおいて、実習を通じて得た具体的な学びから、周手術期あるいは急性期にある患者・家族の特徴と看護の特徴について考察する。				

科目名	医療看護実習Ⅱ（急性期）	前期～後期	3 単位
サブタイトル		実習	
担当者	横内 光子、藤原 由子、小野 聖子、西原 翼、成人分野助手		
〔 成績評価方法 〕 目標達成度（100％） 〔 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 〕 実習記録に関しては、随時教員から学生に指導を含めたフィードバックを行う。実習の目標達成度においては、臨地における最終日において学生、実習指導者、教員の三者で面談を行う。自己評価表および最終レポートへについては教員からのコメントを記載したうえで、臨地の実習指導者から紙面上で助言が得られた場合はそちらも合わせて学生へ年度末に返すこととする。 〔 オフィスアワー（質問等の受付方法） 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP） 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-1／（プロフェッショナリズム） 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:目標達成度 学科DP番号／DP内容:看護1-2／（科学的根拠に基づいた課題対応能力） 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:目標達成度 学科DP番号／DP内容:看護2-2／（看護の表現力） 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:目標達成度 学科DP番号／DP内容:看護2-3／（倫理の実践と道徳的態度） 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:目標達成度 学科DP番号／DP内容:看護3-2／（協働・協力） 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:目標達成度 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:目標達成度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:目標達成度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:目標達成度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢 成績評価方法:目標達成度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:目標達成度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:目標達成度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:目標達成度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:目標達成度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:目標達成度 〔 教科書（ISBN） 〕 〔 参考書（ISBN） 〕 書籍名:ナースング・グラフィカ 成人看護学(4):周術期看護 第4版 著者名:中島 恵美子 出版社名:メディカ出版 ISBN:9784840475396 書籍名:臨床外科看護総論 第12版 著者名:池上 徹 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049986 書籍名:臨床外科看護各論 第10版 著者名:北川 光雄 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049900			

科目名	医療看護実習Ⅱ（精神）		後期	2 単位
サブタイトル			実習	
担当者	玉木 敦子、高橋 秋絵、精神分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 精神障がいをもつ人の価値観や人権を尊重しながら関わり、人間関係構築のプロセスを体験しながら、自己洞察、他者理解を深め、説明することができる。 2. 精神障がいをもつ人の体験に寄り添い、生活援助やプログラムへの参加を通して、心身の健康状態や心理・社会的要因が生活や対人関係に及ぼす影響を説明することができる。 3. 精神障がいをもつ人のセルフケアの維持・向上、自立や自己実現に向けた看護援助について考察し、説明することができる。 4. 精神科病院や地域で行われているさまざまな治療的アプローチや支援を学び、チーム医療における看護職の役割や他職種との連携、精神障がいをもつ人が利用できる社会資源について説明できる。				
[授業概要]				
精神障がいをもつ人と人間関係を構築するプロセスの中で、自己洞察、他者理解を深める。また対象者の体験に寄り添い、生活援助を実践しながら、心身の健康状態や心理・社会的要因が生活や対人関係に及ぼす影響を理解し、セルフケアの維持・向上、自立や自己実現に向けた看護援助について考察する。さらに、精神科病院や地域で行われているさまざまな治療的アプローチや支援、チーム医療における看護職の役割や他職種との連携、精神障がいをもつ人が利用できる社会資源について学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
・実習に臨む前に、各自で「実習ガイダンス資料」、「医療看護実習Ⅱ（精神）実習要項」、配布された実習施設関連資料を熟読する。 ・オリエンテーションに必ず参加する。 ・「精神看護論」、「疾病と治療Ⅳ」、「精神看護支援技術演習」で学習した内容を復習して実習に臨む。				
[授業計画]				
[オリエンテーション]				
・学内オリエンテーション・学外オリエンテーション(学外特別講師が担当)・直前オリエンテーションに必ず参加する。				
[病棟実習]				
・実習期間のうち4日間は病棟実習を行う。患者1名を受け持ち、原則として看護師とともに生活援助を行う。 ・実習中は受け持ち患者と活動をともし、作業療法や心理教育などの治療的アプローチに積極的に参加する。 ・実習指導者や教員の指導を受けながら、受け持ち患者と積極的にコミュニケーションをとる。 ・実習指導者や教員の指導を受けながら、受け持ち患者のセルフケアに関する情報収集、アセスメントを行う。 ・実習中は毎日カンファレンスを行う。それぞれの学生の体験や実習上の課題を共有し、学びを深めるためにディスカッションする。 ・病棟実習最終日のカンファレンスは、4日間の病棟実習を通して学んだことを発表し、共有する。				
[デイケア実習]				
・実習期間のうち1日は、精神科デイケアにて実習を行う。実習担当者に指示や指導を受けながら、利用者とともにプログラムに参加する。				
[地域の精神保健福祉施設実習]				
・実習期間のうち3日間は、地域の精神保健福祉施設にて実習を行う。実習担当者や事業所職員に指示や指導を受けながら、利用者とともにプログラムや活動等に参加する。 ・実習担当者や事業所職員の指示や指導を受けながら、積極的に利用者とコミュニケーションをとる。				
[学内実習]				
・1週目の学内実習日は、実習中に記載したプロセスレコードを用いたグループワークと、1週目に行った実習のまとめを行う。 ・2週目の学内実習日は、2週目に行った実習のまとめと、全員で振り返りを行う全体カンファレンスを行う。 ・全体カンファレンスでは、実習を通して学んだことを学生同士で共有し、自らの成長や学習課題について考えを深める。				

科目名	医療看護実習Ⅱ（精神）	後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	玉木 敦子、高橋 秋絵、精神分野助手		
[成績評価方法] 目標到達度（70％）、課題レポート（10％）、実習への参加態度（20％）を総合的に評価する。			
[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法] ＊学内日にはカンファレンスや個人面談を通してフィードバックを行う。			
[オフィスアワー（質問等の受付方法）] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]			
学科DP番号／DP内容：看護1-3／（人が病むことへの関心と理解） 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
学科DP番号／DP内容：看護2-2／（看護の表現力） 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
学科DP番号／DP内容：看護2-3／（倫理の実践と道徳的態度） 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をととして道徳的態度が身についている。 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
学科DP番号／DP内容：看護3-2／（協働・協力） 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：目標到達度、課題レポート、実習への参加態度			
[教科書（ISBN）] 書籍名：精神看護学 第3版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 著者名：田中 美恵子 出版社名：医歯薬出版			

科目名	医療看護実習Ⅱ（慢性期）		前期～後期	3 単位
サブタイトル			実習	
担当者	横内 光子、藤原 由子、奥井 早月、関尾 裕子、高呂 節子、成人分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	

〔到達目標〕

1.人はセルフケアを行う力を潜在的に持っているという視点に立ち、病気や障害に対処している慢性病患者を、一人の人として深く理解することができる。
2.慢性病患者が健康を維持できるように必要な看護を考え、実践することができる。
3.慢性病患者の療養を支えるチーム医療や継続看護について知ることができる。
4.看護を実践することを通して、倫理的・道徳的態度を身につけることができる。
5.看護の体験を通して感じたことや考えたことを学生同士で話し合い、慢性病患者の特徴や慢性病患者への看護について考えることができる。

〔授業概要〕

成人期から老年期にある慢性病患者を受け持ち、長期にわたり病気や障害に対処してきた患者の病みの軌跡や治療の特徴をとらえる。ライフサイクルや社会的役割など、患者が置かれた状況を病気の体験と関連づけて理解する。症状や心身の苦痛緩和、病気の急性増悪や合併症の予防、病みの軌跡を予測し療養方法を調整するなど患者のセルフケアを支え、患者が健康を維持できるように必要な看護を実践する。看護の体験を学生同士で共有し、科学的根拠に基づいた専門的な知識や技能と自らの能力や倫理的・道徳的態度をどのように統合すればよいか、患者の療養を支える医療ケアシステムにはどのようなものがあるか、看護師は慢性病患者の健康回復にどのようにかかわっていきけるかについて討議し、考えを深める。
本実習では、慢性病患者へのケア経験のある教員と臨床にいる実習指導者が、慢性病患者の体験を理解し、その理解から支援を組み立て、実践する過程を、サポートする。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

・実習習初日までに、「実習ガイダンス資料」と「医療看護実習Ⅱ（慢性期）実習要項」を熟読する。
・健康管理を徹底する。実習開始の2週間前から健康チェックを実施し、所定のフォームに記録する。

〔授業計画〕

病院にて、以下のとおり3週間の実習を行う予定にしているが、感染症の蔓延など社会的な状況によっては、臨地に行く日や時間が短縮される場合がある。臨地で見学あるいは実践できない項目がある場合は、学内実習等で補う。

1.原則として1名の慢性病患者を受け持つ。実習1週目は、患者を深く理解して、患者と援助的関係を結び、情報を集めて患者のセルフケアに関するアセスメントができるよう行動する。
2.病院実習2週目は、患者のセルフケア不足に対する看護課題を明らかにする。優先度の高い看護課題から順に看護目標を設定し、看護計画の立案ができることを目指す。
3.病院実習3週目は看護を実践し、看護目標の到達度を評価、あるいは次の看護につなげることができるよう行動する。
4.実習内容は、所定の様式の実習記録に記載する。
5.日々のカンファレンスにおいて、実習で感じたこと、気付いたこと、疑問などについてテーマを決め、グループで討議する。
6.中間カンファレンスでは、受け持った患者のアセスメントできたセルフケア不足と看護課題を発表し、どのような方向で看護ケアをおこなっていくかを考える。
7.中間カンファレンスの翌日に学内日を設ける。中間カンファレンスでの意見を踏まえて学生は、各自で必要な資料や文献を調べ、看護計画を完成させる。
8.病院実習最終日には病院最終カンファレンスを、実習最終日には、学内にて合同カンファレンスを行う。受け持った患者へ実践した看護や、実習で得られた学びを、実習指導者や異なる医療施設で実習を行った学生と共有し、慢性病患者の特徴や慢性病患者への看護について考察する。

科目名	医療看護実習Ⅱ（慢性期）	前期～後期	3 単位
サブタイトル		実習	
担当者	横内 光子、藤原 由子、奥井 早月、関尾 裕子、高呂 節子、成人分野助手		

〔 成績評価方法 〕
目標到達度（100％）

〔 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 〕
実習記録に関しては、随時教員から学生に指導を含めたフィードバックを行う。
実習の目標到達度については、臨地で学生、実習指導者、教員の三者で面談を行う。学生は、実習で成長できた点や今後の課題などについて、個別にフィードバックを受ける。
自己評価表および課題レポートについては、教員からのコメントを記載、実習指導者から助言が得られた場合はそれも合わせて学生へ年度末に返却する。

〔 オフィスアワー（質問等の受付方法） 〕
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

〔 メールアドレス 〕
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP） 〕

学科DP番号／DP内容:看護1-2／（科学的根拠に基づいた課題対応能力）
人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。
成績評価方法: 目標到達度

学科DP番号／DP内容:看護1-3／（人が病むことへの関心と理解）
生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。
成績評価方法: 目標到達度

学科DP番号／DP内容:看護2-2／（看護の表現力）
自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。
成績評価方法: 目標到達度

学科DP番号／DP内容:看護2-3／（倫理の実践と道徳的態度）
看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をととして道徳的態度が身についている。
成績評価方法: 目標到達度

学科DP番号／DP内容:看護3-2／（協働・協力）
保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。
成績評価方法: 目標到達度

〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 目標到達度

科目名	医療と法	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	阪上 武仁、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 医療を担う者として相応しい法的知識を身につける。			
[授業概要] この授業では、医療と法をめぐる具体的な問題点を学ぶ。まず、医療に関連する法規は数が多く、複雑であるため、医療関連法規の概要を学習する。その上で、よく耳にするインフォームド・コンセント、安楽死・尊厳死や医療従事者に課せられる守秘義務などの医療と人権に関するテーマについて、具体例を念頭におきながら検討する。また、生殖補助医療や性同一性障害などの生命倫理と深く結びついているテーマについて、これらの法的な規制や課題を検討する。さらに、高齢化社会や医療事故などの現代社会における法的問題についても学ぶ。 医療事件の取扱い経験がある弁護士である教員が、実際に直面した問題意識などを踏まえて指導する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 話題となっている医療関係の報道に留意してください。授業ごとの授業準備と復習に4時間程度の時間をかけてください。			
[授業計画] 1. はじめに (9月26日(金)4限) 2. 医療関係法規の概略 (10月3日(金)4限) 3. 医療と人権1(守秘義務、インフォームド・コンセントなど) (10月10日(金)4限) 4. 医療と人権2(安楽死・尊厳死、脳死判定など) (10月17日(金)4限) 5. 医療と生命倫理と法1(生殖補助医療、遺伝子関連医療など) (10月24日(金)4限) 6. 医療と生命倫理と法2(人工妊娠中絶、性同一性障害など) (10月31日(金)4限) 7. 医療と現代社会(医療事故、高齢化社会と医療など) (11月7日(金)4限) 8. 試験 (11月14日(金)4限)			

科目名	医療と法	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	阪上 武仁、教務助手		
[成績評価方法] 試験(100%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験実施後、解答を提示し説明します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: [教科書(ISBN)] 書籍名:医事法入門[第6版] 著者名:手嶋 豊 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641222045 [参考書(ISBN)]			

科目名	医療と法	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	阪上 武仁、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 医療を担う者として相応しい法的知識を身につける。			
[授業概要] この授業では、医療と法をめぐる具体的な問題点を学ぶ。まず、医療に関連する法規は数が多く、複雑であるため、医療関連法規の概要を学習する。その上で、よく耳にするインフォームド・コンセント、安楽死・尊厳死や医療従事者に課せられる守秘義務などの医療と人権に関するテーマについて、具体例を念頭におきながら検討する。また、生殖補助医療や性同一性障害などの生命倫理と深く結びついているテーマについて、これらの法的な規制や課題を検討する。さらに、高齢化社会や医療事故などの現代社会における法的問題についても学ぶ。 医療事件の取扱い経験がある弁護士である教員が、実際に直面した問題意識などを踏まえて指導する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 話題となっている医療関係の報道に留意してください。授業ごとの授業準備と復習に4時間程度の時間をかけてください。			
[授業計画] 1. はじめに (9月26日(金)4限) 2. 医療関係法規の概略 (10月3日(金)4限) 3. 医療と人権1(守秘義務、インフォームド・コンセントなど) (10月10日(金)4限) 4. 医療と人権2(安楽死・尊厳死、脳死判定など) (10月17日(金)4限) 5. 医療と生命倫理と法1(生殖補助医療、遺伝子関連医療など) (10月24日(金)4限) 6. 医療と生命倫理と法2(人工妊娠中絶、性同一性障害など) (10月31日(金)4限) 7. 医療と現代社会(医療事故、高齢化社会と医療など) (11月7日(金)4限) 8. 試験 (11月14日(金)4限)			

科目名	医療と法	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	阪上 武仁、教務助手		
[成績評価方法] 試験(100%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験実施後、解答を提示し説明します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:医事法入門[第6版] 著者名:手嶋 豊 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641222045 [参考書(ISBN)]			

科目名	栄養代謝学		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	高橋 玲比古、中岡 亜希子、西原 詩子、基礎分野助手、生活援助分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	学生ないし教員からの疑問点や課題等をグループワークでディスカッションし、学生が結果を発表する。]	実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 栄養の基礎知識を看護の視点を踏まえて学び、栄養と健康や疾病について理解を深める。特に療養生活と栄養について対象の病態や栄養状態の特徴に基づいた適切な看護援助が理解できる。				
[授業概要] 人間は食物を身体に取り込み、それを物理・化学的に処理(消化、吸収、代謝)して生命維持に役立てている。 人々が生きるうえでの代謝・栄養との関連を理解し、臨床看護実践における技術につながる健康の維持や増進、および療養生活や疾病予防について代謝・栄養の役割を理解し、援助につなげることができる知識を学ぶ。具体的には、栄養素の基礎知識、消化と吸収、エネルギー代謝、疾病時の栄養などを学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] あらかじめ授業計画に示された内容について、教科書を熟読し、manabaにUpする補助資料にも目を通し、疑問点を整理して授業に臨む。「人体のしくみと機能I、II」で関連する領域があるので参考にする。 予復習は講義時は合わせて4時間程度、演習時は合わせて2時間程度				
[授業計画] 1. 栄養代謝学を学ぶための基礎知識(講義)生化学を学ぶための基礎知識/代謝の基礎と酵素・補酵素(教科書1 pp.4-48)(高橋玲比古)(9月29日月曜日)3限 2. 糖質代謝(講義)糖質の構造と機能/糖質代謝 (教科書1 pp.49-96)(高橋玲比古)(10月6日月曜日)3限 3. 脂質代謝(講義)脂質の構造と機能/脂質代謝 (教科書1 pp.97-128)(高橋玲比古)(10月13日月曜日)3限 4. タンパク質代謝(講義)タンパク質の構造と機能/タンパク質代謝 (教科書1 pp.129-154)(高橋玲比古)(10月20日月曜日)3限 5. 遺伝情報(講義)遺伝子と核酸/遺伝子の複製・修復・組換え/転写/翻訳と翻訳後修飾(教科書1 pp.169-244)(高橋玲比古)(10月27日月曜日)3限 6. 1)健康と栄養(講義)健康と栄養評価/日常生活と栄養/スポーツと栄養 2)食物と栄養(講義)栄養素とその働き/食物の摂取と消化・吸収/ライフステージと健康教育(教科書2 pp.1-157)(高橋玲比古)(11月17日月曜日)3限 7. 疾患と栄養(講義)疾患別食事指導の実際、経管栄養と中心静脈栄養(教科書2 pp.159-274)(高橋玲比古)(11月24日月曜日)3限 (8) 試験(高橋玲比古、西原詩子、黒住智子)(11月26日水曜日)4限 9. ヘルスアセスメント(講義)(中岡亜希子)(11月27日木曜日)3限 10.11.体格のアセスメント 1)(演習)Aクラス Bクラス 栄養のアセスメント 1)(演習)Aクラス Bクラス(中岡亜希子、西原詩子、黒住智子)(12月4日木曜日)3、4限 F417・419・311 12.13. 体格のアセスメント 2)(講義・演習)栄養のアセスメント 2)(講義・演習)(中岡亜希子、黒住智子)(12月11日木曜日)3、4限 14. 健康の維持増進のための栄養・代謝による患者教育 (講義)(中岡亜希子、黒住智子)(12月18日木曜日)3限				

科目名	栄養代謝学	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高橋 玲比古、中岡 亜希子、西原 詩子、基礎分野助手、生活援助分野助手		
[成績評価方法] 試験(50%)、講義・演習の授業態度・課題(50%) 第9回以降は演習となるため、30分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題レポートや授業コメントに対して、翌週等に教員から、もしくはmanaba等を利用してフィードバックを行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 [教科書(ISBN)] 書籍名:系統看護学講座 生化学 著者名:畠山鎮次 出版社名:医学書院 ISBN:97842600355569 書籍名:わかりやすい栄養学 第5版 著者名:中村美知子・長谷川恭子 出版社名:ヌーヴェルヒロカワ ISBN:978486174076 書籍名:糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版 著者名:日本糖尿病学会 出版社名:日本糖尿病協会・文光堂 ISBN:978483066046 [参考書(ISBN)]			

科目名	疫学	前期	2 単位
サブタイトル	Epidemiology	講義	
担当者	加藤 憲司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 1. 疫学の基本となる概念・用語・指標を説明できる。 2. 疫学的研究方法を説明することができる。 [授業概要] 疫学とは、人間集団や地域集団を対象とし、そこに発生する疾病の流行動態を明らかにするとともに、原因を探求・特定し、疾病予防を目指す学問である。この科目では、疫学的研究方法、保健指標の理解と考察、疫学の効用と限界などについて学んだうえで、看護職として科学的根拠に基づく実践(Evidence Based Practice: EBP)を実行し得る能力を涵養することを目的とする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。 2. 日頃から授業に関係するニュース等に関心を持ち学んでおくこと。 3. 各回、予習復習あわせて4時間程度。 [授業計画] 1. 疫学とは何か (4月14日月曜日)3限 2. 曝露と疾病発生 (4月21日 月曜日)3限 3. 因果関係の判断条件〈小テスト〉(4月28日 月曜日)3限 4. 疫学研究における倫理〈小テスト〉(5月12日 月曜日)4限 5. 疾病頻度の指標〈小テスト〉(5月19日 月曜日)4限 6. 曝露効果の指標〈小テスト〉(5月26日 月曜日)4限 7. 疫学研究のデザイン〈小テスト〉(6月 2日 月曜日)3限 8. バイアス・交絡〈小テスト〉(6月 9日 月曜日)3限 9. スクリーニング〈小テスト〉(6月16日 月曜日)3限 10. 保健統計調査〈小テスト〉(6月23日 月曜日)3限 11. 主な疾患の疫学〈小テスト〉(6月30日 月曜日)3限 12. 疫学と公衆衛生活動〈小テスト〉(7月 7日 月曜日)3限 13. まとめ (7月14日 月曜日)3限			

科目名	疫学	前期	2 単位
サブタイトル	Epidemiology	講義	
担当者	加藤 憲司		
[成績評価方法] 授業後に実施する計10回の課題(保健師国家試験に準ずる形式)の合計 80% 授業態度 20% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各回の小テストの解説を次回講義時に実施する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: [教科書(ISBN)] 書籍名:疫学・保健統計 ―看護師・保健師・管理栄養士を目指す― 著者名:松本泉美・文鐘聲 編著 出版社名:建帛社 ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	疫学	前期	2 単位
サブタイトル	Epidemiology	講義	
担当者	加藤 憲司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 1. 疫学の基本となる概念・用語・指標を説明できる。 2. 疫学的研究方法を説明することができる。 [授業概要] 疫学とは、人間集団や地域集団を対象とし、そこに発生する疾病の流行動態を明らかにするとともに、原因を探求・特定し、疾病予防を目指す学問である。この科目では、疫学的研究方法、保健指標の理解と考察、疫学の効用と限界などについて学んだうえで、看護職として科学的根拠に基づく実践(Evidence Based Practice: EBP)を実行し得る能力を涵養することを目的とする。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。 2. 日頃から授業に関係するニュース等に関心を持ち学んでおくこと。 3. 各回、予習復習あわせて4時間程度。 [授業計画] 1. 疫学とは何か (4月14日月曜日)3限 2. 曝露と疾病発生 (4月21日 月曜日)3限 3. 因果関係の判断条件〈小テスト〉(4月28日 月曜日)3限 4. 疫学研究における倫理〈小テスト〉(5月12日 月曜日)4限 5. 疾病頻度の指標〈小テスト〉(5月19日 月曜日)4限 6. 曝露効果の指標〈小テスト〉(5月26日 月曜日)4限 7. 疫学研究のデザイン〈小テスト〉(6月 2日 月曜日)3限 8. バイアス・交絡〈小テスト〉(6月 9日 月曜日)3限 9. スクリーニング〈小テスト〉(6月16日 月曜日)3限 10. 保健統計調査〈小テスト〉(6月23日 月曜日)3限 11. 主な疾患の疫学〈小テスト〉(6月30日 月曜日)3限 12. 疫学と公衆衛生活動〈小テスト〉(7月 7日 月曜日)3限 13. まとめ (7月14日 月曜日)3限			

科目名	疫学	前期	2 単位
サブタイトル	Epidemiology	講義	
担当者	加藤 憲司		
[成績評価方法] 授業後に実施する計10回の課題(保健師国家試験に準ずる形式)の合計 80% 授業態度 20% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各回の小テストの解説を次回講義時に実施する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: [教科書(ISBN)] 書籍名:疫学・保健統計 ―看護師・保健師・管理栄養士を目指す― 著者名:松本泉美・文鐘聲 編著 出版社名:建帛社 ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	家族看護論		前期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	内 正子、藤田 冬子、横内 光子、老年分野助手、成人分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1.看護の対象としての家族を理解することができる。 2.様々な状況にある家族をアセスメントすることができる。 3.様々な状況にある家族への援助を考えることができる。 [授業概要] 看護の対象として、家族をユニットとして理解し、家族の定義、家族看護の成り立ちを学ぶ。 家族を理解するための諸理論(家族システム、家族発達、家族機能、家族エンパワメント等)を学習し、援助方法について学ぶ。 さらに、様々な状況にある人(疾患をもつ子ども、急性期の健康状態にある患者、高齢者)の家族アセスメントと家族支援について学習する。 家族看護の経験がある教員が、その経験を活かして、家族看護の概要および様々な状況にある人の家族看護を教授する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 既習の実習において、対象者の家族に目を向けておくこと。 各自、自分にとっての家族の意味を考えておくこと。 各回の授業についての予習・復習2時間程度。 [授業計画] 1.家族や家族看護の定義について学び、家族看護の成り立ちについて概観する。(内正子)4月10日木曜日2限 2.家族を理解するための理論について学び、システムとしての家族、家族の形態と機能を理解する。(内正子)4月17日木曜日2限 3. 家族のアセスメント、介入の方法について理解し、看護の役割と基本姿勢を理解する。(内正子)4月24日木曜日2限 4.疾患をもつ子どもの家族を理解し、家族への援助を学ぶ。(内正子)5月29日木曜日2限 5.急性期の健康状態にある患者の家族を理解し、家族への援助を学ぶ。(横内光子)6月5日木曜日2限 6.高齢者の家族や在宅で介護をしている家族を理解し、家族への援助を学ぶ。(藤田冬子)6月12日木曜日2限 7.家族介入の方法について事例を通して学ぶ。まとめ(内正子)6月19日木曜日2限				

科目名	家族看護論	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	内 正子、藤田 冬子、横内 光子、老年分野助手、成人分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 課題レポート(70%) 授業中の課題(30%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] KISSシステムを活用してフィードバックする [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:課題レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート [教科書(ISBN)] 書籍名:家族看護学 理論と実践 第5版 著者名:鈴木和子・渡辺裕子・佐藤律子 著 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	課題探究		前期～後期	4 単位
サブタイトル			演習	
担当者	東 ますみ、藤原 由子、藤田 冬子、玉木 敦子、内 正子、高橋 秋絵、横内 光子、菅野 由美子、奥井 早月、笹谷 真由美、中岡 亜希子、西原 詩子、関尾 裕子、吉原 文子、高呂 節子、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、坂口 めぐみ、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 専門的知識や技能、最新の研究結果を用いた看護の一連のプロセスを展開することができる。 2. 臨地の看護課題に探索的に取り組み、その成果をまとめることができる。 3. 看護の総合的な能力を高め、看護専門職としての姿勢・倫理的態度を身につけることができる。 [授業概要] 看護師免許を持つ教員が、以下の概要が理解できるように演習・実習を行う。 臨地における看護課題を焦点化していく演習とその課題を実践における探索的な取り組みへと繋げるための実習を組み合わせることで、実践への深い関心と看護への探求心を育成する。 (演習2単位:60時間) 学生個々が捉えた臨地における看護課題を焦点化し、その課題を探索していくための方法とプロセスについて演習を行う。 (実習2単位:80時間) 学生個々の看護課題を実践における探索的な取り組みへと繋げるためのフィールドワークや情報収集のための実習を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習する施設の利用者の特徴を調べ、利用者への看護について事前学習をしたうえで臨んでください。 健康状態を十分調整したうえで参加してください。 各回の演習についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習を合わせて2時間程度)。 [授業計画] 1. 合同講義:看護研究とは、リサーチクエストをたてる、研究における倫理的配慮(服部律子)(4月10日木曜日)3限 2. 合同講義:情報の検索と吟味、文献レビューとその方法(内正子)(4月10日木曜日)4限 3. 合同講義:研究デザイン、研究の設計と方法の選択(東ますみ)(4月17日木曜日)3限 4. 合同講義:データの収集(玉木敦子)(4月17日木曜日)4限 5. 合同講義:研究計画書の作成(加藤憲司)(4月21日月曜日)1限 6. 合同講義:データ分析(横内光子)(4月24日木曜日)2限 7. 合同講義:研究を伝える(藤田冬子)(4月24日木曜日)3限 8. 合同講義:ケースレポート、事例研究の進め方(中岡亜希子)(4月24日木曜日)4限 9. 地域や在宅での患者の在り方の実際を知った経験から、学生個々が関心のある臨地における看護課題について、意見交換を行う。 10. 臨地における看護課題を探索していくために、その課題に関連する国内外の研究を検索する。 11. 探し出した研究を持ち寄り、学生個々の看護課題との関連について意見交換を行う。 12. 新たに必要となったエビデンスを持ち寄り、看護課題を明確にしていくために意見交換を行い、テーマを焦点化する。 13. 看護課題を探索していくための計画を立案・発表し、意見交換を行う。 実習(10日間) ・実習オリエンテーション ・フィールドワークなどの計画について施設へ説明 ・フィールドワーク ・情報収集(インタビュー、参加観察など) ・フィールドワーク終了についてのまとめ 14. 情報の分析① 15. 情報の分析② 16. 個別指導① 17. 個別指導② 18. 個別指導③ 19. 情報の分析③ 20. 結果をまとめる① 21. 結果をまとめる② 22. 結果について看護にまつわる現象や援助の方法、看護者の役割について検討しまとめる。 23. グループ内で発表し、意見交換を行う。 24. 実習と演習を実施した結果から課題レポートを作成する① 25. 実習と演習を実施した結果から課題レポートを作成する② 26. 課題探究の成果をポスターにまとめて発表する。(12月21日土曜日)3・4限 教室 合同講義:F301 合同講義・発表会以外:指導教員の指示に従うこと				

科目名	課題探究	前期～後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東 ますみ、藤原 由子、藤田 冬子、玉木 敦子、内 正子、高橋 秋絵、横内 光子、菅野 由美子、奥井 早月、笹谷 真由美、中岡 亜希子、西原 詩子、関尾 裕子、吉原 文子、高尾 節子、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、坂口 めぐみ、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 目標到達度(40%)、課題レポートの内容(20%)、討議(演習)への参加度(20%)、実習への態度態度(20%)			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題レポートは、適宜添削して指導します。 個別面接時に適宜助言します。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習記録、実習時のカンファレンスやゼミ等での発言内容、課題レポート			
[教科書(ISBN)] 書籍名:看護研究 第2版 著者名:坂下 玲子 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049955			
[参考書(ISBN)]			

科目名	課題探究	前期～後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	加藤 憲司、小路 浩子、小坂 素子、小枝 美由紀、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 1. 地域看護の専門的知識や技能、最新の研究結果を用いた看護の一連のプロセスを展開することができる。 2. 臨地の健康課題に探索的に取り組み、その成果をまとめることができる。 3. 看護の総合的な能力を高め、看護専門職としての姿勢・倫理的態度を身につけることができる。 [授業概要] 保健師免許・看護師免許を持つ教員が、以下の概要が理解できるように演習・実習を行う。 臨地における健康課題を焦点化していく演習とその課題を実践における探索的な取り組みへと繋げるための実習を組み合わせることで、実践への深い関心と看護への探求心を育成する。 (演習2単位:60時間) 学生個々が捉えた臨地における健康課題を焦点化し、その課題を探索していくための方法とプロセスについて演習を行う。 (実習2単位:80時間) 実習では、学生個々が捉えた地域における個人・家族、集団、組織、地域の健康課題を実践における探索的な取り組みへと繋げるために、地域看護の場(行政保健・産業保健・在宅看護)でフィールドワークや情報収集を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前に実習する地域及び集団・組織の特徴を調べ、地域看護を展開するための事前学習をしたうえで臨むこと。 健康状態を十分調整したうえで参加すること。 各回の演習についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習を合わせて2時間程度)。 [授業計画] 1. 合同講義:看護研究とは、リサーチクエストをたてる、研究における倫理的配慮(服部律子)4/10(木)3限 2. 合同講義:情報の検索と吟味、文献レビューとその方法(内正子)4/10(木)4限 3. 合同講義:研究デザイン、研究の設計と方法の選択(東ますみ)4/17(木)3限 4. 合同講義:データの収集(玉木敦子)4/17(木)4限 5. 合同講義:研究計画書の作成(加藤憲司)4/21(月)1限 6. 合同講義:データ分析(横内光子)4/24(木)2限 7. 合同講義:研究を伝える(藤田冬子)4/24(木)3限 8. 合同講義:ケースレポート、事例研究の進め方(中岡亜希子)4/24(木)4限 9.地域や在宅での人々の在り方の実際を知った経験から、学生個々が関心のある臨地における健康課題について、意見交換を行う。 10. 臨地における健康課題を探究していくために、その課題に関連する研究を検索する。 11. 探し出した研究を持ち寄り、学生個々が捉えた臨地における健康課題との関連について意見交換を行う。 12. 新たに必要となったエビデンスを持ち寄り、臨地における健康課題を明確にしていくために意見交換を行い、テーマを焦点化する。 13. 看護課題を探究していくための計画を立案・発表し、意見交換を行う。 実習(10日間) ・実習オリエンテーション ・フィールドワークなどの計画について施設へ説明 ・フィールドワーク ・情報収集(インタビュー、参加観察など) ・フィールドワーク終了についてのまとめ 14. 情報の分析① 15. 情報の分析② 16. 個別指導① 17. 個別指導② 18. 個別指導③ 19. 情報の分析③ 20. 情報の分析④ 21. 結果をまとめる① 22. 結果をまとめる② 23. 結果について、地域看護にまつわる現象や援助の方法、看護者の役割について検討し、まとめる① 24. 結果について、地域看護にまつわる現象や援助の方法、看護者の役割について検討し、まとめる② 25. グループ内で発表し、意見交換を行う① 26. 実習と演習を実施した結果から課題レポートを作成する① 27. 実習と演習を実施した結果から課題レポートを作成する② 28. 課題探究の成果をポスターにまとめて発表する。(12月21日土曜日3・4限) 教室 合同講義:F301 合同講義以外:指導教員の指導に従うこと			

科目名	課題探究	前期～後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	加藤 憲司、小路 浩子、小坂 素子、小枝 美由紀、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 目標到達度(40%)、実習態度(20%)、討議への参加度(20%)、課題レポートの内容(20%)			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・学生との個別面接時に助言する。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習記録、実習中の取り組みやカンファレンス・ゼミでの発言内容、課題レポート			
[教科書(ISBN)] 書籍名:看護研究 第2版 著者名:坂下 玲子 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049955			
[参考書(ISBN)]			

P11201760A [NB4-010]

科目名	課題探究	前期～後期	4 単位
サブタイトル	演習		
担当者	服部 律子、牛越 幸子、小西 真千子、峰 博子、今野 睦美、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 1. 母性看護学や助産学の専門的知識や技能、最新の研究結果を用いた看護の一連のプロセスを展開することができる。 2. 臨床の看護課題に探索的に取り組み、その成果をまとめることができる。 3. 看護の総合的な能力を高め、看護専門職としての姿勢・倫理的態度を身につけることができる。 [授業概要] 助産師免許を持つ教員が、以下の概要が理解できるように演習・実習を行う。 臨床における看護課題を焦点化していく演習とその課題を実践における探索的な取り組みへと繋げるための実習を組み合わせで行うことで、実践への深い関心と看護への探求心を育成する。 (演習2単位:60時間) 学生個々が捉えた臨床における看護課題を焦点化し、その課題を探索していくための方法とプロセスについて演習を行う。 (実習2単位:80時間) 助産選択の学生は、助産学実習との連動において課題探究に関する実習を行う。学生個々の看護課題を実践における探索的な取り組みへと繋げるためのフィールドワークや情報収集のための実習を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・演習の準備:母性看護論、助産学概論、助産診断技術論の内容を復習し、教科書や授業資料を読み、理解しておく。母子保健に関する社会資源や実習する施設の利用者の特徴を調べる。(各演習1時間程度)、復習:ノート、資料を整理する。(各演習後の1時間程度) [授業計画] 1. 合同講義:看護研究とは、リサーチクエスションをたてる、研究における倫理的配慮(服部律子)4/10(木)Ⅲ限 2. 合同講義:情報の検索と吟味、文献レビューとその方法(内正子)4/10(木)Ⅳ限 3. 合同講義:研究デザイン、研究の設計と方法の選択(東ますみ)4/17(木)Ⅲ限 4. 合同講義:データの収集(玉木敦子)4/17(木)Ⅳ限 5. 合同講義:研究計画書の作成(加藤憲司)4/21(月)Ⅰ限 6. 合同講義:データ分析(横内光子)4/24(木)Ⅱ限 7. 合同講義:研究を伝える(藤田冬子)4/24(木)Ⅲ限 8. 合同講義:ケースレポート、事例研究の進め方(中岡亜希子)4/24(木)Ⅳ限 9. 地域において女性や妊産婦がどのように生活しているのかを知った経験から、関心のあるテーマ、看護課題を選択し、意見交換を行う。 10. 臨地における看護課題を探索していくために、その課題に関連する研究を検索する。 11. 臨地での課題に対して、問題意識をもって選択し、テーマを焦点化する。 12. 看護課題を探索していくための計画を立てる。 13. 計画を発表し、意見交換を行う。 実習(実習施設により、臨地実習もしくは学内実習、遠隔実習を組み合わせ、10日間の実習を行う) ・実習オリエンテーション ・フィールドワークなどの計画について施設へ説明 ・フィールドワーク ・情報収集(インタビュー、参加観察など) ・フィールドワーク終了についてのまとめ 14. 情報の分析① 15. 個別指導① 16. 個別指導② 17. 情報の分析② 18. 情報の分析③ 19. 結果をまとめる① 20. 結果をまとめる② 21. 結果について、看護にまつわる現象や援助の方法、看護者の役割について検討し、まとめる① 22. 結果について、看護にまつわる現象や援助の方法、看護者の役割について検討し、まとめる② 23. グループ内で発表し、意見交換を行う。 24. 実習と演習を実施した結果から課題レポートを作成する① 25. 実習と演習を実施した結果から課題レポートを作成する② 26. 課題探究の成果をポスターにまとめて発表する。12/14(土)Ⅲ・Ⅳ限			

科目名	課題探究	前期～後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	服部 律子、牛越 幸子、小西 真千子、峰 博子、今野 睦美、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
〔 成績評価方法 〕 目標到達度(40%)、実習態度(20%)、討議への参加度(20%)、課題レポートの内容(20%) 学生との個別面接時に助言する。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 課題レポートは、適宜添削して指導する。 学生との個別面接時に助言する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法: 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

P11201760B [NB4-010]

科目名	学校保健 I	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

学校保健の目的・意義を理解し、学校における保健管理の特性と現代の児童生徒の健康課題から保健教育の必要性がわかる。また、それらの知識を生かし、総合的な学校保健活動について具体的に考えることができる。

[授業概要]

文部科学省は、「学校保健とは、児童生徒の健康の保持増進を図ること、集団教育としての学校保健活動に必要な健康や安全への配慮を行うこと、自己や他者の健康の保持増進を図ることができるような能力を育成することなど学校における保健管理と保健教育である」と述べている。

児童生徒の心身の健康は、教育の基本的な到達目標として位置づけられており、学校保健は学校教育の一環として明確に制度化されている教育活動である。このような認識のもと、学校現場においての保健活動の意義と特殊性について理解するため、授業の前半では学校保健の制度と歴史、疾病管理等を概観する。

続いて後半5・8回目までの授業は毎回課題レポートを課し、児童生徒を取り巻く健康や環境に関する課題を取り上げ、各自で調べたことをまとめ、グループで発表するなどのグループワークを通して、学生自ら課題について探求し、学びを共有する。本科目は学校現場での養護教諭経験がある者が、その経験を活かして実際の学校現場の現状に即した学びが得られるように指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業内容に関連する箇所の予習および、前回の授業の復習を心がける。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

- 1.学校保健の歴史と意義、および学校保健組織について学ぶ (4月8日火曜日)1限
- 2.学校でよく見られる感染症とその対応、疾病管理の概要を学ぶ (4月15日火曜日)1限
- 3.学校における疾病管理と、慢性疾患など特別な配慮の必要な子供と家族の現状を理解し、医療的ケアを含む支援のあり方を学ぶ (4月22日火曜日)1限
- 4.子供の虐待の背景や現状を知り、学校での支援について考える (5月13日火曜日)1限
- 5.喫煙、飲酒、薬物乱用について現状を把握し、防止教育について考える (5月20日火曜日)1限
- 6.学校における性教育について、性感染症の予防、いのちの教育の観点から考える (5月27日火曜日)1限
- 7.インターネット、メディアと子どもの健康について考える (6月3日火曜日)1限

科目名	学校保健Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[成績評価方法] 授業中の小テスト、ミニレポート、授業への取り組み姿勢等 40%、課題レポート60% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次の授業の冒頭で、レポートの講評を行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:小テスト、ミニレポート、授業への取組姿勢(40%)、課題レポート(60%) 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:小テスト、ミニレポート、授業への取組姿勢(40%)、課題レポート(60%) 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していきける。 成績評価方法:小テスト、ミニレポート、授業への取組姿勢(40%)、課題レポート(60%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、ミニレポート、授業への取組姿勢(40%)、課題レポート(60%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、ミニレポート、授業への取組姿勢(40%)、課題レポート(60%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、ミニレポート、授業への取組姿勢(40%)、課題レポート(60%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、ミニレポート、授業への取組姿勢(40%)、課題レポート(60%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、ミニレポート、授業への取組姿勢(40%)、課題レポート(60%) [教科書(ISBN)] 書籍名:学校保健ハンドブック第7次改訂 著者名:教員養成系大学保健協議会 出版社名:ぎょうせい ISBN:978-324-10577-1C3037 [参考書(ISBN)]			

科目名	学校保健Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 学校における保健管理や保健教育の特性を理解し、実態が把握できる。 学校教育の基礎となる児童生徒の保健管理と保健教育について基本的知識が習得できる。			
[授業概要] 学校保健Ⅱでは、学校保健Ⅰの内容をふまえ、学校保健活動を展開するに当たって基礎となる児童生徒の保健管理と保健教育の理論と実地を学ぶ。 具体的には、「保健管理」の一環である、健康診断、環境衛生、救急処置など、子供達の健康の保持増進を目的とする活動および、「保健教育」の一環である、保健指導や教科の保健教育といった、健康についての認識や実践力を養う活動について、特性や実態を把握し、総合的な学校保健活動が展開できる知識や態度を養う。 また、心身の健康・発達・行動上の課題を有する子供と家族への支援のあり方にも触れ、保護者・地域・専門機関も視野に入れた学校保健のあり方について考察したい。 本科目は学校現場での養護教諭経験がある者が、その経験を活かして実際の学校現場の現状に即した学びが得られるように指導する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容に関連する箇所の予習および前回の授業の復習を心がける。 各回、予習復習合わせて4時間程度。			
[授業計画] 1. 学校保健計画・学校安全計画と健康管理・学校安全について学ぶ (6月5日木曜日)3限口 2. 環境衛生検査と施設設備の衛生管理について概要を学ぶ (6月10日火曜日)1限 3. 健康診断について、法的根拠と健康診断の種類及び実施について学ぶ (6月12日木曜日)3限 4. 子供の発育・発達と、心の健康・いじめや不登校など行動上の課題について学校での支援の概要を学ぶ (6月17日火曜日)1限 5. 学校における健康教育と具体的な展開方法を学ぶ (6月19日木曜日)3限 6. 発達障害のある子供と家族の現状を知り、学校での支援の在り方を考える (6月19日木曜日)4限 7. 学校で行われている救急処置活動の実際、学校給食と食育、食物アレルギー対応について学ぶ (6月24日火曜日)1限 8. 試験 (6月26日木曜日)3限			

科目名	学校保健Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[成績評価方法] 授業中の小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢等 50%、定期試験 50% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次の授業の冒頭で、レポートの講評を行う。 後日、manabaにて試験の講評、解説を行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) [教科書(ISBN)] 書籍名:学校保健ハンドブック第7次改訂 著者名:教員養成系大学保健協議会 出版社名:ぎょうせい ISBN:9784324105771C3037 [参考書(ISBN)]			

科目名	学校保健Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 学校における保健管理や保健教育の特性を理解し、実態が把握できる。 学校教育の基礎となる児童生徒の保健管理と保健教育について基本的知識が習得できる。			
[授業概要] 学校保健Ⅱでは、学校保健Ⅰの内容をふまえ、学校保健活動を展開するに当たって基礎となる児童生徒の保健管理と保健教育の理論と実地を学ぶ。 具体的には、「保健管理」の一環である、健康診断、環境衛生、救急処置など、子供達の健康の保持増進を目的とする活動および、「保健教育」の一環である、保健指導や教科の保健教育といった、健康についての認識や実践力を養う活動について、特性や実態を把握し、総合的な学校保健活動が展開できる知識や態度を養う。 また、心身の健康・発達・行動上の課題を有する子供と家族への支援のあり方にも触れ、保護者・地域・専門機関も視野に入れた学校保健のあり方について考察したい。 本科目は学校現場での養護教諭経験がある者が、その経験を活かして実際の学校現場の現状に即した学びが得られるように指導する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容に関連する箇所の予習および前回の授業の復習を心がける。 各回、予習復習合わせて4時間程度。			
[授業計画] 1. 学校保健計画・学校安全計画と健康管理・学校安全について学ぶ (6月5日木曜日)3限口 2. 環境衛生検査と施設設備の衛生管理について概要を学ぶ (6月10日火曜日)1限 3. 健康診断について、法的根拠と健康診断の種類及び実施について学ぶ (6月12日木曜日)3限 4. 子供の発育・発達と、心の健康・いじめや不登校など行動上の課題について学校での支援の概要を学ぶ (6月17日火曜日)1限 5. 学校における健康教育と具体的な展開方法を学ぶ (6月19日木曜日)3限 6. 発達障害のある子供と家族の現状を知り、学校での支援の在り方を考える (6月19日木曜日)4限 7. 学校で行われている救急処置活動の実際、学校給食と食育、食物アレルギー対応について学ぶ (6月24日火曜日)1限 8. 試験 (6月26日木曜日)3限			

科目名	学校保健Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[成績評価方法] 授業中の小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢等 50%、定期試験 50% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次の授業の冒頭で、レポートの講評を行う。 後日、manabaにて試験の講評、解説を行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身につについている。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身につについている。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取組姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) [教科書(ISBN)] 書籍名:学校保健ハンドブック第7次改訂 著者名:教員養成系大学保健協議会 出版社名:ぎょうせい ISBN:9784324105771C3037 [参考書(ISBN)]			

科目名	看護学概論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	中岡 亜希子、洪 愛子、今野 睦美、基礎分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 看護の基本について理解する。 2. 看護の対象となる人を理解する。 3. 看護職は何をする人なのか探究する。 4. チーム医療の中の看護の役割について理解する。 5. 看護専門職者としての視野を広げ、自律した学習者となるための基盤を養う。				
[授業概要]				
看護の成り立ちと発展の歴史を学び、看護とは何か、看護を専門職としていくとはどういうことかについて理論や指針、基準より学ぶ。看護の対象となる人、家族、集団、地域、社会の健康課題について検討し、看護の重要な使命である健康の増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和について考察を深める。それらの考察をもとに、人が健康に生きること、病気を生きること、死ぬということを取り上げ、よりよく生きることの可能性について探求し、それを支える看護専門者の役割を探究していく。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
各回、予習復習と合わせて4時間程度が必要です。 1. 自身の身の回りの人々はどうに生活しているのか、問いをもって参加観察をし、自身の感性を磨く。 2. 患者体験の本を読み、想像力を持つ。 3. 厚生労働省や日本看護協会のホームページに入り、看護に関連する政策を調査する。				
[授業計画]				
1. わが国における保健・医療・福祉と看護の発展の歴史を概観する(中岡亜希子)(4月9日水曜日)4限 2. 主要な看護理論の歴史的背景を学び、看護実践における理論の重要性を理解する(中岡亜希子)(4月16日水曜日)4限 3. 主要な看護理論から看護の基本的な概念の特徴を学ぶ(中岡亜希子)(4月23日水曜日)4限 4. 主要な看護理論の基本的な概念間の相互関係を考察する(中岡亜希子)(5月7日水曜日)4限 5. 主要な看護理論の基本的な概念を理解することで、看護とは何かを考える(5月14日水曜日)4限 6. 看護の対象である人間を生命体・生活者として捉え、人間の健康状態を理解する(中岡亜希子)(5月21日水曜日)4限 7. 人が病気になることや死ぬこと、ウエルビーイングに生きることを理解する(5月28日水曜日)4限 8. 当事者のストーリーを聴き病気からくる苦悩や苦痛と共に生きる看護の対象を理解し、人を支えることについて学ぶ(学外特別講師)(6月4日水曜日)4限 9. 国際看護協会および国内外における国際看護活動の実際を知り、グローバルな視点での看護について学ぶ(今野睦美)(6月11日水曜日)4限 10. 健康の連続性の中で、病いや健康状態の変化に直面する対象者を支援する看護実践について学ぶ(中岡亜希子)(6月18日水曜日)4限 11. 保助看法を中心に、看護の倫理的実践と法の遵守の基本を学び、看護専門職の役割と機能について、看護専門職の実際の活動および日本看護協会の活動をもとに学ぶ保助看法を中心に、看護の倫理的実践と法の遵守の基本を学ぶ(洪愛子)(6月25日水曜日)4限 12. チーム医療の中の看護師の役割と責任、および他職種の機能・役割について学ぶ(中岡亜希子)(7月2日水曜日)4限 13. 看護実践のプロセス(看護過程)と看護を実践するために必要な批判的思考を学ぶ(中岡亜希子)(7月9日水曜日)4限				

科目名	看護学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中岡 亜希子、洪 愛子、今野 睦美、基礎分野助手		
[成績評価方法] 授業に伴う事前・事後レポート・ノートテイキング(70%)、課題レポート(20%)、授業への取り組み(グループ討議など)(10%)			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaでフィードバックする。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 事前・事後レポート、グループディスカッションへの参加態度など			
[教科書(ISBN)] 書籍名:看護覚え書 著者名:F.ナイチンゲール 著:湯楨ます:薄井坦子:小玉香津子:田村真:小南吉彦 訳 出版社名:現代社 ISBN: 書籍名:看護学概論 第5版 看護追求へのアプローチ 著者名:田中幸子 出版社名:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-23758-8			
[参考書(ISBN)] 書籍名:看護の基本となるもの 著者名:ヴァージニア・ヘンダーソン 著 湯楨ます・小玉香津子 訳 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818019966			

P11201070 [NNB1-004]

科目名	看護情報学	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	東 ますみ、生活援助分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標]			
1. データと情報と知識の関係を理解し、看護実践への情報活用について考えることができる。			
2. 医療で取り扱う個人情報について理解できる。			
3. 遠隔看護の現状や実用化に向けた課題について理解し、発展させるための方略を考えることができる。			
[授業概要]			
看護師免許を持つ教員が、以下の授業概要が理解できるように講義する。			
安全で質の高い看護を実践するため、また、チーム医療において情報は必要不可欠である。看護情報学は、1980年に初めて定義された新しい学問であり、医療機関における電子カルテの導入や、地域医療連携における患者情報のネットワーク化、遠隔医療・遠隔看護の推進など、看護を取り巻く情報システムの変化は著しい。本講義では、看護情報学の定義の変遷、看護の臨床現場における情報活用の概要、情報倫理と医療で取り扱う個人情報の特徴、医療情報システムの種類と役割、遠隔医療や遠隔看護の国内外における実践例、看護用語の標準化への取り組みについて学ぶことで、看護の質や効率、安全性を高めるための看護情報学について理解を深める。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習を合わせて2時間程度)。			
これまで講義や実習で学んできた看護に、情報がどのように活用されていたか復習しておいてください。また、情報通信技術の医療への活用について、最新の情報を収集しておいてください。			
[授業計画]			
1. 看護情報学の専門性を理解し、看護実践への情報の活用について概要を知る。(12月9日火曜日)3限			
2. 看護情報学を取り扱うために必要となる、コンピュータリテラシーや情報リテラシーを習得するための基礎的知識や考え方を理解する。(12月9日火曜日)4限			
3. データと情報と知識の関係を知り、看護で取り扱う情報の特徴や活用について理解する。(12月12日金曜日)3限			
4. 情報倫理の概念を理解し、医療で取り扱う個人情報の特徴や個人情報保護法の要点と関連するガイドライン、倫理指針について理解する。(12月12日金曜日)4限			
5. 海外における看護への情報通信技術の導入と活用の可能性を学び、遠隔医療・遠隔看護の現状や実用化に向けた課題について理解する。(12月16日火曜日)3限			
6. 医療情報システムの種類と役割を理解する。また、看護用語の標準化の取り組みについて理解する。(12月16日火曜日)4限			
7. 看護の質と効率、安全性を高めるための、看護情報学の発展について検討する。(12月17日水曜日)2限			
8. 試験(12月19日金曜日)1限			
教室 F304			

科目名	看護情報学	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	東 ますみ、生活援助分野助手		
[成績評価方法] 理解度確認試験(80%)、レポート課題(10%)、授業への取組(10%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認試験は、試験終了後に解答の解説を行います。 レポートは、後日総評を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:理解度確認試験、レポート課題、グループワークでの発言内容や取り組み態度 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:理解度確認試験、レポート課題、グループワークでの発言内容や取り組み態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認試験、レポート課題、グループワークでの発言内容や取り組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:理解度確認試験、レポート課題、グループワークでの発言内容や取り組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:理解度確認試験、レポート課題、グループワークでの発言内容や取り組み態度 [教科書(ISBN)] 書籍名:エッセンシャル看護情報学2025年版 著者名:太田 勝正 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263710746 [参考書(ISBN)]			

科目名	看護マネジメント論		前期	1 単位
サブタイトル	看護マネジメント論		講義	
担当者	横内 光子、寺井 知子、成人分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1.保健・医療ケアシステムの基本的なしくみ(医療保険制度、医療政策)と、その中で看護の果たす役割を理解できる。 2.病院等組織における看護の組織と体制、看護の機能について説明できる。 3.組織での役割分担の在り方と多様な医療関連専門職との連携・協働によるチーム医療の実践方法を知り、チーム医療における看護職としてのリーダーシップ、メンバーシップの在り方を考えることができる。 4.医療や看護におけるリスクマネジメントについて理解し、安全に医療・看護を提供するために必要な行動を身に付ける。 5.医療・看護の質保証の観点から、看護管理の視点を持つ意義を理解し、看護専門職としての役割を理解できる。 6.職業感染対策や放射線からの防護について理解できる。				
[授業概要]				
個人と家族、ならびに人々が暮らす社会の健康を支える保健・医療システムのしくみと、実際に保健・医療サービスがどのように人々に提供されているかを理解する。また、医療に携わる多種多様な専門職のはたらきを知り、より良い医療を提供するためのチーム医療の重要性と実践方法を学ぶ。看護管理の視点を基盤に、看護専門職として、自立した個人としての自己のキャリアを主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。さらに、保健・医療システムとその活動を支える医療保険制度と、保健・医療の方向性を決める国の保健医療政策の概要を理解し、広い視点から看護の果たす役割について考えを深める。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
日ごろから、医療に関連するニュースに関心を持って情報を得る習慣をつけておくこと。				
[授業計画]				
1. 医療における看護サービス・マネジメント:患者中心の看護サービスの特徴と、効果的・効率的に看護サービスを提供するためのマネジメントの意義を理解する。【横内】4/9(水)1限 2. 看護サービス提供のためのしくみ:看護サービス提供のための人・もの・費用・情報の管理方法について理解する。【横内】4/9(水)2限 3. 命と健康をまもる:看護サービスの質を保証し、安全に医療・看護を提供するための仕組みと取り組みについて理解する。【寺井】4/16(水)1限 4. チーム医療の鍵となる連携と協働:他職種連携、協働、リーダーシップ・メンバーシップの在り方と実際について学ぶ。【寺井】4/16(水)2限 5. 看護専門職としてのキャリア開発と卒後継続教育について理解する。【横内】4/22(火)1限 6. これからの時代に求められる看護サービスと看護マネジメントについて考える。【横内】4/23(水)1限 7. 組織を超えたチーム活動:臓器移植コーディネーターがつなぐ「いのちとひと」 【横内・学外特別講師】4/23(水)2限				
指定規則に定める別表の種類とそれぞれの別表に定める教育内容のうち、当該科目で教授する教育内容 別表1:「保健医療福祉行政論」 別表3:「基礎看護学」「看護の統合と実践」				

科目名	看護マネジメント論	前期	1 単位
サブタイトル	看護マネジメント論	講義	
担当者	横内 光子、寺井 知子、成人分野助手		
[成績評価方法] 小テスト(6回)(60%)、課題レポート(40%) ・授業中およびmanabaでフィードバック [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストの内容については、授業中に解説を行う。レポートについては、採点后返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:小テスト、課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:小テスト、課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:小テスト、課題レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、課題レポート [教科書(ISBN)] 書籍名:【第5版】看護サービス管理 著者名:小池智子／編集 松浦正子／編集 中西睦子／編集 出版社名:医学書院			

P11201390 [NNB3-013]

科目名	看護倫理		後期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	藤田 冬子、玉木 敦子、菅野 由美子、奥井 早月、服部 律子、老年分野助手、成人分野助手、精神分野助手、母性分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 倫理原則について理解する。 2. 倫理的な看護実践の展開について思考を深めることが出来る。 3. 実習で担当した事例を倫理実践の観点から検討し、学習の展開が出来る。 4. 医療者の倫理について思考を深めることが出来る。				
[授業概要] 倫理の原則(善行と無害、正義、自律、誠実、忠誠)をもとに、看護実践上の重要な倫理的概念(アドボカシー・責務と責任、協力、ケアリングなど)を学ぶ。その上で、看護師の倫理的責任について看護師の機能と役割の観点から探求する。さらに、看護倫理の実践への応用について老人看護・精神看護・母性看護・小児看護・成人看護領域の臨床事例を元に検討し、看護の実践そのものが安全性、公正性、透明性が求められることを深く理解する。そのため、看護ケアを実践するとき、協力・協働するコミュニティの育成や学習の発展の必要性を学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業までに、倫理原則や倫理的概念、老年、精神、母性、小児、成人のそれぞれの分野の倫理的課題やテーマとなる内容について教科書を読み学習する。(2時間程度) ・各授業で行った小テストの内容や、倫理・権利を守る法制度について復習する。(2時間程度)				
[授業計画] 第1回(11/11 3限) 倫理原則をもとに看護の倫理実践に伴う重要な概念を理解し、看護師の倫理的責任について看護師の機能と役割の観点から探求する(藤田冬子) 第2回(11/18 3限) 老年看護分野における倫理実践とアドボカシーについて臨床事例を展開する(藤田冬子) 第3回(11/25 3限) 母性看護分野における倫理実践と生命倫理について臨床事例を展開する(服部律子) 第4回(12/2 3限) 精神看護分野における倫理実践と尊厳について臨床事例を展開する(玉木敦子) 第5回(12/9 3限) 小児看護分野における倫理的看護とケアリングについて臨床事例を展開する(菅野由美子) 第6回(12/10 3限) 成人看護分野における看護実践の倫理的課題について討議する(奥井早月) 第7回(12/16 3限) 薬害被害をうけられた当事者から医療者の倫理について学ぶ(外部特別講師、藤田冬子) * 30分以上の遅刻は欠席となります。				

科目名	看護倫理	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	藤田 冬子、玉木 敦子、菅野 由美子、奥井 早月、服部 律子、老年分野助手、成人分野助手、精神分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 小テスト(6回)(60%)、最終課題レポート(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中にフィードバック [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:小テスト、レポートで評価 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:小テスト、レポートで評価 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:小テスト、レポートで評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポートで評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ 改訂第3版 著者名:小西 恵美子 編集 出版社名:南江堂 ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:看護職の基本的責務 2025年版 著者名:手島恵 監修 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:978-4-8180-2784-8			

科目名	感染免疫学	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西原 詩子、洪 愛子、笠井 正志、山本 剛、生活援助分野助手、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

1. 病原微生物の種類と特徴を説明できる。
2. 感染成立における人体の持つ免疫機構と微生物の病原性との関係を理解できる。
3. 身近な微生物を通して、患者さんと医療従事者との繋がりについて学び、私たちの社会生活を営んでいく上で共存している薬剤耐性菌との関わりについても理解できる。
4. 感染免疫学の知識を看護に結び付けることができる。

[授業概要]

本授業科目では、感染(症)の原因となる微生物の種類とそれらの特徴、宿主側の生体防御機構と疾病の成り立ち、検査法や、感染予防法等を学ぶことによって、感染とこれを防ぐ宿主の免疫応答などの相互関係を理解する。これらに加えて本授業科目では、新興・再興感染症、さらには感染症法などといった今日的諸問題や保健医療福祉施策についても学習する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしてください。(各回、2時間程度)

[授業計画]

1. 感染症の現状と歴史・・・発見と予防管理の歴史、新興・再興感染症、感染症法、それらと保健医療福祉行政とのつながり【洪】(9/25木曜3限) * 小テスト
2. 感染症の成立過程と防御機構(物理的バリア)【学外特別講師:調整中】(9/29月曜2限) * 小テスト
3. 歯周病原細菌と歯周病、口腔衛生【西原】(10/2木曜3限) * 小テスト
4. 病院や施設で問題となる感染症(病原微生物)と標準予防策①【学外特別講師:谷口】(10/6月曜1限)
5. 病院や施設で問題となる感染症(病原微生物)と標準予防策②【学外特別講師:谷口】(10/6月曜2限) * 小テスト
6. 臨床微生物学のススメ、微生物の基礎知識(ウイルス、細菌の違い)【笠井1】(10/9木曜3限) * 小テスト
7. 微生物事情と感染症(感染症発症年齢、臓器システム)、届け出疾患【笠井2】(10/16木曜3限) * 小テスト
8. 微生物の殺滅と患者治療(抗微生物薬、薬剤耐性菌)【笠井3】(10/23木曜3限) * 小テスト
9. 微生物から人を守る(予防接種)【笠井4】(10/30木曜3限) * 小テスト
10. 微生物から人を守る(子どものミカタ)【笠井5】(11/6木曜3限) * 小テスト
11. 細菌学演習①臨床微生物学(身近な微生物とその特性)顕微鏡の取り扱い、グラム染色、一般細菌培養検査【山本・西原・助教1名】Aクラス(10/20月曜1限)、Bクラス(10/27月曜1限)F205
12. 細菌学演習②黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌(コロニー観察、薬剤感受性検査)【山本・西原・助教1名】Aクラス(10/20月曜2限)、Bクラス(10/27月曜2限)F205
13. 細菌学演習③感染症の検査法と検査等に伴う援助技術、簡易迅速検査、培養結果の判定とまとめ【山本・西原・助教1名】Aクラス(10/21火曜3限)、Bクラス(10/28火曜3限)F205 * 小テスト

※試験(小テスト10回、細菌学演習レポート)

※20分以上の遅刻は欠席とする。

指定規則に定める別表の種類とそれぞれの別表に定める教育内容のうち、当該科目で教授する教育内容

別表1:「保健医療福祉行政論」

別表3:「疾病の成り立ちと回復の促進」

科目名	感染免疫学	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西原 詩子、洪 愛子、笠井 正志、山本 剛、生活援助分野助手、教務助手		
[成績評価方法] 成績の評価は毎回の小テストの結果(70%)と細菌学演習課題レポート(30%)に基づいて行います。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中およびmanabaでフィードバックします。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法: 授業への参加態度、小テスト、演習レポートで評価 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 小テスト、演習レポートで評価 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法: 授業への参加態度、演習レポートで評価 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法: 授業への参加態度、演習レポートで評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加態度、演習レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加態度、演習レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加態度、演習レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業への参加態度、演習レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業への参加態度、演習レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 授業への参加態度、演習レポートで評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:臨床微生物・医動物 第5版 著者名:矢野 久子 出版社名:メディカ出版 ISBN: 書籍名:ウォームアップ微生物学 著者名:中込 治 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049290 [参考書(ISBN)] 書籍名:病院・施設・地域で使える 看護師のための感染対策 著者名:洪愛子 出版社名:中央法規出版 ISBN:9784805882856			

科目名	急性期看護論	前期	2 単位
サブタイトル	周手術期にある患者の看護	講義	
担当者	横内 光子、小野 聖子、奥井 早月、成人分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- 1.手術を受ける患者の身体面、精神面、社会面の特徴を理解できる。
- 2.麻酔と手術操作によって発生する手術中・手術後の合併症、苦痛、セルフケアの障害とその援助方法について理解できる。
- 3.様々な手術の部位や手術方法によって生じる看護上の問題とその援助方法について理解できる。
- 4.個人にとって、病気の経過や療養生活の中で手術を受けるという体験の意味を考え、長期的視点になって手術を受ける患者の看護について考えることができる。

[授業概要]

地域社会で生活を送る個々人が、何らかの病気になり、手術をはじめとする身体に負担の大きい治療を受ける際の、身体・精神・社会的な特徴を理解する。また、個人や家族にとって、生命・健康が危機状態におかれる体験の意味を理解し、そのような患者と家族に必要な看護援助について学ぶ。手術など身体に大きな負担をかける治療によって、人の身体や心はどのように反応しながら回復するのかを、これまでに学習した身体のおしくみと機能、病態などの知識を活用して理解する。この理解に基づいて、患者の回復状態を綿密に評価しながら、順調な回復と患者の望む社会復帰に向けた援助の方法を学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回に関連する教科書を熟読し、人体のおしくみと機能(解剖と生理)、疾病と治療について、1-2年次に学習した教科書や資料ならびに、事前に指示された動画や資料を確認し、授業のグループワークで十分にディスカッションができるよう準備学修を行うこと。

各回、予習復習合わせて4時間程度の自己学習を行うこと。

[授業計画]

- 1.オリエンテーション、急性期にある患者・家族の特徴と看護の役割:(横内光子)(4月 11日 金曜日)3限
- 2.手術中の看護:手術・麻酔中の安全・安楽を維持する看護:(横内光子)(4月18日 金曜日)3限
- 3.手術後の看護1)侵襲・生体反応と術後合併症に対する看護:(横内光子)(4月25日 金曜日)3限
- 4.手術後の看護2)生命維持、苦痛の緩和と合併症予防、セルフケア回復のための看護・退院に向けた看護:(横内光子)(5月7日 水曜日)1限
- 5.手術前の看護:術前アセスメントと準備状態を整える看護:(横内光子)(5月7日 水曜日)2限
- 6.消化管(食道・胃・腸)の手術を受ける患者の特徴と看護:(横内光子)(5月9日 金曜日) 3限
- 7.消化器(胆嚢・肝臓・膵臓)の手術を受ける患者の特徴と看護:(横内光子)(5月16日 金曜日)3限
- 8.肺、乳腺、甲状腺の手術を受ける患者の特徴と看護:(横内光子)(5月23日 金曜日) 3限
- 9.頭頸部の手術を受ける患者の特徴と看護:(横内光子)(5月30日 金曜日)3限
- 10.脳神経系の手術を受ける患者の特徴と看護:(横内光子)(6月4日 水曜日)2限
- 11.泌尿器、生殖器の手術を受ける患者の特徴と看護:(横内光子)(6月 6日 金曜日)3限
- 12.心臓・血管の手術を受ける患者の特徴と看護:(奥井早月)(6月 13日 金曜日)3限
- 13.運動器(関節、脊椎)の手術を受ける患者の特徴と看護:(小野聖子)(6月 20日 金曜日)3限
- 14.試験:(6月27日 金曜日)3限

科目名	急性期看護論	前期	2 単位
サブタイトル	周手術期にある患者の看護	講義	
担当者	横内 光子、小野 聖子、奥井 早月、成人分野助手		
[成績評価方法] グループワーク・事例課題の評価点 : 50% 試験の得点 : 50% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題と試験結果はmanabaにてフィードバックを行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:グループワーク・事例課題・試験 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:グループワーク・事例課題・試験 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:グループワーク・事例課題・試験 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:グループワーク・事例課題・試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:グループワーク・事例課題・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:グループワーク・事例課題・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:グループワーク・事例課題・試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:成人看護学(4):周術期看護 第4版 著者名:中島 恵美子 出版社名:メディカ出版 ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:臨床外科看護総論 第12版 著者名:池上 徹 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049986 書籍名:臨床外科看護各論 第10版 著者名:北川 雄光 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049900 書籍名:人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版 著者名:坂井 建雄 出版社名:医学書院 ISBN:9784260046879			

科目名	グローバルヘルスと看護		前期	1 単位
サブタイトル	Global Health and Nursing		講義	
担当者	加藤 憲司			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 国際社会における医療・看護の現状と課題について理解できる。 2. グローバル化する世界において看護職に求められる役割や責任について考察できる。 3. 多様な文化背景を持つ人々の価値観や認識を踏まえ、共生できる社会のあり方について議論できる。 [授業概要] わが国では近年、在日外国人および訪日外国人数が急増し、医療機関での外国人対応の必要性が高まっている。また、経済連携協定(EPA)などにより、日本で看護師として働くことを目指してアジア諸国から看護師候補者が入国し、日本の看護師が外国人看護師と協働する機会も増えている。本科目は、このようなグローバル化が進む時代変化を反映し、多様な社会・文化の中で生活している人々との相互理解や共生を可能にするコミュニティの構築に貢献しうる看護職者を養成することを目指す。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1.各回の授業で用いる課題文献を事前に読んでおくこと。 2.課題文献の内容を読解・整理し、ディスカッションのための準備を行うこと。 [授業計画] 1. グローバルに看護を考えるということ (4月9日水曜日)3限 2. 地球規模の健康課題を支える機関 (4月9日水曜日)4限 3. グローバル化する日本の医療の現場 (4月16日水曜日)3限 4. 病院における外国人への看護 (4月16日水曜日)4限 5. 地域における在留外国人の支援 (4月17日木曜日)1限 6. プレゼンテーション (4月23日水曜日)3限 7. まとめ (4月23日水曜日)4限				

科目名	グローバルヘルスと看護	前期	1 単位
サブタイトル	Global Health and Nursing	講義	
担当者	加藤 憲司		
[成績評価方法] 課題文献に関するディスカッションの状況 80% 授業態度 20% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のディスカッションを通じてフィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:国際化と看護 著者名:大橋一友・岩澤和子 出版社名:メディカ出版 ISBN:9784840484732			

科目名	グローバルヘルスと看護		前期	1 単位
サブタイトル	Global Health and Nursing		講義	
担当者	加藤 憲司			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] グローバルなレベルでの人々の健康課題を理解し、その課題に対応するための社会資源とその役割を学ぶ。多様な文化的背景を持つ人々への看護に関連する概念や理論、文化的特性について具体的に知識を得て、文化的配慮のある看護ケアについての理解を深める。 [授業概要] わが国では近年、在日外国人および訪日外国人数が急増し、医療機関での外国人対応の必要性が高まっている。また、経済連携協定(EPA)などにより、日本で看護師として働くことを目指してアジア諸国から看護師候補者が入国し、日本の看護師が外国人看護師と協働する機会も増えている。本科目は、このような時代変化を反映し、異文化理解・多文化共生に対する深い見識を有する看護職者を養成する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1.各回の授業で用いる課題文献を事前に読んでおくこと。 2.課題文献の内容を読解・整理し、ディスカッションのための準備を行うこと。 [授業計画] 1. グローバルに看護を考えるということ (4月9日水曜日)3限 2. 地球規模の健康課題を支える機関 (4月9日水曜日)4限 3. グローバル化する日本の医療の現場 (4月16日水曜日)3限 4. 病院における外国人への看護 (4月16日水曜日)4限 5. 地域における在留外国人の支援 (4月17日木曜日)1限 6. プレゼンテーション (4月23日水曜日)3限 7. まとめ (4月23日水曜日)4限				

科目名	グローバルヘルスと看護	前期	1 単位
サブタイトル	Global Health and Nursing	講義	
担当者	加藤 憲司		
[成績評価方法] 課題文献に関するディスカッションの状況 80% 授業態度 20% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のディスカッションを通じてフィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:国際化と看護 著者名:大橋一友・岩澤和子 出版社名:メディカ出版 ISBN:9784840484732			

科目名	健康相談活動		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	細川 愛美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 養護教諭の職務の特性や保健室の機能を生かした健康相談活動について理解し、健康相談活動の基礎的な実践能力を身につける。				
[授業概要] 近年の社会環境や生活様式の急激な変化の中で、子供達の心身両面にわたる健康問題が複雑化、深刻化している。養護教諭はこのような子供達の健康問題にいち早く気づくことのできる立場であり、養護教諭が実施する健康相談活動は重要な役割を担っている。 ここでは、養護教諭の行う健康相談活動の基礎・基本を学び、具体的な事例を挙げながら、ロールプレイやグループワーク等を取り入れて、要因の把握や解決のための支援のあり方、関係者との連携等について学んでいく。学校現場での養護教諭経験がある教員が、実際の学校現場の現状に即した健康相談活動を実施できる力を身につけられるように、具体例を挙げながら指導を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容に関連する箇所の予習および、前回の授業の復習を心がける。 各回、予習復習合わせて4時間程度				
[授業計画] 1.健康相談活動とは何か、意義・目的と概要を学ぶ(11月11日火曜日)1限 2.養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かした健康相談活動のあり方を学ぶ(11月11日火曜日)2限 3.児童生徒の心身の発達について理解し、健康問題の現状と背景、予防教育について学ぶ(11月18日火曜日)1限 4.健康相談の基礎、対象理解、問題理解、相談方法の理解について学ぶ(11月18日火曜日)2限 5.健康相談活動に必要なカウンセリング技法について学ぶ(11月25日火曜日)1限 6.健康相談活動の実際、相談活動の進め方について学ぶ(11月25日火曜日)2限 7.不定愁訴、心身症について理解し、適切な対応のあり方を学ぶ(12月2日火曜日)1限 8.いじめ、虐待について理解し、適切な対応のあり方を学ぶ(12月2日火曜日)2限 9.保健室登校について、背景や現状を理解し適切な対応のあり方を学ぶ(12月9日火曜日)1限 10.薬物乱用、飲酒・喫煙行動、性的問題行動について理解し、適切な対応のあり方を学ぶ(12月9日火曜日)2限 11.ライフスキル教育とアンガーマネジメントについて学ぶ(12月16日火曜日)1限 12.慢性疾患を持つ児童生徒の理解と適切な対応のあり方を学ぶ(12月16日火曜日)2限 13.健康相談活動の記録と評価、まとめ(12月18日木曜日)3限				

科目名	健康相談活動	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[成績評価方法] 授業への取り組み姿勢(提出物、授業態度等)70%、レポート30%			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートの評価は希望者に開示する			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
[教科書(ISBN)] 書籍名:新版養護教諭の行う健康相談 著者名:大谷尚子・森田光子編 出版社名:東山書房 ISBN:9784827815467C2037			
[参考書(ISBN)]			

P11201030 [NI4-001]

科目名	健康相談活動		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	細川 愛美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 養護教諭の職務の特性や保健室の機能を生かした健康相談活動について理解し、健康相談活動の基礎的な実践能力を身につける。				
[授業概要] 近年の社会環境や生活様式の急激な変化の中で、子供達の心身両面にわたる健康問題が複雑化、深刻化している。養護教諭はこのような子供達の健康問題にいち早く気づくことのできる立場であり、養護教諭が実施する健康相談活動は重要な役割を担っている。 ここでは、養護教諭の行う健康相談活動の基礎・基本を学び、具体的な事例を挙げながら、ロールプレイやグループワーク等を取り入れて、要因の把握や解決のための支援のあり方、関係者との連携等について学んでいく。学校現場での養護教諭経験がある教員が、実際の学校現場の現状に即した健康相談活動を実施できる力を身につけられるように、具体例を挙げながら指導を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容に関連する箇所の予習および、前回の授業の復習を心がける。 各回、予習復習合わせて4時間程度				
[授業計画] 1.健康相談活動とは何か、意義・目的と概要を学ぶ(11月11日火曜日)1限 2.養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かした健康相談活動のあり方を学ぶ(11月11日火曜日)2限 3.児童生徒の心身の発達について理解し、健康問題の現状と背景、予防教育について学ぶ(11月18日火曜日)1限 4.健康相談の基礎、対象理解、問題理解、相談方法の理解について学ぶ(11月18日火曜日)2限 5.健康相談活動に必要なカウンセリング技法について学ぶ(11月25日火曜日)1限 6.健康相談活動の実際、相談活動の進め方について学ぶ(11月25日火曜日)2限 7.不定愁訴、心身症について理解し、適切な対応のあり方を学ぶ(12月2日火曜日)1限 8.いじめ、虐待について理解し、適切な対応のあり方を学ぶ(12月2日火曜日)2限 9.保健室登校について、背景や現状を理解し適切な対応のあり方を学ぶ(12月9日火曜日)1限 10.薬物乱用、飲酒・喫煙行動、性的問題行動について理解し、適切な対応のあり方を学ぶ(12月9日火曜日)2限 11.ライフスキル教育とアンガーマネジメントについて学ぶ(12月16日火曜日)1限 12.慢性疾患を持つ児童生徒の理解と適切な対応のあり方を学ぶ(12月16日火曜日)2限 13.健康相談活動の記録と評価、まとめ(12月18日木曜日)3限				

科目名	健康相談活動	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[成績評価方法] 授業への取り組み姿勢(提出物、授業態度等)70%、レポート30%			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートの評価は希望者に開示する			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業内レポート、発表等授業態度(70%)、レポート(30%))			
[教科書(ISBN)] 書籍名:新版養護教諭の行う健康相談 著者名:大谷尚子・森田光子編 出版社名:東山書房 ISBN:9784827815467C2037			
[参考書(ISBN)]			

科目名	公衆衛生学		前期	1 単位
サブタイトル	Public Health		講義	
担当者	加藤 憲司			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 看護・医療の中での公衆衛生学の位置付けが説明できる。 2. 公衆衛生活動の実際や行政組織・法制度等について説明できる。 3. 対象となる集団の健康上の諸問題や生活環境について理解・説明できる。				
[授業概要] 公衆衛生学は、全ての国民が生来の権利としての健康と長寿を可能にすべく、その理論と技術を組織化・体系化した学問である。この科目では、公衆衛生学とわが国の公衆衛生の現状を踏まえて、健康支援や社会保障制度、対象者別の保健医療の現状、環境保健等、幅広いトピックスを取り扱う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。 2. 日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。 3. 各回、予習復習あわせて2時間程度。				
[授業計画] 1.公衆衛生学概論 (4月10日木曜日)2限 2.衛生行政の体系 〈小テスト〉(4月17日木曜日)2限 3.衛生の主要指標① 〈小テスト〉(4月24日木曜日)2限 4.衛生の主要指標② 〈小テスト〉(5月 8日木曜日)2限 5.衛生の主要指標③ 〈小テスト〉(5月15日木曜日)2限 6.保健と医療の動向 〈小テスト〉(5月22日木曜日)2限 7.まとめ (5月29日木曜日)2限				

科目名	公衆衛生学	前期	1 単位
サブタイトル	Public Health	講義	
担当者	加藤 憲司		
〔 成績評価方法 〕 授業後に実施する計5回の課題(看護師国家試験に準ずる形式)の合計 80% 授業態度 20% 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 各回の小テストの解説を次回講義時に実施する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

科目名	公衆衛生看護演習		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	小坂 素子、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 地域社会で暮らす様々なライフステージ・健康レベルの個人・集団に対する援助方法を習得する。				
2. 個別保健指導と集団保健指導の違いや特徴を理解し、援助技術を習得する。				
[授業概要]				
地域社会の中で生活および健康課題を解決するために、公衆衛生看護活動における保健指導技術を習得する。地域で生活している人々の健康の保持・増進のために、ヘルスプロモーションおよびセルフケアの考え方にに基づき、地域住民が自ら健康に関する課題を解決できる力を身につけられるような保健指導の方法を学ぶ。地域看護活動の対象となる様々なライフステージ・健康レベルの個人や家族、集団、組織の支援をするために、家庭訪問・健康相談といった個別保健指導技術と健康教育・グループ学習といった集団保健指導技術を習得し、実践できるように演習を行う。市町村での保健師活動経験のある教員が自身の活動経験を踏まえ、行政機関で実際に使用している媒体等を使用して実践的な演習を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。				
各回、予習復習・課題を合わせて3時間程度行うこと。				
[授業計画]				
1. 授業オリエンテーション、保健師活動の支援方法と技術、様々な健康相談・保健指導の場面と技術：講義(4月8日火曜日1限)				
2. 個人・家族への保健指導技術①：健康相談・保健指導：演習(4月8日火曜日2限)				
3. 個人・家族への保健指導技術②：家庭訪問の実践と技術：講義(4月10日木曜日1限)				
4. 個人・家族への保健指導技術③：家庭訪問(計画立案)：演習(4月10日木曜日2限)				
5. 個人・家族への保健指導技術④：家庭訪問(実施・評価)：演習(4月14日月曜日1限)				
6. 個人・家族への保健指導技術④：家庭訪問(実施・評価)：演習・乳幼児健康診査の実践と保健指導技術：講義(4月14日月曜日2限)				
7. 個人・家族への保健指導技術⑥：乳幼児健康診査での問診・保健指導：演習(4月15日火曜日1限)				
8. グループ・集団に対する保健指導技術①：健康教育の企画・計画・実施・評価の流れと技術：講義(4月15日火曜日2限)				
9. グループ・集団に対する保健指導技術②：健康教育演習(アセスメント)：GW(4月18日金曜日3限)				
10. グループ・集団に対する保健指導技術③：健康教育演習(企画立案)：GW(4月18日金曜日4限)				
11. グループ・集団に対する保健指導技術④：健康教育演習(指導案作成)：GW(4月21日月曜日3限)				
12. グループ・集団に対する保健指導技術⑤：健康教育演習(媒体づくり・デモンストレーション)：GW(4月21日月曜日4限)				
13. グループ・集団に対する保健指導技術⑥：健康教育演習(実施・評価)：発表(4月22日火曜日2限)				
14. 試験(F301)(4月28日月曜日2限)				
使用教室：F202演習室				

科目名	公衆衛生看護演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小坂 素子、地域在宅分野助手		
[成績評価方法] 筆記試験(60%)、受講態度(40%):グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容により評価 * 20分以上の遅刻は欠席として取り扱う [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ワークシートは毎回の授業終了後回収し、確認後、次回の授業時間に返却。記載内容へのコメントは授業時間内に行います。 試験へのフィードバックは、原則としてmanabaまたはメールを通じて行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:筆記試験、受講態度(グループワークへの参加態度、ワークシート記載内容)で評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:[第6版]乳幼児健診マニュアル 著者名:福岡地区小児科医会乳幼児保健委員会／編集 出版社名:医学書院 ISBN:9784260039352 書籍名:公衆衛生看護技術 著者名: 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-02193-7 書籍名:公衆衛生看護活動論 技術演習第3版 著者名: 出版社名:クオリティケア ISBN:978-4-904-36367-6 [参考書(ISBN)]			

科目名	公衆衛生看護学概論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小路 浩子、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	

〔到達目標〕

1. 地域看護・公衆衛生看護の理念、歴史、役割、公衆衛生看護学活動の対象を理解できるようになる。
2. 公衆衛生看護の動向と公衆衛生看護学活動の展開を理解できるようになる。
3. 公衆衛生看護学の理論的背景を理解できるようになる。

〔授業概要〕

地域看護・公衆衛生看護の理念、歴史および公衆衛生看護学に重要な概念や理論を学ぶ。
公衆衛生看護活動の特性および場と対象、日本の健康政策の変遷と社会的背景、集団の健康を支える保健師活動、関係法規・施策、行政のしくみを理解する。また、地域で生活している人々を、個・家族・集団・地域社会という多重構造で捉え、生活者としての視点で考えることができる。さらに、より身近に地域社会とそこに生活している人々の健康課題を考えてもらうために、自分の生まれ育った地域の情報収集やフィールドワークを取り入れた学習を行う。
行政機関での保健師活動の経験がある教員が、その経験をもとに公衆衛生看護活動の展開方法について具体的な事例を交えて説明する。また、現場で働く行政保健師や産業保健師を学外特別講師に迎えて、活動の実際を具体的に説明する。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業で扱う教科書の範囲を読んで予習をしておいてください(各回、予習復習合わせて4時間程度)。また、日頃から保健・医療・福祉に関するニュースや人々の暮らしや健康に関するニュース等に関心を持ち、目を通してください。

〔授業計画〕

1. 授業ガイダンス・公衆衛生看護の歴史と諸外国の公衆衛生看護活動：公衆衛生看護活動の歴史や諸外国の公衆衛生看護活動を学ぶことによって、公衆衛生看護活動の原点を知り、地域住民を支援する保健師の機能や役割を理解する。(4月14日 月曜日)1限
2. 公衆衛生の基本理念と公衆衛生看護の特徴：地域看護学および公衆衛生看護学を学ぶにあたっての基本概念である公衆衛生、健康の概念、公衆衛生看護の理念、公衆衛生看護学および公衆衛生看護活動の特徴について理解する。(4月21日 月曜日)1限
3. 地域看護・公衆衛生看護の場：地域看護・公衆衛生看護活動の活動分野(行政保健、学校保健、産業保健、在宅看護)と看護職の役割、法的根拠や社会保障制度、保健・医療・福祉関係者の連携について理解する。(4月28日 月曜日)1限
4. 社会環境の変化と健康課題：各健康指標や社会背景、ライフスタイル、さまざまな価値観について学び、地域の人々の健康との関連を考えることができる。(5月12日 月曜日)1限
5. 公衆衛生看護活動の基盤となる理論(地区診断の方法)：公衆衛生看護活動の基盤となる理論を理解することによって、公衆衛生看護活動に活用することを考えることができる。(5月12日 月曜日)3限
6. 地域住民の健康課題：住民の健康課題を理解するために、自分の生まれ育った地域のフィールドワークを行い、健康課題を考察する。(5月19日 月曜日)1限
7. 公衆衛生看護活動の実際①：行政における保健師活動の実際を学ぶ。(学外特別講師)主担当も同席。(5月19日 月曜日)3限
8. 公衆衛生看護活動の展開：公衆衛生看護の特性・機能・役割、さまざまなライフステージ、健康レベルに応じた公衆衛生看護活動の対象、活動方法、関係法令や制度・システムづくりについて理解する。(5月26日 月曜日)1限
9. 公衆衛生看護活動の実際②：職域における保健師活動(産業保健師)の実際を学ぶ(学外特別講師)主担当も同席。(5月26日 月曜日)3限
10. 公衆衛生看護活動の展開方法①：個人・家族の捉え方と援助について事例を用いて考察する。(6月2日 月曜日)1限
11. 公衆衛生看護活動の展開方法②：集団の捉え方と援助について事例を用いて考察する。(6月2日 月曜日)3限
12. 公衆衛生看護活動の展開方法③：公衆衛生看護活動の計画・実践・評価、計画策定と施策化：地域全体を対象とした援助について事例を用いて考察する。地域保健計画の概要、策定意義や必要な要素を学び、社会資源の開発やシステム作りを推進する公衆衛生看護活動を理解し、公衆衛生看護活動における保健師の役割を理解する。(6月9日 月曜日)1限
13. 自分の住んでいる地域の健康課題(フィールドワーク発表・ディスカッション)：フィールドワークでまとめた自分の地域の健康課題について発表し、ディスカッションを通じて学びを深める。(6月9日 月曜日)3限
14. 試験(6月16日 月曜日)1限

科目名	公衆衛生看護学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小路 浩子、地域在宅分野助手		
「成績評価方法」 試験(70%)、課題レポート:フィールドワークと地区診断(30%)で評価します。 「課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法」 ・課題レポートは必要に応じてコメントを入れて返却します。 ・試験は試験後、manabaを通じて解説を行います。 「オフィスアワー(質問等の受付方法)」 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 「メールアドレス」 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 「この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)」 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験、課題レポートにより評価 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:課題レポートより評価 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:試験、課題レポートより評価 「この授業と関連する大学全体の教育目標」 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験、課題レポートより評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験、課題レポートより評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、課題レポートより評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験、課題レポートより評価 「教科書(ISBN)」 書籍名:公衆衛生がみえる 2024-2025 著者名:医療情報科学研究所 出版社名:メディックメディア ISBN:9784896329285 書籍名:標準保健師講座 公衆衛生看護学概論第6版 著者名:標美奈子他 出版社名:医学書院 ISBN:978426004074 「参考書(ISBN)」			

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ		後期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小路 浩子、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1.地域組織活動の特徴を捉え、地域の中の様々な住民組織があることを理解できるようになる。 2.セルフヘルプグループの特徴と支援方法を理解できるようになる。 3.地域ケアシステムの構築と展開における看護職の役割を理解できるようになる。 [授業概要] 地域の健康課題を理解し、健康の保持・増進に向けて組織的に解決する活動方法を学ぶ。母子保健ネットワークやフォロー体制、障害者(児)対策や社会での支援システム、介護予防施策など、地域で展開されている集団や組織における看護職の役割・機能、地域看護活動の実践を学び、地域看護過程の展開方法について理解する。さらに、地域ヘルスケアシステムの構築、地区組織活動の具体的方法と地域ネットワークづくり、支援体制づくり、地域で展開されている保健活動と実践技術を理解する。 行政機関において保健師活動経験のある教員がその経験を踏まえて、地区組織活動や組織支援について事例を用いて説明する。また地域のネットワークづくりを実践している学外特別講師から活動の実際について具体的に学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておいてください(各回、予習復習合わせて2時間程度)。日頃から人々の暮らしや健康に関係するニュース等に関心を持ち、読んだり見たりしてください。そして、自分が住んでいる地域で健康増進や地域づくりに関する事業や取組がどのように展開されているのかをホームページや地域の掲示板等から関心をもって情報を収集しておいてください。 [授業計画] 1.地域におけるグループ支援・組織化と地域ケアシステム、地域組織活動の歴史と社会背景、特徴(1月6日 火曜日)3限 2.地域組織活動にかかわる概念、地域組織活動で活用できる理論・方法論(1月6日 火曜日)4限 3.グループ・組織の特性、グループの成長過程・組織化とその支援(1月9日 金曜日)3限 4.当事者組織とその支援、住民の自立支援と地域組織活動の実際(1月14日 水曜日)3限 5.地域ケアシステムの構築：地域ケアシステム概念、地域ケアシステム構築に必要な基本概念、構造的転換(1月14日 水曜日)4限 6.ネットワーク化と調整活動：ソーシャルネットワークとは、地域ケアの調整活動、社会資源の活用、地域保健医療福祉ネットワーク形成と看護職の役割(1月23日 金曜日)3限 7.地域ケアシステム構築の実際と看護職の役割：地域包括支援センターの地区活動の実践から学ぶ（特別外部講師）＊主担当教員も同席(1月23日 金曜日)4限 8.試験(1月30日金曜日)2限				

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小路 浩子、地域在宅分野助手		
[成績評価方法] 理解度確認試験(70%)、課題レポート(30%)			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・試験は試験答案回収後、manabaにて解説します。 ・課題レポートは、必要に応じてコメントを入れて返却します。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験、課題レポートより評価			
学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:試験、課題レポートより評価			
学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:試験、課題レポートより評価			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験、課題レポートにより評価			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク参加状況・態度、プレゼンテーションから評価			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験、課題レポートから評価			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題レポートから評価			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート、グループワーク参加状況・プレゼンテーションから評価			
[教科書(ISBN)] 書籍名:標準保健師講座 公衆衛生看護技術第5版 著者名:中村裕美子他 出版社名:医学書院 ISBN:9784260050029			
[参考書(ISBN)] 書籍名:【第3版】公衆衛生看護活動論技術演習 著者名:岩本里織／編集 工藤恵子／編集 草野恵美子／編集 出版社名:クオリティケア ISBN:9784904363676			

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小坂 素子、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	

【到達目標】

保健師活動を展開するのに必要な知識と技術を理解する。

1.ライフステージや健康レベルをふまえ、それぞれの対象の特性や場に応じた知識と技術を理解する。

2.健康障害を持つ人々および健康危機状態の人々の特性や対象の置かれている状況を理解し、それぞれの対象の特性や場に応じた知識と技術を理解する。

【授業概要】

保健師活動を展開するための具体的方法論について学ぶ、様々な分野で展開される保健師活動について、一次・二次・三次予防の視点およびヘルスプロモーションの考え方に基ついた公衆衛生看護活動について学ぶ。生活習慣病発症・重症化予防、虐待問題、健康危機管理、高齢者問題など複雑多様化している健康課題に対し、地域で活動する看護職に期待されている内容について理解・実践できるように、事例を用いた学習、グループワークをとおして実践的思考を養い、保健師活動に必要な知識・技術を学ぶ。行政保健師の活動経験を持つ教員により、その活動体験・実務を踏まえ、具体的な個別支援事例展開及び事業企画立案について学ぶ。また、行政保健師として高い実績を有する外部講師より、対象に寄り添い、地域に根差した保健師活動の実際を学ぶ。国際保健活動では、海外での保健活動経験のある学外講師により、国内外における外国人への支援について学ぶ。

【準備学修(予習・復習)の内容・時間】

母子保健等の各分野における法制度や国の施策について、前期の「地域看護活動論」の授業資料等より授業内容を復習しておくこと。前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習を合わせて4時間程度行うこと。

【授業計画】

1. オリエンテーション、保健師活動を展開するための知識と技術(1月7日水曜日1限)
2. 母子保健活動を展開するための知識と技術①ポピュレーションアプローチについて(1月7日水曜日2限)
 - ・国民衛生の動向演習(母子保健)(GW)
 - ・妊娠・出産・新生児期の保健指導について(講義)
 - ・新生児期の母子のアセスメント(GW)
3. 母子保健活動を展開するための知識と技術②ポピュレーションアプローチ:産後の母子のアセスメント(1月9日金曜日1限)
 - ・アセスメントの共有、全体像の把握、課題の抽出(GW)
4. 母子保健活動を展開するための知識と技術③ポピュレーションアプローチ:乳幼児健康診査(1月9日金曜日2限)
 - ・乳幼児期の健康診査、保健指導について(講義)
 - ・乳幼児期の子どもの発達と特徴(講義・GW)
5. 母子保健活動を展開するための知識と技術④ハイルスクアプローチについて(1月14日水曜日1限)
 - ・ハイルスクアプローチについて(講義・GW)
6. 成人保健活動を展開するための知識と技術①成人保健における健康課題と支援(1月14日水曜日2限)
 - ・国民衛生の動向演習(成人保健)(GW)
 - ・生活習慣病の1次・2次予防(講義)
 - ・重症化予防(講義)
 - ・生活習慣病を有する事例のアセスメント(GW)
7. 成人保健活動を展開するための知識と技術②生活習慣病対策(1月21日水曜日1限)
 - ・健康相談・保健指導計画立案(GW)
8. 精神保健活動を展開するための知識と技術(1月21日水曜日2限)
 - ・国民衛生の動向演習(精神保健)(GW)
 - ・精神保健分野における一次予防・二次予防・三次予防(講義)
 - ・自殺対策(講義)
 - ・事例学習(GW)
9. 高齢者保健活動を展開するための知識と技術(1月23日金曜日1限)
 - ・介護予防について(講義)
 - ・高齢者虐待への対応について(講義)
 - ・事例学習(GW)
10. 難病保健活動を展開するための知識と技術(1月23日金曜日2限)
 - ・国民衛生の動向演習(GW)
 - ・難病対策について(講義)
 - ・事例学習(GW)
11. 感染症保健活動を展開するための知識と技術①(1月28日水曜日1限)
 - ・感染症対策について(講義)
 - ・結核対策について(講義)
 - ・結核罹患者のアセスメント(GW)
12. 感染症保健活動を展開するための知識と技術②(1月28日水曜日2限)
 - ・結核罹患者のアセスメント、支援計画の立案(GW)
13. 感染症保健活動を展開するための知識と技術③・まとめ(1月28日水曜日3限)
 - ・アセスメント、支援計画の発表
 - ・まとめ
14. 試験(1月30日金曜日3限)

・グループワークを中心とした授業のため、出席することが大前提です。遅刻、早退は20分までとします。

使用教室 F304

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小坂 素子、地域在宅分野助手		
〔 成績評価方法 〕 筆記試験 (60%)、授業態度 (40%) 授業態度は、授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況を評価する。 ＊20分以上の遅刻は欠席として取り扱う 〔 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 〕 筆記試験は原則として、採点后、manabaに解説を掲示し、フィードバックを行う。 ワークシートは、授業内において解説・補足を行う。 〔 オフィスアワー (質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:筆記試験、授業態度 (授業中に作成するワークシート・課題の記載内容及びグループ討議への参加状況)を評価 〔 教科書 (ISBN) 〕 書籍名:【第3版】公衆衛生看護活動論技術演習 著者名:岩本里織／編集 工藤恵子／編集 草野恵美子／編集 出版社名:クオリティケア ISBN:9784904363676 書籍名:公衆衛生看護技術 第5版 著者名:中村 裕美子 出版社名:医学書院 ISBN:9784260050029 書籍名:【第6版】乳幼児健診マニュアル 著者名:福岡地区小児科医会乳幼児保健委員会／編集 出版社名:医学書院 ISBN:9784260039352 書籍名:2025/2026の最新版 著者名:松田正己 出版社名:医学書院 ISBN:厚生労働統計協会 書籍名:国民衛生の動向2025/2026 著者名: 出版社名:厚生労働統計協会 ISBN: 書籍名:標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動 第5版 著者名:松田正己 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-05303-7 〔 参考書 (ISBN) 〕 書籍名:保健師業務要覧第4版2025年度版 著者名:井伊久美子 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818027879			

P11201260 [NNB3-008]

科目名	公衆衛生看護活動論実習		前期	2 単位
サブタイトル			実習	
担当者	小路 浩子、小坂 素子、小枝 美由紀、坂口 めぐみ、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標]				
1. 地域で生活している人々の実態に触れ、様々な健康レベル・ライフステージにある人々の健康課題を把握し、地域全体の課題としてとらえることができる。				
2. 地域で展開される保健師活動の実際をとおして、個人・家族、集団(組織)、地域全体を対象とする支援方法、支援技術を学び、保健師の機能や役割を理解することができる。				
3. 地域における社会資源とその活用について理解し、保健師による社会資源の開発について理解することができる。				
4. 地域の健康課題の解決に向けた保健師と他(多)職種・他(多)機関との連携との連携について理解できる。				
[授業概要]				
地域で生活しているさまざまな健康レベル・ライフステージにある対象(個人・家族・集団・組織・地域)の特性に合わせて展開される地域保健活動の実際に触れ、地域で生活する人々の実態や健康課題を把握するとともに、地域の人々の健康の保持増進に向けた取り組みや保健指導等の技術の基本を学び、公衆衛生看護活動に必要な実践能力を養う。また、個人・家族・集団(組織)のセルフケア能力を高める保健指導技術、他機関・他職種との連携、ケアマネジメント等の公衆衛生看護活動における保健師の機能と役割を理解する。保健師活動経験のある教員が臨地における実習指導担当保健師と協力・連携しながら、実習指導を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
実習に関連する授業内容を復習し理解して、事前学習を十分にしておいて実習に臨むこと。実習目的を明らかにし、記録は提出期限を守ること。日頃から住民生活に関係するニュース等に関心を持つこと。				
[授業計画]				
1. 実習効果を上げるために、公衆衛生看護管理論実習と合わせて行う。				
2. 保健所およびその管轄する市町村または区からひとつの市町村あるいは区を担当し、実習する。				
3. 保健所が管轄する地域での組織や集団等、地域の多様な場で行う。				
4. 担当する保健所および管轄する地域において展開されている様々な健康レベル、ライフステージの保健・福祉事業に参加し、実習する。				
5. 保健所が管轄する地域で実施されている保健・福祉事業に関するオリエンテーションを受ける。				
6. 健康教育、家庭訪問、健康診査、健康相談などの事業を見学実習する。				
7. 地域で展開されている地域組織活動の場や自主グループなど地域の多様な場での実習を行う。				
8. 学生間で話し合った実習のまとめを実習地に提出、保健師からの助言を受け、学びを深める。				
9. 実習終了時のカンファレンスで、保健師の役割や関連職種との連携、地域ケアシステム等について学びを共有し、自己の課題を探索、レポートにまとめる。				

科目名	公衆衛生看護活動論実習	前期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	小路 浩子、小坂 素子、小枝 美由紀、坂口 めぐみ、地域在宅分野助手		
[成績評価方法] 受講態度(10%)、実習評価(70%)、レポート(20%)により総合評価する			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習記録や課題へのフィードバックは、実習中の臨地または学内にて随時行う。課題レポートは、実習最終日に発表・共有の場を設け、教員からコメントする形でフィードバックを行う。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	公衆衛生看護管理論		前期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小路 浩子、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 公衆衛生看護活動における地域アセスメントの目的と展開方法を理解できるようになる。 2. 地域アセスメントに必要な理論と知識を理解し、具体的な技術を習得できるようになる。 3. 公衆衛生看護管理の目的およびその機能、施策化を理解できるようになる。				
[授業概要]				
行政における保健活動を展開するために必要な公衆衛生看護管理の概念や理論、公衆衛生看護活動の展開技術の具体的な方法について学ぶ。実際の地域を事例に用いて、既存データの分析や地区踏査により地域アセスメントを行い、健康課題を抽出する技法を習得する。さらに、地域アセスメントによって把握、分析した情報から、課題解決のための地域保健活動計画を立案、評価・改善するプロセスを学び、PDCAサイクルを理解する。 行政機関において保健師活動の経験のある教員がその経験も踏まえて、公衆衛生看護管理、地区診断の方法について説明する。また統計データや資料を用いて、学生同士で協力し合いながら、地域診断プロセスを段階的に学んでいく。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
各回の授業についての予習・復習を行うこと(各回、予習復習合わせて2時間程度)。 各回で示されたワークシートの作成、データ収集等の課題は次回授業までに終えておくようにしてください。自分が住んでいる地域の健康づくりや地域づくりについての情報に関心をもって、地域の環境を観察したり、ホームページや掲示板を見る習慣をつけてください。日ごろから、人々の暮らしや健康に関するニュースや話題にも関心を持ち、そのことがどのように人々の健康な暮らしに影響を与えるかを考えるようにしてください。				
[授業計画]				
1.地域全体を視野に入れた公衆衛生看護活動:公衆衛生看護管理と地域アセスメントの概念と理論、展開方法、PDCAサイクル(4月8日 火曜日)3限				
2.地域アセスメントの展開技術①【地域の現状を把握する－1】既存資料から情報を収集する(4月14日 月曜日)3限				
3.地域アセスメントの展開技術②【地域の現状を把握する－2】地区踏査・地区視診(4月14日 月曜日)4限				
4.地域アセスメントの展開技術③【情報を整理する】既存資料、地区踏査・地区視診の整理(4月21日 月曜日)2限				
5.地域アセスメントの展開技術④【情報の分析】収集した情報からのアセスメント(4月24日 木曜日)1限				
6.地域アセスメントの展開技術⑤【健康課題の推測と目標設定－1】アセスメントから健康課題を考え、事業目標を設定する(4月28日 月曜日)3限				
7.地域アセスメントの展開技術⑥【健康課題の推測と目標設定－2】プレゼンテーション、まとめ(4月28日 月曜日)4限				

科目名	公衆衛生看護管理論	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小路 浩子、地域在宅分野助手		
[成績評価方法] 学習態度・グループワーク参加態度(50%) 課題レポート・ワークシート(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・グループワークでは、その都度助言をします。 ・課題レポート、ワークシートは後日添削して返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:課題レポート、ワークシート成果物より評価 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:課題レポート、ワークシートの成果物、グループワーク参加状況・プレゼンテーションから評価 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、ワークシート、グループワーク参加状況から評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、ワークシート、グループワーク参加状況より評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク参加状況から評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、ワークシート、グループワーク参加状況から評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、ワークシート、グループワーク参加状況、プレゼンテーションから評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題レポート、ワークシート、グループワーク参加状況から評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート、ワークシート、グループワーク参加状況から評価 [教科書(ISBN)] 書籍名:地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案 第2版 著者名:佐伯 和子 編著 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263237106 書籍名:国民衛生の動向 2024/2025 著者名: 出版社名:厚生労働統計協会 ISBN: 書籍名:標準保健師講座 公衆衛生看護学概論第6版 著者名:標美奈子他 出版社名:医学書院 ISBN:978426004074 [参考書(ISBN)] 書籍名:地域看護診断 第2版 著者名:金川 克子 編 出版社名:東京大学出版会 ISBN:9784130624084			

科目名	公衆衛生看護管理論実習		前期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	小路 浩子、小坂 素子、小枝 美由紀、坂口 めぐみ、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標]				
1. 保健師活動の基本となるPDCAサイクルの実践について理解し、説明できる。 2. 既存の地域ケアシステムにおける保健師の機能や役割を理解し、地域ケアシステムの構築や施策化に向けた公衆衛生看護活動について理解し、説明できる。 3. 実習地の地域診断を行い、健康課題を抽出し、必要な対策を考えることができる。 4. 地域の健康危機管理について理解し、説明できる。				
[授業概要]				
保健所や市町村保健センター等の行政機関での実習をとおして、保健所等の保健行政機関の役割と機能、行政機関における看護職の役割について学ぶ。また、地域の健康課題把握のための地域診断、課題改善に向けた計画立案や事業開発、保健医療福祉の連携・協力体制の構築などの公衆衛生看護管理技術を学ぶとともに、公衆衛生看護管理に不可欠なPDCAサイクルの展開方法や地域ケアシステムづくり、危機管理体制について理解する。保健師活動経験のある教員が臨地における実習指導担当保健師と協力・連携しながら、実習指導を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
実習に関連する授業内容を復習し理解して、事前学習を十分にしておいて実習に臨むこと。実習目的を明らかにし、記録は提出期限を守ること。日頃から住民生活に関係するニュース等に関心を持つこと。				
[授業計画]				
1.実習効果をあげるために、公衆衛生看護活動論実習とあわせて行う。 2.保健所等の行政機関において実習を行う。 3.保健所とその管轄する市町村または区からひとつの市町村あるいは区を担当し、実習を行う。 4.保健所において、保健所の機能と役割、地域特性と健康課題、保健師活動の概要等のオリエンテーションを受ける。 5.担当する市町村あるいは区の資料やデータに基づいて事前学習し、レポートにまとめ、地域特性と健康課題、保健師活動の概要等のオリエンテーションを受ける。 6.PDCAサイクルに基づいて実習する。 1)保健所の管轄するひとつの市町村あるいは区を担当し、学内での事前学習・演習での情報収集、実習地の地区踏査、事業への参加、実習地でのオリエンテーション等を踏まえ、地域診断を行う。 2)担当した市町村あるいは区の地域診断結果から、健康課題を抽出し、課題解決に向けた対策を考え、実施に向けた方策や評価方法を検討する。 3)地域診断結果及び診断に基づいた健康課題、対策を「地区のすがた・健康課題」をまとめる。 4)まとめに対して実習指導保健師や管理職等からの助言を受け、学びを深めるとともに、助言を踏まえ、地区診断の見直しを行い、精度を高めていく。 5)担当した保健所及び市町村の地域ケアシステムや保健医療計画等についても学習し、地区診断結果に反映するとともに実習指導保健師や地区担当保健師からの助言を受け、学びを深める。 6)実習最終日において、実習地での助言・指導を踏まえ、追加・修正を行った地区診断の成果を学生間で討議し、学びを深める。 7.実習地でおこなわれている様々な健康危機対策について、保健師および関係者からオリエンテーションを受ける。				

科目名	公衆衛生看護管理論実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	小路 浩子、小坂 素子、小枝 美由紀、坂口 めぐみ、地域在宅分野助手		
[成績評価方法] 受講態度(10%)、実習評価(70%)、レポート(20%)により総合評価する			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習記録や課題へのフィードバックは、実習中の臨地または学内にて随時行う。実習内で行った地域診断の成果は臨地において発表し、実習指導担当保健師等から助言・指導を受け、追記・修正を行う。修正後の地域診断結果は、実習最終日に学内にて学生間で共有、意見交換を行い、教員がコメントする形でフィードバックを行う。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:受講態度、実習評価、レポートで評価する			
[教科書(ISBN)]			
[参考書(ISBN)]			

科目名	高齢者看護実践方法論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	笹谷 真由美、藤田 冬子、上田 志津恵、老年分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

〔到達目標〕

1. 老年期に起こりやすい加齢変化・フレイル、慢性疾患に関する健康問題、またそれらが日常生活に及ぼす影響を理解できる。
 2. 高齢者個々人による違いやこれまでの生活背景や人生観・価値観など全体像を含めたアセスメント、看護計画立案の知識を得て、高齢者への援助技術が習得できる。

〔授業概要〕

健康を障害された高齢者の状態を総合的にアセスメントできる能力を養うために、高齢者が陥りがちな健康障害に応じた看護援助を展開するための方法を学ぶ。授業では老年期に起こりがちな健康障害である脳血管障害、認知症、心疾患、呼吸器系の疾患、パーキンソン病、骨・関節疾患等のケアを行うためのアセスメントと看護について、また、健康障害を悪化させやすい症状である脱水・栄養障害、せん妄、褥瘡等のアセスメントや予防・看護援助について学ぶ。さらに地域で自立して暮らす高齢者、あるいは介護を受けながら暮らす高齢者においても、健やかに老いを迎えられるための支援、終末期を迎える高齢者についての理解も深める。さらに老年看護での看護過程展開の特徴や方法について学ぶ。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

今回の授業についての予習・復習は4時間程度である。
 疾病と治療Ⅰで学んだ疾患について、知識として身につくように復習しておくこと。また、1年次に学んだ人体のしくみと機能Ⅰ・Ⅱについても復習しておくこと。高齢者に関する時事問題等に関心を広げておくこと。

〔授業計画〕

1. 加齢の影響および高齢者の健康状態の特徴を理解するとともに必要となるアセスメントと看護について学ぶ(4月8日火曜日) 2限 (笹谷真由美)
 2. 呼吸器の機能低下やこれらの疾患をもつ高齢者を理解するとともに必要となるアセスメントと看護について学ぶ(4月15日火曜日) 2限 (藤田冬子)
 3. 循環器の機能低下やこれらの疾患をもつ高齢者を理解するとともに必要となるアセスメントと看護について学ぶ(4月22日火曜日) 2限 (藤田冬子)
 4. 運動機能に障害を持つ高齢者へのアセスメント及び日常生活援助の方法を学ぶ(5月13日火曜日) 2限 (藤田冬子)
 5. 摂食嚥下機能に障害を持つ高齢者へのアセスメントと日常生活援助の方法を学ぶ(5月20日火曜日) 2限 (藤田冬子)
 6. 排泄機能に障害を持つ高齢者へのアセスメントと日常生活援助の方法を学ぶ(5月27日火曜日) 2限 (藤田冬子)
 7. 認知症・精神疾患等を持つ高齢者を理解するとともに必要となるアセスメントと看護について学ぶ(6月3日火曜日) 2限 (笹谷真由美)
 8. 老いと死、高齢者の終末期の特徴、死にかかわる権利、死を看取る場所、および終末期の看護について学ぶ(6月10日火曜日) 2限 (藤田冬子)
 9. 高齢者の地域での生活を支えるケアスタッフ、保健・医療・福祉等の他職種との連携との協働・マネジメントについて調べる(6月17日火曜日) 2限 (笹谷真由美)
 10. 高齢者の地域での生活を支えるケアスタッフ、保健・医療・福祉等の他職種との連携との協働・マネジメントについてまとめる(6月24日火曜日) 2限 (笹谷真由美)
 11. 健康障害がある高齢者の看護過程を展開するために必要な情報収集及びアセスメントの方法、アセスメントの活用と援助計画の立案について学ぶ(7月1日火曜日) 2限 (笹谷真由美)
 12. 健康障害がある高齢者の事例を用いて、情報収集・アセスメント・看護計画を立案する(7月8日火曜日) 2限 (笹谷真由美、上田志津恵)
 13. 健康障害がある高齢者の事例で立案した看護計画の内容について検討する(7月15日火曜日) 2限 (笹谷真由美、上田志津恵)

科目名	高齢者看護実践方法論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	笹谷 真由美、藤田 冬子、上田 志津恵、老年分野助手		
[成績評価方法] 1. 授業中の課題(20%) 2. 小テスト(80%)			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・課題は後日添削して返却します。 ・試験後、解答の解説を行います。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:小テスト50%、レポート課題50%			
学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:小テスト50%、レポート課題50%			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:小テスト50%、レポート課題50%			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト50%、レポート課題50%			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト50%、レポート課題50%			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題100%			
[教科書(ISBN)] 書籍名:教科書1 「ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践」 [著者名:堀内ふき 他 出版社名:メディカ出版 ISBN:978-4-8404-7841-0 書籍名:看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 著者名:秋葉 公子(著)、玉木 ミヨ子(著)、村中 陽子(著)、江崎 フサ子(著) 出版社名:ヌーベルヒロカワ ISBN:ISBN-10: 4861740568			
[参考書(ISBN)] 書籍名:「生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図」第4版 著者名:山田律子 他 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-04274-1			

科目名	高齢者看護論	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	藤田 冬子、老年分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標]			
1. 加齢による人間の反応を理解できる 2. 老年期を生きる人々と看護の役割を理解できる 3. 高齢者を取り巻く社会制度と課題について理解できる 4. 高齢者にかかわる倫理的課題について理解できる			
[授業概要]			
老人看護専門看護師の認定を受けた教員が、看護実践経験を基に以下の内容を講義する。 加齢のプロセスや老年期の特徴、加齢と健康の関連及び発生する健康障害と疾病予防について理解する。高齢者が健やかに老いるために求められる看護の役割や機能、高齢者を支える保健・医療・福祉や社会制度の変遷、高齢者が持つ価値観、高齢者が生きてきた時代とこれからの人生、高齢者ケアにまつわる倫理的問題についても学ぶ。これらを統合し健康障害がある高齢者を理解できるように学ぶ。 遅刻・早退は3回で、1回の欠席とします。50分以上の遅刻は欠席とします。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
授業内容について教科書の該当するところを、熟読し理解を深めておくこと。 授業前には身近な高齢者の生活やニュース、新聞記事などに関心を持っておくこと。 前回の授業内容を復習しておくこと。各回、上記内容を予習復習合わせて2時間程度おこなう。			
[授業計画]			
1. 老年期の体験と人々を支える高齢者看護(藤田冬子)(10月2日木曜日)3限 2. 加齢によるライフサイクルの変化の理解、老年期における健康と危機、発達課題加齢による心身の変化と生活への影響、高齢者に必要となる援助の視点、高齢者を支える社会制度を概観する(藤田冬子)(10月9日木曜日) 3限 3. 高齢者のQOLと加齢による心身の変化に対する日常生活での対処及び工夫(予防と通いの場合含む)、必要な援助の視点を学ぶ(藤田冬子)(10月16日木曜日) 3限 4. 健康障害を持つ高齢者の基本的欲求、高齢者のコミュニケーション、高齢者の看護を実践するためのアセスメントを学ぶ(藤田冬子)(10月23日木曜日) 3限 5. 高齢者看護における倫理、倫理的課題と対応、長期療養施設・在宅看護、エンドオブライフケア(長期療養施設でのエンドオブライフのケアニーズ含む)、ACPを学ぶ(藤田冬子)(10月30日木曜日) 3限 6. 高齢者の生きてきた時代と価値観を学び、高齢者の人生の考え方を学ぶ(学外特別講師・藤田冬子)(10月30日木曜日) 4限 7. 高齢者の暮らしを支える保健・医療・福祉等の他職種との協働・マネジメント、チームアプローチ、世界の高齢化、日本の高齢者ケアの課題及び地域包括ケアシステムを学ぶ(藤田冬子)(11月6日木曜日) 3限			

科目名	高齢者看護論	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	藤田 冬子、老年分野助手		
[成績評価方法] 1. 授業中の小テストによる評価 (50%) 2. 授業内容の学びを問うアンケートによる評価 (50%) 上記1-2項目にて総合的に評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 1. 小テスト後、授業で解説する。 2. アンケート結果について授業で解説する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法: 授業内容についての学びをとるアンケート 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 小テスト、授業内容の学びを問うアンケート [教科書(ISBN)]			

科目名	こころの健康増進と看護		後期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	玉木 敦子、高橋 秋絵、精神分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	ロールプレイ	実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1.現代社会におけるストレスと精神的諸問題について論述できる。 2.身体疾患をもつ患者のこころの健康問題とこころのケアについて述べるができる。 3.周産期の女性のメンタルヘルスとこころのケアについて述べるができる。 4.看護職のストレスとストレスマネジメントについて説明できる。				
[授業概要]				
人間は日々生活する中でさまざまなストレスを体験し、人生を生きる中でさまざまな危機に遭遇する。この授業では、精神看護実践の経験を有する教員が、自分自身の体験や実習での体験をもとに、さまざまな場や状況で人間が体験するストレスや危機、起こりうる精神的諸問題を理解し、その中でどのようにこころの健康を維持・増進するかを理解する。さらにそこでの看護職の役割を考察する。 主なテーマは、現代社会におけるストレスとこころの健康、身体疾患により療養生活を送る患者のこころの健康と看護、周産期の女性のこころの健康と看護、看護職のこころの健康とストレスマネジメントである。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
各回、2時間程度授業内容の復習と、次回の予習をすること。事前に指定された課題について、自分自身の体験や実習での体験をもとに取り組んだうえで、授業に臨むこと。				
[授業計画]				
1.現代社会のさまざまな場(家庭、学校、職場など)におけるストレスと精神健康問題を概観する(玉木敦子)(12月8日月曜日)1限 2.ストレスに関する理論を学び、看護学生や看護職が体験するストレスを概観する(玉木敦子)(12月8日月曜日)2限 3.周産期にみられる精神健康問題やそれに対する治療的アプローチについて概観する(玉木敦子)(12月9日火曜日)1限 4.産後うつ病のスクリーニングと産後うつ状態にある女性への看護援助について学ぶ(高橋秋絵)(12月9日火曜日)2限 5.身体疾患をもつ患者と家族に対するケアおよび看護職へのメンタルヘルス支援を担うリエゾン精神看護の役割と実践について学ぶ(玉木敦子)学外特別講師(12月15日月曜日)1限 6.理論に基づいたストレスマネジメントの実践を体験的に学ぶ(高橋秋絵)(12月15日月曜日)2限 7.現代社会でトピックとなっている精神健康問題を取り上げ、その背景要因を理解し、看護の役割と課題を検討する(玉木敦子、高橋秋絵)(12月16日火曜日)2限 8.試験(12月19日金曜日)2限				

科目名	こころの健康増進と看護	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	玉木 敦子、高橋 秋絵、精神分野助手		
[成績評価方法] 試験(70%)、レポート(30%)を総合的に評価する。 レポートのテーマ及び提出日は下記の通り。詳細はmanaba等にて通知する。 ・テーマ「最近の精神保健に関する問題について」(A4 2枚 3000字程度) ・レポート提出日:12月16日(火)2限目開始時(期限厳守) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] * 試験は、採点后に採点結果の全体的なコメントを示すことによって行う。 * レポートは、後日添削して返却する [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験、レポート 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験、レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート [教科書(ISBN)] 書籍名:精神看護学 1 第6版 著者名:吉松 和哉 編集 出版社名:ヌーヴェルヒロカワ ISBN:9784861740640 [参考書(ISBN)] 書籍名:これでいいんだ! 妊産婦の生活と育児に寄りそうメンタルヘルスケア 著者名:玉木敦子編著 出版社名:メディカ出版 ISBN:978-4-8404-8150-2			

科目名	コミュニケーション論(表現学)		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	北川 勝利、笹原 寿峰、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 対人コミュニケーションについて理論的な枠組みを理解し、伝達表現能力を養い、社会に出てから必要なコミュニケーション能力を身につける。				
[授業概要] 人と人が社会の中でどのように言葉を使っているかについて、様々なテーマを取り上げ、重要な点を整理・考察する。授業での実践的演習を通して 円滑なコミュニケーションを図る手段や、多様化するコミュニケーションの現状を解説したうえで、問題点などを考察する。更に面談等のコミュニケーション実習を体験することで、医療現場で役立つ、コミュニケーション表現能力を養う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日常から会話に興味を持ち、どうすれば自己の考え方が人に伝わるかのを考察し、家族や友人と話しをする際も様々な工夫を試す。テレビ番組を観たり新聞を読んだりネットニュースをチェックしたり音楽を聴いたり情報に触れた際に独自に感想、意見を考えてみる。 予習、復習4時間				
[授業計画] 1. 導入:コミュニケーションについて(笹原)9月26日(金)5限目 2. コミュニケーション表現の基礎について 話す力と聞く力(北川)10月3日(金)5限目 3. 円滑なコミュニケーション1(自己紹介 自分紹介とは)(北川)10月10日(金)5限目 4. 円滑なコミュニケーション2(他者紹介とは)(笹原)10月17日(金)5限目 5. TVCM、生成AIなどにおけるコミュニケーション表現について(北川)10月24日(金)5限目 6. 社会におけるコミュニケーション表現について(笹原)10月31日(金)5限目 7. コミュニケーション表現力を高める(笹原)11月7日(金)5限目 8. ニュースや社会的な出来事について理解を深めコミュニケーション力を高める(北川)11月21日(金)5限目 9. 日本語の特性と非言語(ノンバーバル)の重要性(笹原)11月28日(金)5限目 10. アナウンサーにみるコミュニケーション 技法(北川)12月5日(金)5限目 11. 実社会(医療現場)につながる色々なシチュエーションでの表現を学ぶ(北川)12月12日(金)5限目 12. グループでゲーム形式等でのコミュニケーション体験を行う(北川)12月19日(金)5限目 13. 実演 面談(笹原)1月9日(金)5限目				

科目名	コミュニケーション論(表現学)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	北川 勝利、笹原 寿峰、教務助手		
[成績評価方法] 授業中の演習体験 発表50%・レポート50% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講評及びレポートでフィードバック [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) 学科DP番号／DP内容:看護2-3／他社との協働を可能にする高い対話力、会話力と自ら進んで行う主体的な行動力を身につけている。 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝え協力して行動し、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	コミュニケーション論(表現学)		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	北川 勝利、笹原 寿峰、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 対人コミュニケーションについて理論的な枠組みを理解し、伝達表現能力を養い、社会に出てから必要なコミュニケーション能力を身につける。				
[授業概要] 人と人が社会の中でどのように言葉を使っているかについて、様々なテーマを取り上げ、重要な点を整理・考察する。授業での実践的演習を通して 円滑なコミュニケーションを図る手段や、多様化するコミュニケーションの現状を解説したうえで、問題点などを考察する。更に面談等のコミュニケーション実習を体験することで、医療現場で役立つ、コミュニケーション表現能力を養う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日常から会話に興味を持ち、どうすれば自己の考え方が人に伝わるかのを考察し、家族や友人と話しをする際も様々な工夫を試す。テレビ番組を観たり新聞を読んだりネットニュースをチェックしたり音楽を聴いたり情報に触れた際に独自に感想、意見を考えてみる。 予習、復習4時間				
[授業計画] 1. 導入:コミュニケーションについて(笹原)9月26日(金)5限目 2. コミュニケーション表現の基礎について 話す力と聞く力 (北川)10月3日(金)5限目 3. 円滑なコミュニケーション1(自己紹介 自分紹介とは) (北川)10月10日(金)5限目 4. 円滑なコミュニケーション2(他者紹介とは) (笹原)10月17日(金)5限目 5. TVCM、生成AIなどにおけるコミュニケーション表現について (北川)10月24日(金)5限目 6. 社会におけるコミュニケーション表現について (笹原)10月31日(金)5限目 7. コミュニケーション表現力を高める (笹原)11月7日(金)5限目 8. ニュースや社会的な出来事について理解を深めコミュニケーション力を高める (北川)11月21日(金)5限目 9. 日本語の特性と非言語(ノンバーバル)の重要性 (笹原)11月28日(金)5限目 10. アナウンサーにみるコミュニケーション 技法 (北川)12月5日(金)5限目 11. 実社会(医療現場)につながる色々なシチュエーションでの表現を学ぶ (北川)12月12日(金)5限目 12. グループでゲーム形式等でのコミュニケーション体験を行う (北川)12月19日(金)5限目 13. 実演 面談 (笹原)1月9日(金)5限目				

科目名	コミュニケーション論(表現学)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	北川 勝利、笹原 寿峰、教務助手		
[成績評価方法] 授業中の演習体験 発表50%・レポート50% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講評及びレポートでフィードバック [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) 学科DP番号／DP内容:看護2-3／他社との協働を可能にする高い対話力、会話力と自ら進んで行う主体的な行動力を身につけている。 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝え協力して行動し、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業中の発表(50%) レポート(50%) [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	コミュニティ看護実習Ⅰ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	東 ますみ、小路 浩子、笹谷 真由美、中岡 亜希子、西原 詩子、小坂 素子、吉原 文子、小枝 美由紀、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 施設や在宅で生活(療養)する高齢者の身体的・心理的・社会的特徴が理解できる。 2. 施設や訪問看護ステーションの利用目的に応じた、高齢者のニーズと生活の実際が理解できる。 3. 高齢者の生活を支える看護について考察することができる。 [授業概要] 看護師免許を持つ教員が、以下の概要について実習を行う。何らかの健康障害あるいは生活障害を持ちながらコミュニティの中で生活(療養)する高齢者やその家族に対する多様な看護援助を、訪問看護やリハビリテーション場面での見学を通して理解を深め、高齢者の生活を支える看護について学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 実習の学びを深めるために、実習前に学内で行われるガイダンスやオリエンテーションに必ず参加し、事前課題に取り組んでおいてください。 実習にふさわしい身だしなみ、マナーを身につけ、健康状態を整えたうえで実習に臨んでください。 [授業計画] 1. 実習に臨む前に「実習ガイダンス資料」「コミュニティ看護実習Ⅰ 実習要項」を熟読する。 2. 実習前に学内で行われるガイダンスやオリエンテーションに必ず出席する。 3. 介護老人保健施設及び訪問看護ステーションにおいて実習を行い、高齢者の生活について理解を深め、必要な看護を考える。 ・実習先でのオリエンテーション ・介護老人保健施設における入所部門や通所サービス部門の見学 ・訪問看護ステーション実習における訪問看護師との同行訪問 ・高齢者への看護、リハビリテーション・レクリエーション場面の見学 ・高齢者とのコミュニケーション 4. 実習中は適宜デイリーカンファレンスを行い、実習で感じたこと、気づいたこと、疑問などをディスカッションし、メンバーと共に学びを深める。 5. 実習最終日は、学内でカンファレンスを行い、高齢者の生活を支える看護と自らの課題について考えを深める。				

科目名	コミュニティ看護実習Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	東 ますみ、小路 浩子、笹谷 真由美、中岡 亜希子、西原 詩子、小坂 素子、吉原 文子、小枝 美由紀、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手		

[成績評価方法]
目標到達度(実習への参加態度を含む)(87%)、課題レポート・事前課題(13%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
個別面接時に助言します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム)
生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解)
生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力)
自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理実践と道徳的態度)
看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力)
保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法: 目標到達度(実習への参加態度含む)、課題レポート・事前課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:老年看護学(1):高齢者の健康と障害 第6版 著者名:堀内 ふき 出版社名:メディカ出版 ISBN:

P11201190 [NNB1-009]

科目名	コミュニティ看護実習Ⅱ（高齢者）		後期	2 単位
サブタイトル			実習	
担当者	笹谷 真由美、上田 志津恵、老年分野助手			
〔アクティブラーニング授業〕				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	

〔到達目標〕

1. 老年期にある患者の加齢に伴う変化、疾病について理解し、高齢者の全体像を理解することができる。
2. 老年期にある患者の療養の場、治療・ケアが与える影響について理解し、その場で実践される老年看護についての考え方を学ぶことができる。
3. 高齢者と家族、高齢者をとりまく多職種の間わり、医療・介護制度について学びを深めることができる。
4. 主体的に学び、受け持ち患者に関わる責任を自覚し、真摯に取り組むことができる。

〔授業概要〕

施設(病院、高齢者施設等)において治療を受ける老年期の患者を受け持ち、発達段階、加齢による身体機能への影響、健康障害、生活障害および心理・社会的側面を受けている影響を理解する。また、高齢者がケアを受ける中でもつ健康上の課題をアセスメントする能力を養う。また老いに直面する高齢者の意思を尊重し、高齢者の全体像を理解する。これらをふまえた情報およびアセスメントをもとに必要な看護の方向性を明らかにする。さらに、1年次の「コミュニティ看護実習Ⅰ」で学んだことを基に、地域、介護施設に住む高齢者と比較、介護施設で実施している看護・介護ケアと医療施設での看護ケアの相違点、保険制度の違いによる医療、福祉に関わる体制、サービス等の違いについて、基本的な内容を理解する。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

実習オリエンテーションに必ず出席すること。既習の関連科目(高齢者看護論、高齢者看護実践方法論、人体のしくみと機能Ⅰ・Ⅱ、疾病と治療Ⅰ、コミュニティケアシステム論、コミュニティヘルスケア技術演習Ⅰ・Ⅱ)を必ず復習をしておくこと。高齢者の主な疾患と看護に関する事前課題に取り組むこと。

〔授業計画〕

病院において、以下のとおり1週間の実習を行う。

1. 実習オリエンテーションに出席し、事前課題にて高齢者の特徴、高齢者ケアの理解を深める。
2. 原則として、1～2名の高齢患者を受け持ち、個別性を尊重した情報収集・アセスメント等をおこない、実習記録を活用しながら、高齢者の状況をアセスメントし、全体像を捉える。
3. 受け持ち患者と援助的関係を築く
4. 日常生活援助を見学・実施するにあたり患者に説明し同意を得て、指導のもとで実施する
5. 実習に必要な事前課題および実習内容は一定の様式の実習記録に記載する
6. 日々のカンファレンスにおいて、情報や学びを共有し、学習上の問題解決を図る
7. 最終カンファレンスにおいて、実習で得た具体的な学びと健康障害を持つ高齢者および高齢者へのケアの特徴について考察する

介護老人保健施設において、以下のとおり1週間の実習を行う。

1. 実習オリエンテーションに出席し、介護老人保健施設の位置付けと、期待される機能・役割について理解を深める。
2. 原則として、1～2名の利用者を受け持ち、個性を尊重した情報収集・アセスメント等をおこない、実習記録を活用しながら、高齢者の状況をアセスメントし、全体像を捉える。
3. 受け持ち利用者と援助的関係を築く
4. 日常生活援助を見学・実施するにあたり患者に説明し同意を得て、指導のもとで実施する
5. 実習に必要な事前課題および実習内容は一定の様式の実習記録に記載する
6. アクティビティケアを見学し、高齢者の社会参加の意義を考える。
7. 日々のカンファレンスにおいて、情報や学びを共有し、学習上の問題解決を図る
8. 最終カンファレンスにおいて、実習で得た具体的な学びと施設に入所している高齢者および高齢者へのケアの特徴について考察する

科目名	コミュニティ看護実習Ⅱ（高齢者）	後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	笹谷 真由美、上田 志津恵、老年分野助手		
〔 成績評価方法 〕 1.事前課題・レポート課題（30%） 2.実習内容（高齢者の理解、アセスメント、実習記録、コミュニケーション、カンファレンス、積極性、体調管理、連絡、報告、課題提出期限の厳守など）（70%） 〔 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 〕 事前課題、実習記録に対するフィードバックは、実習開始後に個別に行います。 〔 オフィスアワー（質問等の受付方法） 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP） 〕 学科DP番号／DP内容：看護1-1／（プロフェッショナリズム） 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法：レポート課題50%、実習記録50% 学科DP番号／DP内容：看護1-2／（科学的根拠に基づいた課題対応能力） 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法：事前課題50%、実習記録50% 学科DP番号／DP内容：看護1-3／（人が病むことへの関心と理解） 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法：レポート課題50%、実習記録50% 学科DP番号／DP内容：看護2-2／（看護の表現力） 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法：実習記録100% 学科DP番号／DP内容：看護2-3／（倫理の実践と道徳的態度） 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法：レポート課題50%、実習記録50% 学科DP番号／DP内容：看護3-2／（協働・協力） 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法：実習記録100% 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：実習記録100% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：実習記録100% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：レポート課題50%、実習記録50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢 成績評価方法：レポート課題50%、実習記録50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：レポート課題30%、事前課題20%、実習記録50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：レポート課題50%、実習記録50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：レポート課題50%、実習記録50% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：レポート課題30%、事前課題20%、実習記録50%			
〔 教科書（ISBN） 〕 書籍名：ナーシング・グラフィカー―老年看護学(1) 高齢者の健康と障害 著者名：堀内 ふき、諏訪 さゆり、山本 恵子 他 出版社名：株式会社メディカ出版 ISBN:978-4-8404-7208-1 書籍名：ナーシング・グラフィカー―老年看護学(2) 高齢者看護の実践 著者名：堀内 ふき、大淵 律子、諏訪 さゆり 他 出版社名：株式会社メディカ出版 ISBN:978-4-8404-7841-0 〔 参考書（ISBN） 〕 書籍名：看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 〔著者名：秋葉公子、江崎フサ子、玉木ミヨ子、村中陽子 出版社名：ヌーヴェルヒロカワ ISBN:978-4-86174-056-5 〕 □			

P11201200 [NNB2-006]

科目名	コミュニティケアシステム論		後期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小枝 美由紀、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1.コミュニティケアとは何かを理解できる 2.個人・家族と地域という重層的な関係と支援方法について理解できる 3.対象に応じたコミュニティケアの構築と展開について理解できる [授業概要] 訪問看護の経験を有する教員が、コミュニティで暮らす人々が抱える健康課題や、それらをコミュニティで支えあい問題解決していけるための方法、保健・医療・福祉に関する社会システム、看護が担うべき役割や機能について指導します。また、住民主体・住民参加について理解するとともに、協働活動を推進する支援方法を考えていきます。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 政治や地域の社会的問題、社会保障に関するマスコミ報道などを把握し、主体的に情報を集め、積極的に授業に参加してください。 各回、予習復習合わせて1時間程度 [授業計画] 第1回 コミュニティの理解、コミュニティケアの概念、コミュニティケアの対象(11月28日金曜日 3限) 第2回 妊娠出産、子どもを対象とするコミュニティケアシステム(12月1日月曜日 2限) 第3回 青年、壮年期のコミュニティケアシステム(12月5日金曜日 3限) 第4回 健康障害を予防する老年期のコミュニティケアシステム(12月8日月曜日 2限) 第5回 地域包括ケアシステムと地域共生社会(12月12日金曜日 3限) 第6回 在宅療養者を対象とするコミュニティケアシステム(12月15日月曜日 2限) 第7回 コミュニティケアシステムにおける看護の役割を考える(12月19日金曜日 3限)				

科目名	コミュニティケアシステム論	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小枝 美由紀、地域在宅分野助手		
[成績評価方法] 課題レポート(70%)、授業中のワークシート(15%)、授業後の課題(15%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削して後日返却します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:課題レポート、授業中のワークシート、授業後の課題 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:課題レポート、授業中のワークシート、授業後の課題 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:課題レポート、授業中のワークシート、授業後の課題 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のワークシート、授業後の課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のワークシート、授業後の課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中のワークシート、授業後の課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、授業中のワークシート、授業後の課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題レポート、授業中のワークシート、授業後の課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート、授業中のワークシート、授業後の課題 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中岡 亜希子、笹谷 真由美、西原 詩子、吉原 文子、小枝 美由紀、坂口 めぐみ、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手			
〔アクティブラーニング授業〕				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
〔 到達目標 〕 1. すべての看護技術に各々の原理・原則があることを知り、その根拠を考えることができる。 2. 看護技術を人に適用する際には、患者と看護者の安全・安楽・自立なを考慮しなければならないことを理解する。 3. 上記のことを踏まえた上で、病床環境で実践する基本的な看護技術を実践することができる。 4. 療養者・看護師体験を通じて、看護職として必要な基本的な態度及び看護技術を習得するための学習態度をみにつけることができる。 5. 基本的な看護技術の提供に必要な環境を考え、道具の取り扱い方及びそれらを管理するルールを学ぶことができる。 〔 授業概要 〕 医療施設、在宅の場で病にある人への生活援助に必要な基本的知識を使い、援助を実践していく過程を学習する。看護者側だけでなく、療養者の立場で援助を受ける体験をし、援助を受ける意味を考え、振り返り、評価することを行う。基本的看護技術のうち、病床環境を整えること、基本的活動、対象とのコミュニケーション、バイタルサインの測定に関する知識、技術を身につける。 教員は全員が看護師免許を有し、病院や在宅、保健所等で、看護師または保健師などの看護専門職として勤務していた経験を生かして、看護技術の指導を行う。 〔 準備学修(予習・復習)の内容・時間 〕 各回、予習復習と合わせて2時間程度が必要です。 演習時は、「身だしなみチェックリスト」の基準に沿ったヘアスタイル、服装等で授業に参加する。時間内で有効に演習ができるよう、必要な知識や手順は理解した上で授業に臨む。授業中の疑問点を解決できるよう、事後学習を行う。 〔 授業計画 〕 1. 日常生活を行う上での看護の機能と役割・環境整備(ベッドの説明)(中岡 亜希子、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山紗織、黒住 智子)(4月11日金曜日)Aクラス:1限 Bクラス:2限【F417・F419・F529】 2. 演習室オリエンテーション・身だしなみ・手指衛生・リネン類の説明(中岡 亜希子、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山紗織、黒住 智子)(4月11日金曜日)Aクラス:2限 Bクラス:1限【F417・F419・F529】 3. リネン交換(中岡 亜希子、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、遠山 紗織、黒住 智子)(4月18日金曜日)Aクラス:1限 Bクラス:2限【F417・F529】 4. 基本的活動の援助(笹谷 真由美、助教2)(4月18日金曜日)Aクラス:2限 Bクラス:1限【F310】 5. 体位変換1(中岡 亜希子、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山 紗織、黒住 智子)(4月25日金曜日)1限【F417・F529】 6. 体位変換2(中岡 亜希子、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山 紗織、黒住 智子)(4月25日金曜日)2限【F417・F529】 7. 臥床患者のシーツ交換(中岡 亜希子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山 紗織、黒住 智子)(5月9日金曜日)1限【F417・F529】 8. 臥床患者のシーツ交換(中岡 亜希子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山 紗織、黒住 智子)(5月9日金曜日)2限【F417・F529】 9. スタンダードプリコーション(中岡 亜希子、笹谷 真由美、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、助教2、黒住 智子)(5月23日金曜日)Aクラス:1限 Bクラス:2限【F417・F529】 10. 対象の身体を観察すること(中岡 亜希子)(5月30日金曜日)2限【F310】 11. バイタルサインの測定1(中岡 亜希子、笹谷 真由美、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山 紗織、黒住 智子)Aクラス(6月6日金曜日)1限、Bクラス(6月13日金曜日)1限【F417】 12. バイタルサインの測定2(中岡 亜希子、笹谷 真由美、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山 紗織、黒住 智子)Aクラス(6月6日金曜日)2限、Bクラス(6月13日金曜日)2限【F417】 13. 技術確認(中岡 亜希子、笹谷 真由美、西原 詩子、小枝 美由紀、吉原 文子、助教1、坂口 めぐみ、助教2、遠山 紗織、黒住 智子)(6月27日金曜日)Aクラス1限、Bクラス2限【F417・F529】 記述試験(6月20日金曜日1限)【F310】 技術確認に不合格の場合には、7月4日1、2限で(再)技術確認を実施する。 ※Aクラス・Bクラスは、当該科目で別途学籍番号を指定することがあるので、事前にアナウンスに注意すること。 ※使用する教室は別途指示をする。				

科目名	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中岡 亜希子、笹谷 真由美、西原 詩子、吉原 文子、小枝 美由紀、坂口 めぐみ、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手		
〔 成績評価方法 〕 筆記試験・技術確認(50%)、事前・事後レポート(50%) 演習は、実践前の説明からの参加が重要となるため、授業開始後30分以上経過した遅刻は、欠席とみなします。 決められた身だしなみで演習に臨まない場合は、出席とみなさない場合があります。 その他、評価に関わる詳細については、授業時初回に別途お知らせします。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 manaba等でフィードバックする。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:事前・事後レポート、技術確認、授業態度 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:事前・事後レポート、技術確認、授業態度 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:事前・事後レポート、技術確認、授業態度 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:事前・事後レポート、技術確認、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:事前・事後レポート、技術確認、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:事前・事後レポート、技術確認、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:事前・事後レポート、技術確認、授業態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:事前・事後レポート、技術確認、授業態度 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 著者名:医療情報科学研究所 編集 出版社名:メディックメディア ISBN:9784896327816 書籍名:看護がみえる vol.1 基礎看護技術 著者名:医療情報科学研究所 編集 出版社名:メディックメディア ISBN:9784896327335 書籍名:病院・施設・地域で使える 看護師のための感染対策 著者名:洪愛子 出版社名:中央法規出版 ISBN:9784805882856 書籍名:電子テキスト 著者名:有田清子 出版社名:医学書院 ISBN:医学書院 書籍名:系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学2基礎看護技術Ⅰ 著者名:有田清子 出版社名:医学書院 ISBN:9784260019996 書籍名:系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学3基礎看護技術Ⅱ 著者名:有田清子 出版社名:医学書院 ISBN:9784260027601 〔 参考書(ISBN) 〕			

P11201170 [NNB1-008]

科目名	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	笹谷 真由美、藤田 冬子、吉原 文子、小枝 美由紀、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 1. 療養者の生活上に必要な健康上の課題に関する知識と技術を習得する。 2. 事例設定において必要な知識・援助を考えながら援助のプロセスを考えることができる。 3. 対象者の生活行動への援助を対象者の状態と場面に合わせて実践できる。				
[授業概要] 何らかの要因により、健康レベルの低下によってもたらされる療養者の生活上の健康課題に対し、対象者の状況に応じた援助を行うことができるように、必要な知識と援助方法を学習する。人の身体観察方法を身につけ、フィジカルアセスメントを病室の環境を設定したスペースだけでなく、在宅や施設などでの生活の場を設定したスペースで実践し、それぞれの対象者の生活場面への援助技術に応用していく。成人期・老年期にある患者の援助に必要な知識と方法をもとに、具体的にその人に見合った援助方法を検討し、実践する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 事前学修:病態、治療、予後など疾患について、手順書の作成、模擬事例のアセスメント、援助計画の立案 事後学修:演習体験の振り返り、援助計画の評価、修正 各回、予習復習合わせて3時間程度。計画的に学修を進めること。				
[授業計画] 1回 【老年・在宅】講義/演習① オリエンテーション/健康障害をもつ高齢者の看護過程・アセスメント(笹谷・大久保後任・柴田後任・小枝・坂口後任・吉原)(9月22日月曜日3限)F210 2回 【老年・在宅】講義/演習 ② 健康障害をもつ高齢者の看護過程・看護課題の抽出(笹谷・大久保後任・柴田後任・小枝・坂口後任・吉原)(9月22日月曜日4限)F210 3回 【在宅】言語的コミュニケーションが困難な高齢者とのコミュニケーション 演習:療養の場での観察・バイタル測定(小枝・坂口後任・柴田後任)(9月26日金曜日3限) 4回 【在宅】言語的コミュニケーションが困難な高齢者とのコミュニケーション 演習:療養の場での観察・バイタル測定(小枝・坂口後任・大久保後任)(9月26日金曜日4限) 5回 【老年】高齢者への口腔ケアの必要性(藤田・柴田後任)(9月29日月曜日3限) 6回 【老年】麻痺や嚥下障害のある高齢者の栄養・食事援助技術(藤田・柴田後任)(9月29日月曜日4限) 7回 【老年】運動機能に障害をもつ高齢者への関節可動域訓練(藤田・大久保)(9月29日月曜日5限) 8回 【在宅】療養者の輸液管理 演習:療養者の輸液管理(小枝・坂口後任・吉原)(10月3日金曜日3限) 9回 【在宅】療養者の輸液管理 演習:療養者の輸液管理(小枝・坂口後任・柴田後任)(10月3日金曜日4限) 10回 【在宅】療養の場での清潔ケア・入浴介助・物品の工夫(小枝・坂口後任・大久保後任)(10月3日金曜日5限) 11回 【老年】運動機能に障害をもつ高齢者の移動/移送(藤田・柴田後任)(10月6日月曜日3限) 12回 【在宅】点滴中の臥床療養者の更衣、シーツ交換 演習:点滴中の臥床療養者の更衣、シーツ交換(小枝・坂口後任・吉原)(10月6日月曜日4限) 13回 【在宅】点滴中の臥床療養者の更衣、シーツ交換 演習:点滴中の臥床療養者の更衣、シーツ交換(小枝・坂口後任・柴田後任)(10月6日月曜日5限) 14回 【在宅】療養の場での清潔ケア・入浴介助・物品の工夫(小枝・坂口後任・大久保後任)(10月10日金曜日3限) 15回 【老年】演習:麻痺や嚥下障害のある高齢者の食事介助(笹谷・大久保後任・柴田後任・吉原)(10月10日金曜日4限) 16回 【老年】演習:高齢者の義歯の管理、口腔ケア(笹谷・大久保後任・柴田後任・吉原)(10月10日金曜日5限) 17回 【在宅】排便が困難な療養者への排泄看護技術 演習:浣腸・排便(小枝・坂口後任・吉原)(10月17日金曜日3限) 18回 【在宅】排便が困難な療養者への排泄看護技術 演習:浣腸・排便(小枝・坂口後任・柴田後任)(10月17日金曜日4限) 19回 【老年】自力での体位変換等が困難な高齢者の褥瘡予防・ポジショニング(藤田・柴田後任)(10月20日月曜日3限) 20回 【老年】演習:自力での体位変換等が困難な高齢者の褥瘡予防・ポジショニング(笹谷・大久保後任・柴田後任・吉原・坂口後任)(10月20日月曜日4限) 21回 【老年】高齢者の生活と活動(笹谷・大久保後任・柴田後任・吉原・坂口後任)(10月24日金曜日3限) 22回 【老年】演習:高齢者施設でのアクティビティケアの方法(笹谷・大久保後任・柴田後任・吉原・坂口後任)(10月24日金曜日4限) 23回 【老年】演習:車いす・ストレッチャーへの移動、移送(笹谷・大久保後任・柴田後任・吉原)(10月27日月曜日3限) 24回 【老年】演習:運動機能に障害をもつ高齢者への関節可動域訓練(笹谷・大久保後任・柴田後任・吉原)(10月27日月曜日4限) 25回 【在宅】経口摂取が困難な療養者の食事援助/経鼻経管栄養法・PEG 演習:経鼻経管栄養法(小枝・坂口後任・大久保後任)(10月31日金曜日3限) 26回 【在宅】経口摂取が困難な療養者の食事援助/経鼻経管栄養法・PEG 演習:経鼻経管栄養法(小枝・坂口後任・吉原)(10月31日金曜日4限)				
※演習はF417・419,F202演習室、講義はF210で行う 詳細はオリエンテーションで提示				

科目名	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	笹谷 真由美、藤田 冬子、吉原 文子、小枝 美由紀、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手		
〔 成績評価方法 〕 授業への取組み、課題(50%)、試験(50%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 課題、演習記録は後日添削して返却します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:授業への取組み、課題、小テスト 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:授業への取組み、課題、小テスト 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:授業への取組み、課題、小テスト 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取組み、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取組み、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取組み、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取組み、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取組み、課題、小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取組み、課題 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取組み、課題、小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取組み、課題、小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取組み、課題 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:看護実践のための根拠がわかる 老年看護技術 4版 著者名:泉キヨ子 出版社名:メヂカルフレンド社 ISBN: 書籍名:地域・在宅看護論(2):在宅療養を支える技術 第2版 著者名:臺 有桂 出版社名:メディカ出版 ISBN: 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:《系統看護学講座 専門分野Ⅰ》基礎看護学[2] 基礎看護技術ⅠJ(第16版) 著者名:有田清子他 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-01999-6 書籍名:《系統看護学講座 専門分野Ⅰ》基礎看護学[3] 基礎看護技術ⅡJ(第17版) 著者名:有田清子他 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-02760-1 書籍名:看護技術がみえるvol.1 基礎看護技術 著者名:医療情報科学研究所 出版社名:メディックメディア ISBN:978-4-896-32511-9 書籍名:看護技術がみえるvol.2 臨床看護技術 著者名:医療情報科学研究所 出版社名:メディックメディア ISBN:978-4-896-32459-4			

P11201180 [NNB2-005]

科目名	災害看護		後期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	東 ますみ、内 正子、横内 光子、小路 浩子、峰 博子、高橋 秋絵、奥井 早月、生活援助分野助手、地域在宅分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 災害時要援護者の看護の特徴や災害サイクルに応じた看護について理解できる。 2. 災害への備えや災害と情報について学ぶことで、人々の生命と生活を守る災害看護の基礎的知識と技術が理解できる。 3. 健康危機管理における保健所の役割について理解できる。 [授業概要] 看護師免許を持つ教員が、以下の授業概要が理解できるように講義する。 健康危機発生の未然防止、健康危機発生時に備えた準備、健康危機への対応、健康危機による被害の回復の4つ側面を踏まえた上で、災害の定義と分類、災害時の社会制度を理解し、災害時要援護者である高齢者、障害者、妊娠褥婦、子どもや慢性疾患患者等に対する看護の特徴と、災害サイクルに応じた活動現場別の看護について学ぶ。また、災害被災者や救護者のことと身体の健康に及ぼす影響を理解し、その支援方法について学ぶ。さらに、災害と情報について理解し、情報の利点を減災に活かす重要性について学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習を合わせて2時間程度)。 日頃から、災害や災害医療に関連する報道に関心を持ち、被災者や被災地の医療者、ボランティア活動を行った医療者の声から災害時における医療や看護に求められているものを模索しておいてください。 [授業計画] 1. 災害の定義や分類、災害に関わる各種社会制度を学ぶ。また、防災計画や災害への備えの具体策を知り、災害と情報に関する最近の動向を学ぶ。さらに、災害看護の歴史的変遷や世界の災害と看護について理解する。(東ますみ)(11月12日水曜日)2限 2. 健康危機管理の定義や保健所の役割、健康危機管理の4つの側面について理解する。(小路浩子)(11月19日水曜日)2限 3. 災害フェーズごとの保健医療活動、挫滅症候群や津波肺など災害時特有の疾病と治療の概要、ならびにトリアージなど災害直後の被災者への医療と看護について理解する。(横内光子)(11月26日水曜日)2限 4. 災害時の女性、妊娠褥婦や胎児・乳幼児にみられた反応を学び、ジェンダーの視点と対象者の特性を考慮にいたした看護ケアについて理解する。(峰博子)(12月3日水曜日)3限 5. 心的外傷とストレス反応について学び、被災者と救護者への精神的な看護ケアを理解する。精神障害者に対する援助の要点を学ぶ。(高橋秋絵)(12月10日水曜日)1限 6. 避難所や仮設住宅における高齢者や慢性疾患患者の心身の状態把握や、看護ケアについて理解する。(奥井早月)(12月10日水曜日)2限 7. 成長発達の途上である子どもが被災したことへの理解深め、中・長期的な看護ケアの必要性について学ぶ。(内正子)(12月17日水曜日)2限 8. 試験 (12月24日水曜日)2限				
教室 F301				

科目名	災害看護	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	東 ますみ、内 正子、横内 光子、小路 浩子、峰 博子、高橋 秋絵、奥井 早月、生活援助分野助手、地域在宅分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 理解度確認試験・授業中の小テスト・授業後のレポート等(91%)、授業への取り組み(9%)で評価します。			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認試験は、試験終了後に解答の解説を行います。 小テスト及びレポートは、授業中あるいは後日解説を行います。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:理解度確認試験、レポート、グループワーク等の際の発現内容や取り組み			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:理解度確認試験、レポート、グループワーク等の際の発現内容や取り組み			
学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:理解度確認試験、レポート、グループワーク等の際の発現内容や取り組み			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認試験、レポート、グループワーク等の際の発現内容や取り組み			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認試験、レポート、グループワーク等の際の発現内容や取り組み			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:理解度確認試験、レポート、グループワーク等の際の発現内容や取り組み			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:理解度確認試験、レポート、グループワーク等の際の発現内容や取り組み			
[教科書(ISBN)] 書籍名:災害看護(改訂第4版) 著者名:酒井明子 出版社名:南江堂 ISBN:9784524231652			
[参考書(ISBN)] 書籍名:ナース発 東日本大震災レポート―ルポ・そのとき看護は 著者名:日本看護協会出版会編集部 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818016118			

科目名	在宅看護論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小枝 美由紀、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 在宅看護が必要とされている背景と在宅看護の概念について説明できる。 2. 在宅看護の対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる。 3. 在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について説明できる。 4. 在宅看護における多職種連携や協働、ケアマネジメントについて説明できる。 5. 在宅看護の事例を通して在宅療養者とその家族に対する看護を考えることができる。 [授業概要] 訪問看護の経験を有する教員が、在宅看護の基本的な考え方と援助方法を指導します。在宅看護の倫理や在宅看護が必要とされる社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴、および在宅看護の役割と課題について理解を深めていきます。また、在宅看護の事例を通して、在宅療養者とその家族の意思を尊重した在宅看護の展開について学びます。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 政治や地域の社会的問題、在宅医療の必要な療養者の生活などに関するニュースや新聞記事を、自ら積極的に取り込んで、主体的に学習してください。 各回、予習復習合わせて4時間程度。 [授業計画] 第1回 在宅看護が必要とされる社会的背景 (4月8日火曜日 4限) 第2回 在宅看護の基盤、倫理 (4月10日木曜日 3限) 第3回 在宅看護の対象者 (4月10日木曜日 4限) 第4回 地域包括ケアシステムと地域共生社会(4月15日火曜日 4限) 第5回 訪問看護に関する制度 (4月24日木曜日 3限) 第6回 訪問看護の制度と機能 (5月13日火曜日 4限) 第7回 在宅看護における家族支援 (5月20日火曜日 4限) 第8回 在宅看護過程 (5月27日火曜日 4限) 第9回 療養移行支援(特別外部講師)* 主担当教員も同席 (6月3日火曜日 4限) 第10回 在宅における個別支援の検討①(グループワーク) (6月10日火曜日 4限) 第11回 在宅における個別支援の検討②(グループワーク) (6月10日火曜日 5限) 第12回 在宅における個別支援の検討③(グループワークの発表) (6月17日火曜日 4限) 第13回 在宅における個別支援の検討④(グループワークの発表) (6月17日火曜日 5限) 試験 (7月1日火曜日 4限)				

科目名	在宅看護論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小枝 美由紀、地域在宅分野助手		
[成績評価方法] 授業への取り組み(授業中のワークシート)15% グループワークの取り組み(グループワークのワークシート、発表内容) 15% 試験 70% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験は試験答案回収後、manabaにて解説します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナルリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験、授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験、授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:試験、授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験、授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験、授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験、授業中のワークシート、グループワークのワークシート・発表内容 [教科書(ISBN)] 書籍名:地域・在宅看護論 6版 著者名:河野 あゆみ 出版社名:メヂカルフレンド社 ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	実践看護論		前期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	中岡 亜希子、基礎分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 看護の対象となる人間について、生物体・生活体の統一体として捉えることができる 2. 対象の看護の必要性を認識し、必要な看護を見出すことができる 3. 必要な看護を具体的に計画し、評価することができる 4. 看護の本質について、深く考えることができる [授業概要] これまでの看護理論家が示した看護の目的を考え、看護の対象となる人間を生物体・生活体の統一体として捉え、生命を維持し、生活を整えるために必要となる看護実践を見出す看護過程の思考を学ぶ。その上で、事例をもとに、今後の実践においてどのように看護を展開していく必要があるのかを想定し、具体的に看護計画を立案する力を培う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習と合わせて2時間程度が必要です。 一年次のテキスト「看護学概論」、ナイチンゲール「看護覚え書」、バージニア・ヘンダーソン「看護の基本となるもの」を読み返し、看護の構成概念について復習する。 看護がみえる vol.4 看護過程の展開を活用し、事例の看護展開の際に事前課題に取り組む。 [授業計画] 1. 目的意識をもった看護実践のための看護過程を学ぶ(中岡亜希子)(4月9日水曜日)2限 2. 人間の生命を維持する過程を理解し、24時間の生活を踏まえた看護の対象を理解する(中岡亜希子)(4月16日水曜日)2限 3. 対象の看護の必要性を認識し、看護上の問題を見出す(中岡亜希子)(4月23日水曜日)2限 4. 必要な看護を実践するための看護の方法を考える(中岡亜希子)(5月14日水曜日)2限 5. 事例から看護の展開に取り組む(1)(中岡亜希子)(5月28日水曜日)2限 6. 事例から看護の展開に取り組む(2)(中岡亜希子)(6月11日水曜日)2限 7. 事例から看護の展開に取り組む(3)(中岡亜希子)(6月25日水曜日)2限				

科目名	実践看護論	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中岡 亜希子、基礎分野助手		
[成績評価方法] 事前・事後レポート課題(80%)グループワーク参加度(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaでフィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身につけている。 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身につけている。 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身につけている。 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:事前・事後レポート、グループワーク [教科書(ISBN)] 書籍名:基礎看護学[2] 基礎看護技術I 第18版 著者名:茂野 香おる 出版社名:医学書院 ISBN:9784260042116 [参考書(ISBN)] 書籍名:看護がみえる vol.4 看護過程の展開 著者名:医療情報科学研究所 編集 出版社名:メディックメディア ISBN:9784896328011			

科目名	疾病と治療Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	老年学	講義	
担当者	安田 尚史、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 超高齢社会を迎えたわが国の現状を把握し高齢者に対する医療の重要性を理解する。			
[授業概要] 超高齢社会を迎えたわが国の現状を把握し高齢者に対する医療の重要性を理解することを達成目標として、高齢者および高齢者に特徴的な症候や疾病およびその病態などについて概説することで十分な理解に努める。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習して理解して、次回の授業の予習をしておくこと。教科書の学習とともに、わが国の現状を踏まえた関連分野のニュース等に日頃から関心を持ち、積極的な自己学習を期待する。			
[授業計画] 1. 超高齢社会と高齢者の特徴およびCGA(4/10(木)2限目予定) 2. 各論:循環器疾患(6/12(木)2限目予定) 3. 各論:脳血管障害と呼吸器疾患(6/19(木)2限目予定) 4. 各論:メタボリック症候群(6/26(木)2限目予定) 5. 各論:糖尿病・代謝疾患(7/3(木)2限目予定) 6. 各論:骨・運動器疾患(7/10(木)2限目予定) 7. 各論:消化器疾患(7/17(木)2限目予定) 予備日:6/5(木) 7/24(木)2限目予定 試験日:7/29(火)2限目予定 *6/26(木)は休講の可能性あり。その場合は予備日で対応する。			
指定規則に定める別表の種類とそれぞれの別表に定める教育内容のうち、当該科目で教授する教育内容 別表3:「人体の構造と機能」			

科目名	疾病と治療Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	老年学	講義	
担当者	安田 尚史、教務助手		
[成績評価方法] 成績評価は試験の成績が主(80%)となるが、授業への取り組む姿勢(20%)も考慮して行う。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストなどを実施し、授業内やmanabaにて解答例を提示、解説する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験、授業への取り組み姿勢 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験、授業への取り組み姿勢 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:試験、授業への取り組み姿勢 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、授業への取り組み姿勢 [教科書(ISBN)] 書籍名:老年医学系統講義テキスト 著者名:日本老年医学会 出版社名:西村書店 ISBN:978-4-89013-430-4 [参考書(ISBN)]			

科目名	疾病と治療Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	外科学	講義	
担当者	佐古 辰夫、高橋 玲比古、眞庭 謙昌、田中 優子、吉田 泰久、水野 敏行、教務助手、成人分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 手術や治療というストレスが生体に与える影響、その回復過程を知り、24時間患者と接する看護師としてその知識を生かし看護ケアに生かすことを到達目標とする。			
[授業概要] 疾患に対する手術の治療が対象となる外科的疾患について学ぶ。外科的疾患とは脳神経外科、胸部外科、消化器外科、整形外科など多岐にわたる。外科学ぶことで看護に必要な外科学的知識を修得できることを目的とする。 外科的疾患全般に関わる病態・臨床動態を学び、各種疾患の原因、症状、治療について基礎と実際の臨床現場の実践方法を学ぶ。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「人体のしくみ機能Ⅰ」「人体のしくみと機能Ⅱ」を既習したものとして講義を進めるため、復習をしたうえで臨むこと。			
[授業計画] 1.脳神経外科疾患(1)脳の疾患(吉田泰久)(4月8日火曜日)5限 2. 脳神経外科疾患(2)脊髄の疾患(吉田泰久)(4月15日火曜日)5限 3. 脳神経外科疾患(3)末梢神経の疾患、脳神経疾患の看護(吉田泰久)(4月22日火曜日)5限 4. 外傷・腫瘍総論:手術侵襲と生体の反応、炎症、腫瘍、外傷とショック(佐古辰夫)(5月13日火曜日)1限 5. 消化器疾患(1)食道の疾患、胃・十二指腸の疾患(佐古辰夫)(5月20日火曜日)1限 6. 呼吸器疾患、胸壁疾患:肺構造と働き、気胸およびその治療、肺がんおよびその治療(眞庭謙昌)(5月20日火曜日)5限 7. 消化器疾患(2)腸・腹膜の疾患(佐古辰夫)(5月27日火曜日)1限 8. 消化器疾患(3)肝臓および肝外胆道系の疾患、膵臓の疾患、門脈の疾患、副腎の疾患(佐古辰夫)(6月17日火曜日)1限 9. 心臓疾患、血管疾患(1)心臓の構造と機能(高橋玲比古)(6月17日火曜日)5限 10. 乳腺疾患、内分泌疾患:乳腺の疾患、甲状腺の疾患・副腎の疾患(田中優子)(6月19日木曜日)4限 11. 心臓疾患、血管疾患(2)心臓の構造と機能、先天性心疾患(高橋玲比古)(6月24日火曜日)5限 12. 整形外科疾患(1)骨の構造と病態生理、関節の構造と病態生理(水野敏行)(7月18日金曜日)1限 13. 整形外科疾患(2)運動器疾患への治療と処置(水野敏行)(7月25日金曜日)1限			
試験 7月29日(火)1限			

科目名	疾病と治療Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	外科学	講義	
担当者	佐古 辰夫、高橋 玲比古、眞庭 謙昌、田中 優子、吉田 泰久、水野 敏行、教務助手、成人分野助手		
[成績評価方法] 授業態度10%、試験90% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaにいただいた意見や質問に対して、次の授業やmanabaでフィードバックします。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:授業態度10%、試験90% 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:授業態度10%、試験90% 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:授業態度10%、試験90% [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度10%、試験90% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業態度10%、試験90% [教科書(ISBN)] 書籍名:臨床外科看護総論 第12版 著者名:池上 徹 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049986 書籍名:臨床外科看護各論 第10版 著者名:北川 雄光 出版社名:医学書院 ISBN:9784260049900 書籍名:整形外科疾患ビジュアルブック 第2版 著者名:落合慈之 出版社名:学研プラス ISBN:9784780912388 [参考書(ISBN)]			

科目名	疾病と治療Ⅲ		前期	2 単位
サブタイトル	内科学		講義	
担当者	高橋 玲比古、成人分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	学生ないし教員からの疑問点や課題等をグループワークでディスカッションし、学生が結果を発表する。	実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 正常な心身の状態からの逸脱やその原因を理解し、ケアの実践につなぐために、正確な臨床内科学の知識を身につけることができる。				
[授業概要] 内科の代表的な疾患について、病態、臨床症状、検査所見、治療、ケアの方法について系統的に講義し、罹患している患者の理解、把握につなげる。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 既習の「人体のしくみと機能Ⅰ、Ⅱ」[栄養代謝学]を復習し、各講義範囲の前提となる基礎的知識を整理したうえで受講する。受講後は疑問点があれば自己学習、質問等でその都度解決しておく。予復習は合わせて4時間程度				
[授業計画] 1. 呼吸器疾患 (1) 1) 呼吸器感染症 2) アレルギー・免疫疾患 3) 慢性閉塞性肺疾患 (教科書1 pp.2-48) (4月14日月曜日)2限 2. 呼吸器疾患 (2) 4) 間質性肺疾患 5)気道系疾患 6) 肺腫瘍 7) 肺循環疾患 8) 換気異常 9) 呼吸不全 10) 胸膜疾患 11) 縦隔疾患 (教科書1 pp.49-70) (4月21日月曜日)2限 3. 循環器疾患 (1) 1) 心不全 2) 不整脈(教科書1 pp.72-109) (4月28日月曜日)2 限 4. 循環器疾患 (2) 3) 虚血性心疾患 4) 心筋疾患 5) 高血圧症 6) 動脈疾患 7) 静脈疾患(教科書1 pp.109-150) (5月12日月曜日)2限 5. 消化器疾患 (1) 1) 食道の疾患 2) 胃・十二指腸疾患 3) 腸(小腸、大腸)の疾患 4) 肛門の疾患(教科書1 pp.151-210) (5月19日月曜日)2限 6. 消化器疾患 (2) 1) 肝臓疾患 2) 胆道疾患 3) 膵疾患(教科書1 pp.212-267) (5月26日月曜日)2限 7. 代謝／栄養疾患 1) 糖尿病 2) 脂質異常症 3) 骨粗鬆症(教科書1 pp.272-307) (6月2日月曜日)2限 8. 内分泌疾患 1) 視床下部・下垂体疾患 2) 甲状腺疾患 3) 副甲状腺疾患 4) 副腎疾患(教科書1 pp.310-346) (6月9日月曜日)2限 9. 腎／泌尿器疾患 1) 慢性腎臓病 2) 糸球体腎炎3) 続発性腎疾患 4) 腎泌尿器感染症 5) 泌尿器科疾患 6) 腎不全(教科書1 pp.349-416) (6月16日月曜日)2限 10. 脳／神経系疾患 (1) 1) 脳血管障害 2) 神経変性疾患 (教科書1 pp.417-465) (6月23日月曜日)2限 11. 脳／神経系疾患 (2) 1) 脱髄性疾患 2) 末梢神経疾患 3) 神経・筋接合部疾患 4) 筋疾患 5) 神経系の感染症 6) 機能的疾患 7) 脳腫瘍(教科書1 pp.466-484) (6月30日月曜日)2限 12. 血液疾患 1) 赤血球と白血球の疾患 2) 出血性疾患(教科書1 pp.485-527) (7月7日月曜日)2限 13. 免疫・アレルギー疾患 1) 膠原病 2) 全身性炎症性疾患 3) 膠原病関連疾患 4) アレルギー性疾患 (教科書 1 pp 529-576) (7月14日月曜日)2限 試験 (7月28日 月曜日)2限				

科目名	疾病と治療Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	内科学	講義	
担当者	高橋 玲比古、成人分野助手		
[成績評価方法] 授業参加姿勢(30%)、期末試験(70%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 全体的にはマナバ、個別的にはオフィスアワー等 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 [教科書(ISBN)] 書籍名:看護のための臨床病態学 著者名:浅野 嘉延 出版社名:南山堂 ISBN:9784525505158 [参考書(ISBN)]			

科目名	疾病と治療Ⅳ		前期	1 単位
サブタイトル	精神医学		講義	
担当者	関口 典子、持田 啓、玉岡 文子、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1. 精神医学領域の疾病について基本的知識を習得し、その成り立ちについて理解する。 2. 精神科領域の症候について、理解し説明できる。 3. 精神科領域の検査について、基本的知識を習得する。 4. 精神医学領域の疾病に対する治療について説明できる。 5. 精神科医学領域で用いる薬物の効果、副作用について説明できる。 [授業概要] 精神医学史と精神医療の現状、精神科症候学、診断学・疾病分類、精神科面接法、精神科検査学、精神科治療学、ならびに共同体及び地域のメンタルヘルスに関する基礎的な知識を授業から習得する。代表的な精神疾患については、疫学、病因、症状、鑑別診断、経過、治療、予後を学び、将来の看護臨床に役立つレベルまで知識を深める。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習を2時間程度行うこと。 学生は、教科書・参考書として提示された教本を読み、授業に積極的に参加し授業内容を深く理解できるよう準備する。 [授業計画] 1. 精神医学総論(精神科症候学/診断学) (持田啓)(4月11日金曜日)2限 2. 身体因性障害・薬物関連障害 (持田啓)(4月18日金曜日)2限 3. 気分障害(持田啓) (4月25日金曜日)2限 4. 統合失調症 (玉岡文子)(5月12日月曜日)3限 5. 神経症性障害(人格障害) (玉岡文子)(5月19日月曜日)3限 6. 心理発達障害(青年期メンタルヘルスを含む) (玉岡文子)(5月26日月曜日)3限 7. 精神保健福祉、精神科リハビリテーション (関口典子)(6月3日火曜日)1限 8. 試験 (6月10日火曜日)1限				

科目名	疾病と治療Ⅳ	前期	1 単位
サブタイトル	精神医学	講義	
担当者	関口 典子、持田 啓、玉岡 文子、教務助手		
[成績評価方法] 試験(100%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 学生へのフィードバックは、試験採点后に採点結果の全体的なコメントを示すことによって行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:精神看護学 1 第6版 著者名:吉松 和哉 編集 出版社名:ヌーヴェルヒロカワ ISBN:9784861740640 書籍名:精神看護学 2 第6版 著者名:川野 雅資 編集 出版社名:ヌーヴェルヒロカワ ISBN:9784861740657 書籍名:精神看護学 第3版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 著者名:田中 美恵子 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263710708 [参考書(ISBN)]			

科目名	疾病と治療Ⅴ		後期	1 単位
サブタイトル	産科学・婦人科学・周産期医学		講義	
担当者	山崎 峰夫、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 女性の性機能を司る臓器の器質的障害、各ライフステージ特有の生理機能の障害、あるいは妊娠分娩産褥に伴って生ずるさまざまな病態について概説し、それらに罹患した女性に対する看護実践に必要な知識を得ることを到達目標とする。 [授業概要] 次の内容について概説する。①妊娠・分娩・産褥の各過程における母体の生理機能の変化とそれらに伴う各種病態、②不妊や不育など妊孕能そのものの異常、③妊孕現象と密接に関連する女性生殖機能調節機構の異常や女性生殖器の器質的疾患、④女性のライフステージという概念と身体生理機能の変調との関連。臨床での実事例の画像等を用いて授業を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 講義終了後、教科書の講義内容該当項目に関する復習・予習を4時間程度行い、理解を深めて下さい。講義内容について疑問点があれば、直接またはメールにて積極的に質問してください。 [授業計画] 1. 月経周期、無月経、排卵障害、月経の異常、不妊症、不育症、女性生殖器の炎症性疾患・性感染症 (9月30日火曜日)Ⅰ限 2. 子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮頸癌、子宮体癌、卵管・卵巣の疾患(9月30日火曜日)Ⅱ限 3. 子宮内膜症、多嚢胞性卵巣症候群、卵巣腫瘍、絨毛性疾患(10月7日火曜日)Ⅰ限 4. 中高年女性の疾患、子宮奇形・先天異常、避妊法、産科診断学(10月7日火曜日)Ⅱ限 5. 切迫流産・流産、子宮外妊娠、切迫早産・早産、多胎、合併症妊娠、母子感染(10月14日火曜日)Ⅰ限 6. 前置胎盤、常位胎盤早期剥離、妊娠高血圧症候群、過期産、胎児管理・胎児機能不全(10月21日火曜日)Ⅰ限 7. 分娩の異常、産科手術、産科出血、産褥期の異常(10月21日火曜日)Ⅱ限 8. 試験(11月7日金曜日)Ⅰ限				

科目名	疾病と治療Ⅴ	後期	1 単位
サブタイトル	産科学・婦人科学・周産期医学	講義	
担当者	山崎 峰夫、教務助手		
[成績評価方法] 筆記試験(100%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験問題の返却にてフィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:病気が見えるVol9 婦人科・乳腺外科第4版 著者名: 出版社名:メディックメディア ISBN:978-4-89632-712-0 書籍名:病気が見えるVol10 産科 著者名: 出版社名:メディックメディア ISBN:978-4-89632-713-7 [参考書(ISBN)]			

科目名	疾病と治療Ⅵ		後期	1 単位
サブタイトル	小児学		講義	
担当者	二星 あゆみ、二星 淳吾、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 小児の身体的特徴をふまえ、小児期に起こりやすい疾患についての原因や症状を理解することができる。				
2. 小児期に起こりやすい疾患についての検査や治療の基本的な知識を理解することができる。				
[授業概要]				
小児に起こりやすい疾患として、感染症を含む呼吸器疾患、消化器疾患、循環器疾患、血液腫瘍疾患、腎疾患、代謝内分泌疾患、脳神経疾患、などの主な疾患について講義を行う。それぞれの疾患のメカニズムと子どもに現れる症状を理解する。治療や検査を学ぶことで、看護に活かすことをねらいとする。				
日頃、子どもの診察、治療を行っている立場から、最新の情報を講義する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
学生は、講義の前に、教科書の該当部分を予習しておくことが望ましい。講義では、一生懸命にノートを取り、講義の後の復習を行なうことが大事である。基本的知識として、人体のしくみと機能が必要なため、既存の知識と関連して学修することが重要である。各回、予習復習あわせて4時間程度。				
[授業計画]				
1.感染症および呼吸器疾患(9月30日火曜日) 3限 担当:二星あゆみ ウイルス感染症、気管支喘息、肺炎など				
2.消化器、腹部の疾患(10月7日火曜日) 3限 担当:二星あゆみ 食道閉鎖症、胆道閉鎖症、鼠径ヘルニア、鎖肛、胃腸炎など				
3.脳神経疾患(10月14日火曜日) 2限 担当:二星あゆみ 熱性けいれん、てんかん、脳性麻痺など				
4.腎疾患(10月14日火曜日) 3限 担当:二星あゆみ ネフローゼ症候群、糸球体腎炎など				
5.代謝・免疫疾患(10月28日火曜日) 1限 担当:二星あゆみ 先天代謝異常症、糖尿病、低身長、アレルギー疾患など				
6.血液、腫瘍疾患(10月28日火曜日) 2限 担当:二星あゆみ 白血病、神経芽腫、脳腫瘍など				
7.循環器疾患(10月28日火曜日) 5限 担当:二星淳吾 先天性心疾患(ASD、VSD、動脈管開存症、ファロー 四徴症)、川崎病など				
8.試験(12月15日月曜日) 3限				

科目名	疾病と治療Ⅵ	後期	1 単位
サブタイトル	小児学	講義	
担当者	二星 あゆみ、二星 淳吾、教務助手		
[成績評価方法] 試験100%で評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で適宜対応する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:ナースの小児科学(改訂6版) 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	社会福祉・社会活動論		前期	1 単位
サブタイトル	医療と福祉の連携の大切さを理解する。		講義	
担当者	阿江 善春、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] さまざまな生活問題に取り組める保健・医療・福祉専門職をめざす				
[授業概要] 看護師として必要な社会福祉に関する基本的な制度と現状についての理解を深めます。少子高齢社会のなかで貧困や介護保障が困難になる高齢者が増え続けている。また、児童においても虐待や貧困格差、障害者の生活保障など、あらゆる世代にわたる生活問題が深刻化し、医療や福祉の在り方が問われている。看護師として地域における保健・医療・福祉計画等にもとづく包括的なケアシステムに関わった内容について提示する。これらのサービスを必要としている人々の生活問題について、事例の検討を通して、問題の把握の仕方と問題点の整理、問題解決・改善を図るための支援方法と社会福祉や教育、行政の専門職の役割、対象者に関わる機関や専門職の連携のあり方などについて学び、政策的課題を考える。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] マスコミ報道等で福祉・医療に関心を持っておいてください。 各回、予習復習合わせて1時間程度はノート、資料を参考にしてください。				
[授業計画] 1、WHOの健康定義から。からだ、こころ、くらしの健康(6/13(金),3限) 2、対人援助の基本。きく、たずねる、つたえる。(6/16(月),4限) 3、医学・医療と社会保障・暮らし。(6/20(金),3限) 4、医療と高齢者福祉。(6/23(月),4限) 5、医療と障がい福祉。(6/27(金),3限) 6、医療と児童・家庭福祉。(6/30(月),4限) 7、終末期医療とケア。(7/4(金),3限) 8、まとめ。今一度WHOの健康定義を考える。最終試験(7/7(月),4限)				
* 指定規則に定める別表の種類とそれぞれの別表に定める教育内容のうち、当該科目で教授する教育内容 別表1:「保健医療行政論」 別表2:「地域母子保健」 別表3:「健康支援と社会保障制度」				

科目名	社会福祉・社会活動論	前期	1 単位
サブタイトル	医療と福祉の連携の大切さを理解する。	講義	
担当者	阿江 善春、教務助手		
[成績評価方法] 毎回の授業レポート(30%)、最終試験(70%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の授業終了時にレポート提出を求めます。また最終授業時に試験を行いません。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: 毎回の授業レポート(30%)、最終試験(70%) 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法: 毎回の授業レポート(30%)、最終試験(70%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 毎回の授業レポート(30%)、最終試験(70%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 毎回の授業レポート(30%)、最終試験(70%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 毎回の授業レポート(30%)、最終試験(70%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 毎回の授業レポート(30%)、最終試験(70%) [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	社会福祉・社会保障論		後期	1 単位
サブタイトル	いのちと暮らしのセーフティネット		講義	
担当者	清水 弥生、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 社会福祉・社会保障の諸制度の概要を理解し、実生活と関連づけることができる。				
[授業概要] 少子高齢社会のなかで、寝たきりや認知症などで生きていくことが困難になる高齢者が増え続けている。そして、児童虐待やDV、若者の雇用不安など、あらゆる世代にわたる問題が深刻化し、医療や福祉のあり方を見直さなければならなくなった。保健・医療・福祉計画等にもとづく包括的なケアシステムが行われており、このシステムの役割・意義を理解し、社会福祉・社会保障の諸制度の現状や課題を考える。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回講義を復習してアンケートまたは小テストの記入をしてください。社会福祉・社会保障に関する新聞記事や報道、ホームページ等を見て、授業と結びつけて考えておいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度。				
[授業計画] 1. 社会福祉・社会保障の諸制度:社会福祉・社会保障制度の概要、保健・医療・福祉計画等を学ぶことを通して、住民のいのちと暮らしを守る意義や現状を理解する。【9月29日(月)2限】 2. 生活保護:健康で文化的な最低限度の生活を営む権利について考える。【10月6日(月)2限】 3. 年金制度:生活上の事故に対する所得保障としての年金制度について理解し、高齢や障害、遺族となった時でも安心した生活を送れるための課題を考える。【10月13日(月)2限】 4. 医療保険制度①国民の生活問題が健康に及ぼす影響を考え、医療保険制度を活用して必要な治療が受けられるようにするための課題を考える。【10月20日(月)2限】 5. 医療保険制度②【10月27日(月)2限】 6. 介護保険①介護を必要とする高齢者が増加しているが、介護保険制度の理解を通してどのように介護や高齢者医療を支えるべきかを考える。【11月10日(月)2限】 7. 介護保険②【11月17日(月)2限】 8. 試験【11月24日(月)2限】				

科目名	社会福祉・社会保障論	後期	1 単位
サブタイトル	いのちと暮らしのセーフティネット	講義	
担当者	清水 弥生、教務助手		

[成績評価方法]

授業後の振り返り用紙の提出 (manabaのアンケートまたは小テスト) (20%)、試験 (80%)

[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法]

試験終了後解説を行う。

[オフィスアワー (質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]

学科DP番号／DP内容: 看護1-3 / (人が病むことへの関心と理解)

生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。

成績評価方法: 授業後の振り返り用紙の提出、試験

学科DP番号／DP内容: 看護3-1 / (社会参加)

社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。

成績評価方法: 授業後の振り返り用紙の提出、試験

学科DP番号／DP内容: 看護3-2 / (協働・協力)

保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。

成績評価方法: 授業後の振り返り用紙の提出、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 多様性理解 / 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業後の振り返り用紙の提出、試験

教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 問題発見力 / 現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 授業後の振り返り用紙の提出、試験

[教科書 (ISBN)]

書籍名: はじめての社会保障 [第21版] 著者名: 椋野 美智子 出版社名: 有斐閣 ISBN: 9784641222342

[参考書 (ISBN)]

科目名	小児看護論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	内 正子、小児分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

〔到達目標〕

1. 成長・発達の原理を理解することができる。
2. 小児期における各発達段階の特徴と健康増進・疾病予防への支援を理解することができる。
3. 子どもの入院が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、援助を考えることができる。
4. 子どもに起こりやすい症状とその看護を理解することができる。

〔授業概要〕

人が成長する、発達するということはどういうことか、その原理について学ぶ。子どもとはどのような存在か。社会における子どもの権利について学ぶ。小児期における各発達段階(乳児期、幼児期、学童期、思春期)の身体的、社会的、認知的特徴を理解し、その育ちに影響する環境について学習する。そして、子どもが健康に生活するための支援について学ぶ。

昨今の子どもを取り巻く社会、子どもが育つ段階での教育、医療と福祉との関係などについて学習する。

子どもに起こりやすい症状とその看護、子どもにとっての入院の意味を学習する。

少子化である今日、子どもと関わる機会が少ない。そのため、講義では視聴覚教材を多く用い、子どもの行動や子どもとのコミュニケーションについて学ぶことができるようにする。

小児看護の経験がある教員が、その経験を活かして具体例を用いながら教授を行う。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

授業内容について教科書の該当する項目は、授業前に読んでおくこと。

日頃から、子どもに関するニュース、新聞報道等に関心をもっておくこと。

各回の授業についての予習復習は2時間程度。

〔授業計画〕

- 1.小児看護が対象とする子どもの存在について概観し、小児看護の歴史、子どもの権利について理解する。(9月24日水曜日 1限)
- 2.成長と発達の定義を学び、それらに影響する要因を理解する。(9月24日水曜日 2限)
- 3.小児看護に関連する理論(発達、セルフケアなど)について理解する。(10月1日水曜日 1限)
- 4.乳児期の子どもの特徴(愛着、母子関係など)と生活援助について学び、個々の対象者に沿った保健指導ができるよう、健康課題への支援を計画・立案することを理解する。(10月1日水曜日 2限)
- 5.幼児期の子どもの特徴(基本的生活習慣・言語・社会性の獲得、遊びなど)と生活援助(予防接種や健診のシステムを含む)を理解する。(10月8日水曜日 1限)
- 6.学童期の子どもの特徴と健康課題を理解し、健康の維持・増進、疾病予防についての援助を理解する。(10月8日水曜日 2限)
- 7.思春期の子どもの特徴と健康課題を理解し、成人期に移行する援助を理解する。(10月8日水曜日 5限)
- 8.各発達段階にある子どもとのコミュニケーションの特徴と援助関係を築く方法について検討する。小児に関連する社会統計を学び、小児保健、母子保健を理解する。子どもを取り巻く社会について学ぶ。(10月15日水曜日 1限)
- 9.子どもの成長発達に適した生活環境(家族を含む)、地域における子育て支援(母性・父性の育成を含む)を学び、今後の課題を検討する。子どもを取り巻く医療・福祉・教育の在り方を学ぶ。他職種との連携・調整を通して、看護の役割を理解する。(10月15日水曜日 2限)
- 10.子どもの入院が子どもに及ぼす影響について学び、必要となる援助の視点を理解する。(10月22日水曜日 1限)
- 11.子どもの入院が家族(同胞を含む)に及ぼす影響について学び、必要となる援助の視点を理解する。(10月22日水曜日 2限)
- 12.子どもに起こりやすい症状(発熱、脱水、下痢、嘔吐)とその看護について理解する。(10月29日水曜日 1限)F305`308使用
- 13.子どもに起こりやすい症状(咳嗽、呼吸困難、けいれん)とその看護について理解する。(10月29日水曜日 2限)F305`308使用
- 14.試験(12月15日月曜日 4限)

* 12、13回以外はF210を使用

科目名	小児看護論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	内 正子、小児分野助手		
〔 成績評価方法 〕 試験(80%)、課題レポート(20%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 KISSシステムを活用してフィードバックする。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験 課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:試験 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:小児看護学Ⅱ 小児看護支援論(改訂第4版) 著者名:今野美紀 出版社名:南江堂 ISBN:9784524227570 書籍名:小児看護学Ⅰ 小児看護学概論・小児看護技術(改訂第4版) 著者名:二宮啓子 出版社名:南江堂 ISBN:9784524227563 〔 参考書(ISBN) 〕			

P11201530 [NNB2-019]

科目名	小児療養看護論	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	菅野 由美子、小児分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

1. 小児期の特徴的な疾患と疾患から生じる症状、疾患をもつ子どもと家族の特徴を理解することができる。
2. 検査・処置を受ける子どもが主体的に取り組める援助について理解し、考察することができる。
3. さまざまな疾患や障がいをもつ子どもと家族の抱える問題を理解し、必要な看護について考察することができる。
4. さまざまな疾患や障がいをもつ子どもと家族がコミュニティで生活する上で、長期的に必要な看護について理解することができる。
5. 疾患や障害を持つしながら成長発達する子どもと家族に必要な援助について、自立的に考える力を身につける事ができる。

[授業概要]

小児専門病院での実務経験のある教員が、様々な疾患や障害を抱える子どもと家族への看護、処置や手術における子どもと家族への援助、疾患や障害を抱え社会で成長発達しながら生活する子どもと家族の地域における看護について、教授する。学生皆さんは、本授業を通して、さまざまな疾患や障害を持って生活する子どもを理解し、子どもと家族への看護援助を学ぶ。健康逸脱することにより、こどもは診療を受けたり、検査や処置、治療を受けたりすることになる。それぞれの子どもにとっての体験の意味を理解し、子どもが主体的に取り組むことができるような援助方法を学ぶ。また、子どもに多く見られる急性期の状況の理解とともに、それに対する援助、慢性期疾患を持つ子どもと家族に対するセルフケア獲得に向けての援助方法を学ぶ。さらに、医療施設内での看護のみならず、コミュニティで療養生活を過ごす子どもと家族への看護を学習する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1. 事前課題に取り組む、提示された教科書の該当ページを熟読しておく(取り組んだ事前課題をもとに授業を展開します)。1時間程度
2. 事前課題に記載された教員のコメントを確認し、事例について振り返る。毎回の授業で学んだことを復習し、授業で扱わなかった発達段階ではどのような援助が必要か、各自で考え復習をしておく。1時間程度

[授業計画]

第1回 4月11日(金)4限 入院における子どもと家族の援助
 第2回 4月18日(金)4限 検査や処置を受ける子どもと家族への援助(プレパレーション)
 第3回 4月25日(金)4限 急性期にある乳児期の子どもと家族への援助(感染性疾患)
 第4回 5月 8日(木)3限 手術を受ける幼児期の子どもと家族への援助(先天性心疾患)
 第5回 5月15日(木)3限 慢性疾患をもつ学童期にある子どもと家族への援助(アレルギー疾患)
 第6回 5月22日(木)3限 慢性疾患をもつ学童期にある子どもと家族への援助(小児がん)
 第7回 5月29日(木)3限 先天性疾患(障害)をもつ子どもと家族への援助
 試験 6月 13日(金)4限(30分)
 再試験 6月 20日(金)4限(60分)

科目名	小児療養看護論	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	菅野 由美子、小児分野助手		
[成績評価方法] 本試験(80%)、事前課題(20%) ・事前課題(6回分)は毎回の授業後に、授業内容や授業中の話し合いを基に、事前課題に追記修正を加えたものを提出する。 期限外の提出は減点し、提出された課題は内容を確認し採点する [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 1. 毎回の授業で提出された事前課題は、個別にコメントし、翌週授業で返却する 2. 事前課題の内容は、授業内で解説し、回答例を示す 3. 試験については、採点終了後に不正解の多い問題など解説が必要だと判断した問題については、manaba上に解説を掲示する。 その他、試験に関しては個別質問に応じる。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナルリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:事前課題レポートと試験 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:事前課題レポートと試験 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:事前課題レポートと試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:事前課題レポートと試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:事前課題レポートと試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:事前課題レポートと試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:事前課題レポートと試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:事前課題レポートと試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:事前課題レポートと試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:小児看護学I 小児看護学概論・小児看護技術(改訂第4版) 著者名:二宮啓子 出版社名:南江堂 ISBN:9784524227563 書籍名:小児看護学II 小児看護支援論(改訂第4版) 著者名:今野美紀 出版社名:南江堂 ISBN:9784524227570 [参考書(ISBN)]			

P11201540 [NNB3-020]

科目名	食品学総論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大串 美沙、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] ①食品に関する正確な知識を身に付ける。 ②食品を科学的視点から理解する。 [授業概要] 人間を生物学的に理解する中で、食べ物と健康の関係は重要な要素です。そこで、本講では食品を構成する成分の特性や食品成分の変化、食品の物性、機能性などについて総合的に解説します。 遅刻、欠席が多いと授業についていけなくなりますので注意してください。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前に教科書を読んでおき、授業後は教科書や配布資料等を活用し、講義内容の復習確認をしておくとう理解度が上昇しやすくなります(各回、予習・復習 4時間程度)。 [授業計画] 1. 人間と食品 9月29日(月)4限 2. 炭水化物 10月6日(月)4限 3. 脂質 10月13日(月)4限 4. たんぱく質 10月20日(月)4限 5. 微量栄養素(ビタミン、ミネラル) 10月27日(月)4限 6. 微量栄養素(ビタミン、ミネラル) 11月10日(月)4限 7. 嗜好成分・有害物質①(水分、色素、呈味、香気、有害成分など) 11月17日(月)4限 8. 嗜好成分・有害物質②(水分、色素、呈味、香気、有害成分など) 11月24日(月)4限 9. 嗜好成分・有害物質③(水分、色素、呈味、香気、有害成分など) 12月1日(月)3限 10. 食品成分の変化① 12月8日(月)3限 11. 食品成分の変化②、食品の物性 12月15日(月)3限 12. 食品表示と機能性① 12月22日(月)3限 13. 食品表示と機能性②、まとめ 1月5日(月)3限 14. 理解度確認テスト 1月19日(月)3限 順序は変更する場合があります。 また、不定期に小テストを実施します			

科目名	食品学総論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大串 美沙、教務助手		
[成績評価方法] 理解度確認テスト(80%)、不定期に行う小テスト(20%)で評価します。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ①理解度確認テストは、学内ICTシステムを用いて、後日解説を掲示します。 ②小テストは、学内ICTシステムで実施し、解説を掲示します。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による [教科書(ISBN)] 書籍名:食品学Ⅰ 著者名:吉川豊・木村万里子 出版社名:学文社 ISBN:9784762033414 [参考書(ISBN)] 書籍名:基礎栄養学 第5版 著者名:田地 陽一 出版社名:羊土社 ISBN:9784758113779			

科目名	助産学概論		前期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	服部 律子、玉木 敦子、小西 真千子、峰 博子、母性分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 助産学の基礎となる概念、理論、トピックスについて述べるができる。 2. 国内外の状況を広く視野に入れながら、助産師として女性の健康と人権や倫理的課題について話し合うことができる。 3. 助産師として、女性と新しく生まれてくるいのち、およびその家族を中心としたケアを考察することができる。				
[授業概要]				
助産とは何か、助産師の役割や対象となる人々、助産ケアを提供する際に拠り所となる理論や考え方について学び、理解を深める。また、重要なトピックスとして、リプロダクティブ・ヘルス/ライツや生命倫理上の課題、国内外の子育て支援と母子保健医療施策の動向と課題、周産期のメンタルヘルス等について学び、自らの考えを他者とコミュニケーションしながら深めてゆく。くわえて、女性と新しく生まれてくるいのち、およびその家族を中心としたケアについて、助産師の実践活動から、生む力を支える助産師のケアとは何かについて話し合い、検討する。これらを通して、助産師としての視座を養い、多様な角度から課題を客観的・批判的に考察し、助産実践の基礎を養う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
疾病と治療Ⅴ(周産期学)、母性看護論、社会福祉・社会保障論、小児看護論、女性の健康増進と看護の理解が基盤になるため、十分に復習すること。各回、予習・復習合わせて4時間程度の自己学習を行うこと。				
[授業計画]				
1. 助産師とは:助産師の定義、助産師の業務、助産師の教育、助産師と研究、出産と助産に関する歴史的変遷(4/8・火Ⅱ限 服部) 2. 助産師が行うケアの理念:女性の意思決定への支援、助産実践の倫理:生殖医療と倫理的課題(4/15・火Ⅱ限 服部) 3. 助産師の仕事:地域で活躍する助産師から学ぶ(4/22 火Ⅱ限 学外特別講師:永原郁子) 4. 不妊症治療と看護:不妊症の治療の実際 不妊女性への支援 不妊治療後の妊婦への支援 不妊治療と倫理的課題(5/13・火Ⅱ限 小西) 5. 周産期のメンタルヘルス : 周産期の女性と家族のメンタルヘルスの課題と支援(5/20 火Ⅱ限 玉木) 6. 外国人の母子保健:在日外国人の母子と家族が抱える課題とそれへの助産ケア(5/27・火Ⅱ限:峰) 7. 子育て支援を中心とした母子保健医療福祉施策の現状と課題:日本と諸外国の母子保健の動向と課題を学ぶ。国・地域・民間における母子を支える制度や社会資源について学び、助産師の役割を考察する。(6/3・火Ⅱ限 服部) 8. まとめ(試験と解説)(6/10・Ⅱ限 服部)				

科目名	助産学概論	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	服部 律子、玉木 敦子、小西 真千子、峰 博子、母性分野助手		
[成績評価方法] 試験(60%) 課題レポート(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題レポートと試験結果は、授業やmanabaにてフィードバックを行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	助産学実習	前期	8 単位
サブタイトル		実習	
担当者	服部 律子、牛越 幸子、小西 真千子、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 妊産婦と胎児・新生児の心身の経過を判断し、ニーズや健康課題・問題をアセスメントし、必要な援助を計画・実践・評価する能力を養う。安全・安楽・満足を配慮した分娩期の援助技術を習得する。異常経過の予測と判断および適切な対応に関する能力を養う。対象者がより正常な経過をたどれるよう、対象者のセルフケア能力を高め、必要な保健指導が行える能力を養成する。 [授業概要] 妊産婦と胎児・新生児の心身の経過を判断し、ニーズや健康課題・問題をアセスメントし、必要な援助を計画・実践・評価する能力を養う。特に、10例程度の産婦への直接分娩介助を含む分娩期の援助を通して、正常分娩を中心とした助産援助を安全・安楽・満足を考慮して実践するために必要な基礎的能力(知識・技術・態度)を習得し、発展させる。母子および家族の妊娠期から子育て期まで受け持ち、継続看護を展開する。正常な経過に加えて、異常の予測と判断ができ、適切な対応や援助ができる能力を習得する。 保健指導見学や受け持ち妊産婦への関わりを通して、妊産婦・新生児へ必要な保健指導を実践できる能力を養う。これらを通して、対象のセルフケア能力に働きかけ、経過をより正常へと導くための援助能力を養成する。また、チーム医療、多職種との連携を理解し、助産師としての責務についても学びを深め、助産師の役割について考察を深める。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 疾病と治療Ⅴ、母性看護学、助産学に関する科目を復習し、十分理解して実習に臨むこと。健康自己管理を十分に行うこと。 [授業計画] 実習期間中に下記を実施する。 ・正常分娩の直接分娩介助、間接介助および出生直後の新生児ケアの実施 ・直接分娩介助を行った母子の産褥期・新生児期のケアおよび保健指導 ・妊娠期から出産後を通して継続的に母子を受け持ち、助産過程を展開する。 ・実習施設の病棟および外来で提供されている妊婦の健康診査、1か月健診、保健指導、子育て支援活動の見学			

科目名	助産学実習	前期	8 単位
サブタイトル		実習	
担当者	服部 律子、牛越 幸子、小西 真千子、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手		
[成績評価方法] 実習への取り組み(20%)、実習目標の達成度(80%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 振り返りを行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

P11201710 [NB4-009]

科目名	助産管理		前期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	服部 律子、峰 博子、母性分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 助産業務及び運営に関する法的制度を理解し、周産期における医療の質と安全を考慮した業務の運営、調整及び評価ができるための基本的知識を習得し、管理的視点を養う。				
[授業概要] 助産業務及び運営に関する法的制度を理解し、業務の運営、効果的な助産業務遂行のための管理の原則と方法、調整及び評価ができる能力を養う。加えて、産科領域における医療事故の特徴を理解し、助産に関わる安全確保と医療事故への対応、危機管理について学ぶ。 助産師外来や院内助産所における助産業務管理、病院及び助産所の運営と管理の相違、助産業務の評価を学び、現状と課題を学ぶことを通して、助産業務に関する管理的視点を養う。 助産師の実務経験のある教員が助産管理の授業を担当する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・授業準備としては、教科書の該当ページを読み学習する。(2時間程度) ・復習として、各授業で配布した資料を読み、授業内容を整理・確認する。(2時間程度) 授業の予習を行い、疑問点を明確にした上で授業に参加すること				
[授業計画] 1. 助産管理の基本概念:管理とマネジメントの定義、概念(質、顧客・要求、製品・サービス、マネジメントサイクルなど)、助産管理の定義、組織化(業務基準、質評価)医療保険制度と助産業務、助産業務の診療報酬、分娩費用(服部 4/14・月 3限) 2. 日本における周産期医療システム:出産の「安全性」と「快適性」に関する医療改革の歴史、医療の質とその評価、周産期医療の現状と課題、周産期医療連携、周産期医療機関の機能と役割、周産期医療対策整備事業、オープンシステム (服部 4/14・月 4限) 3. 地域における助産サービス管理:地域における助産サービスの目的と特徴、関連する母子保健行政、地域での助産サービスの実際 (4/21・月 3限)(学外特別講師:住岡まどか先生) 4. 助産と関連法規:医療法、保健師助産師看護師法、医師法、母子保健法、母体保護法、薬事法、児童福祉法、地域福祉法、戸籍法、刑法、民法、労働法、助産と法的責任:応召、証明書の交付、助産録の記載、届出、守秘義務(服部 4/21・月 4限) 5. 周産期におけるリスクマネジメント:医療事故と医療過誤、医療法による安全管理体制、医療安全のための情報公開とインフォームドコンセント、リスクマネジメント(病院、助産所、職能団体)、感染におけるマネジメント、災害におけるマネジメント(峰 4/28・月 3限) 6. 病院・診療所における助産サービス管理:病産院における助産サービスの現状と課題(混合病棟における現状と課題)、周産期医療システム、母体搬送に伴う他職種との連携、院内助産・助産外来の運営と実際(峰 4/28・月 4限) 7. 助産所における助産業務管理:助産師の開業、開業の多様な機能と役割、助産所における妊産婦管理の実際、助産所の経営とスタッフ管理、サービス管理、構造と設備、監督(服部 5/9・金1限) 8. 試験とまとめ(5/12・月 3限)				

科目名	助産管理	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	服部 律子、峰 博子、母性分野助手		
[成績評価方法] レポート(100%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題と試験結果は授業もしくはmanabaにてフィードバックを行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:レポート(100%) 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:レポート(100%) 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:レポート(100%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート(100%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート(100%) [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	助産診断技術論Ⅰ		前期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	服部 律子、山崎 峰夫、芳本 誠司、母性分野助手、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1.助産診断とケアに必要な性機能・生殖機能の生理と異常について理解する。 2.周産期、新生児・乳児期の正常からの逸脱時の助産診断とケアに必要な知識を習得する。 3.性科学と性の多様性を理解する。 [授業概要] 助産実践の基礎的・科学的基盤となる知識を体系的に概説する。①性機能、生殖機能の生理と異常、②周産期の正常な経過からの逸脱や産科合併症と治療、③新生児・乳児期の生理と正常な経過からの逸脱と治療、④性科学と性の多様性 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 疾病と治療Ⅴ、疾病と治療Ⅵ、母性看護論、女性の健康増進と看護について復習し、理解しておくこと。特に人体のしくみと機能Ⅰ・Ⅱ(性周期、内分泌)に関する知識の復習を十分に行うこと。 各講義について予習復習を含めて2時間 [授業計画] 1.女性性器の解剖・生理について、Ⅸ産実践に必要な骨・筋肉・神経系、および、生殖生理に関する内分泌、母子の免疫学(山崎 峰夫)(4/15 火Ⅴ) 2.妊娠期の異常(山崎 峰夫)(4/22 火Ⅳ) 3.分娩期・産褥期の異常(山崎 峰夫)(4/22 火Ⅴ) 4.不妊・不育症、生殖医療、周産期の薬物療法(山崎 峰夫)(4/24 木Ⅳ) 5.新生児の異常(芳本 誠司)(5/15 木Ⅱ) 6.乳児期の異常(芳本 誠司)(5/22 木Ⅱ) 7.性科学と性の多様性(服部)(6/10 火Ⅲ) 8.試験とまとめ(6/17 火Ⅱ)				

科目名	助産診断技術論 I	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	服部 律子、山崎 峰夫、芳本 誠司、母性分野助手、教務助手		
[成績評価方法] 試験(60%) 課題レポート(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業後のレポートへの返答 試験後の解説 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験80% 授業レポート 20% 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験80% 授業レポート 20% [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	助産診断技術論Ⅱ		後期	1 単位
サブタイトル	助産診断の理解		講義	
担当者	牛越 幸子、母性分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 妊婦、産婦、褥婦、新生児とその家族の健康状態および正常性を診断するための知識を習得する。助産診断を記述するために必要な根拠や理論に関する知識を習得し助産過程を理解する。				
[授業概要] マタニティサイクルにある妊婦、産婦、褥婦および新生児とその家族の健康状態や正常経過を判断する根拠や理論について学ぶ。特に本科目では妊娠期からの継続した助産診断プロセスを理解するための講義や学生によるプレゼンテーションを行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 母性看護論、疾病と治療Ⅴ、助産診断技術論Ⅰの講義内容を復習して授業に参加する。各回、予習復習を合わせて4時間程度の学習を行うこと。				
[授業計画] 1. 助産診断と助産実践の過程、妊娠の確定診断、妊娠期の診断プロセスと必要な情報 (1月7日/水)3限 2. 妊娠経過に伴う助産診断と検査、妊婦とその家族の心理社会的変化(1月7日/水)4限 3. 親準備・出産準備に向けた保健指導、妊娠期の経過診断と健康生活診断に基づく助産計画 (1月9日/金)1限 4. 妊娠初期の経過診断と健康生活診断に基づく助産計画(1月9日/金)2限 5. 妊娠中期の経過診断と健康生活診断に基づく助産計画(1月13日/火)3限 6. 妊娠期における助産計画に応じた助産ケア(個別の保健指導)(1月13日/火)4限 7. 妊娠後期の経過診断と健康生活診断に基づく助産計画 まとめ(1月15日/木)1限				

科目名	助産診断技術論Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	助産診断の理解	講義	
担当者	牛越 幸子、母性分野助手		
[成績評価方法] 課題レポート(80%)授業への取り組み(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:課題レポート、授業への取り組み 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:課題レポート、授業への取り組み [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題レポート [教科書(ISBN)] 書籍名:助産師基礎教育テキスト 2024年版 第4巻 妊娠期の診断とケア 著者名:森恵美 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818026148 [参考書(ISBN)] 書籍名:【第6版】マタニティ診断ガイドブック 著者名:日本助産診断実践学会／編集 齋藤益子／〔ほか〕執筆 出版社名:医学書院 ISBN:9784260043298 書籍名:今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改訂第4版 著者名:北川 真理子 編集 出版社名:南江堂 ISBN:9784524246250			

科目名	助産診断技術論Ⅲ		後期	2 単位
サブタイトル	助産過程と基礎知識		講義	
担当者	峰 博子、小西 真千子、母性分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 妊婦、産婦、褥婦、新生児とその家族の健康状態および正常性とその逸脱のリスクをアセスメントする知識を習得する。助産診断を記述するために必要な根拠や理論に関する知識を習得し、助産過程を理解する。さらに、助産診断に基づいた助産計画を作成し、助産ケアを行うための基礎的な知識が習得できる。また、分娩介助に関する、準備や技術について根拠となる知識や方法が習得できる。 [授業概要] 妊婦、産婦、褥婦、新生児とその家族の健康状態および正常経過を判断する根拠や理論について学ぶ。妊娠期から産褥期まで継続した助産診断プロセスを理解するための講義や学生によるプレゼンテーションを行う。マタニティサイクルにある産婦、褥婦および新生児とその家族の健康状態や正常経過のアセスメント、正常から逸脱するリスクをアセスメントし予防的ケアを習得する。分娩・産褥・新生児期における助産ケアを行うために臨床で遭遇するような事例を用いて必要な知識が習得できるように講義を中心とした授業を行う。 特に、分娩期では分娩進行に伴う助産ケアや出産直後のケアについて学び、産褥期では母児の健康状態に対する助産ケアと育児技術支援やセルフケア能力を高める助産ケアについて学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 周産期に関係する科目となる、女性の健康増進と看護、母性看護論、家族看護論、疾病と治療Ⅴ、小児看護論、助産診断技術論Ⅰ・Ⅱの講義内容を復習して授業に参加する。各回、予習復習を合わせて4時間程度の学習を行うこと。 [授業計画] 1.分娩期の健康生活診断と経過診断に必要な情報とアセスメント① 分娩の進行状態と産婦・胎児の健康状態の診断①(娩出力、産道・児の下降の視点を中心とした時期診断、経過診断(分娩予測を含む))(1月15日/木)2限(峰) 2. 分娩期の健康生活診断と経過診断に必要な情報とアセスメント② 分娩の進行状態と産婦・胎児の健康状態の診断②(母体と胎児の健康状態、胎児付属物、心理・社会文化の視点を中心とした時期診断、経過診断(分娩予測を含む))(1月19日/月)3限(峰) 3.入院時の診断・アセスメント。分娩期に必要な情報の整理(時期診断、経過診断(分娩予測を含む)、促進・遅延因子)(1月19日/月)4限(峰) 4.助産過程の展開について。分娩第1期の診断・アセスメントとケア(助産計画と助産ケア)(1月20日/火)1限(峰) 5. 分娩第2期の診断・アセスメントとケア(助産計画と助産ケア)(1月20日/火)2限(峰) 6. 分娩第3・4期の診断・アセスメントとケア(助産計画と助産ケア)(1月21日/水)3限(峰) 7. 新生児の胎外生活への適応と診断。出生直後の児のケア、早期母子接触、愛着を促す支援。(1月21日/水)4限(峰) 8.分娩介助に伴う技術の習得(内診他)。分娩の準備、セットの展開(1月23日/金)1限(峰) 9.分娩介助技術(1月23日/金)2限(峰) 10.産褥期の健康生活診断と経過診断に必要な情報とアセスメント(1月28日/水)3限(小西) 11.入院中の母子に対する助産計画と助産ケア(パースレビューの意義とセルフケア能力を高める支援)(1月28日/水)4限(小西) 12.育児に必要な基本的知識を提供する支援(1月29日/木)1限(小西) 13.1か月健診までの母子に対するアセスメントと助産ケア(1月29日/木)2限(小西) 14.試験 (1月30日/金)3限				

科目名	助産診断技術論Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	助産過程と基礎知識	講義	
担当者	峰 博子、小西 真千子、母性分野助手		
[成績評価方法] 試験(100%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験回収後に解説を行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:該当範囲での試験(100%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度(減点式) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度(減点式) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業態度(減点式) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業態度(減点式) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業態度(減点式) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業態度(減点式) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業態度(減点式) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業態度(減点式) [教科書(ISBN)] 書籍名:助産師基礎教育テキスト 2024年版 第5巻 分娩期の診断とケア 著者名:佐々木くみ子 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818026155 書籍名:助産師基礎教育テキスト 2024年版 第6巻 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア 著者名:江藤宏美 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818026162 [参考書(ISBN)] 書籍名:【第6版】マタニティ診断ガイドブック 著者名:日本助産診断実践学会／編集 齋藤益子／〔ほか〕執筆 出版社名:医学書院 ISBN:9784260043298 書籍名:病気がみえる vol.10 産科 第4版 著者名:医療情報科学研究所 編集 出版社名:メディックメディア ISBN:9784896327137 書籍名:新訂版 写真でわかる助産技術 アドバンス 著者名:平澤 美恵子 出版社名:インターメディカ ISBN:9784899964360 書籍名:新訂版 写真でわかる母性看護技術 アドバンス 著者名:平澤 美恵子 出版社名:インターメディカ ISBN:9784899964100			

科目名	助産診断技術論演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	牛越 幸子、小西 真千子、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 妊産褥婦と胎児・新生児の健康水準を診断できる能力を養い、助産過程の展開に必要なアセスメントおよび援助技術を習得し、実践能力を養う。 [授業概要] 妊産褥婦と胎児・新生児の健康水準を診断できる能力を養い、助産過程の展開に必要なアセスメントおよび援助技術の具体的な方法を学ぶ。アセスメントでは主に分娩期を中心とした事例学習により、関連情報の統合と理解、経過とリスクの予測、必要な看護支援やリスク対応に関する計画立案を学び、実習に向けた臨床判断能力を獲得する。援助技術演習では、分娩介助に必要な環境や物品準備、分娩介助技術、出生直後の新生児ケアなど事例を用いた具体的なシミュレーション演習を行う。いずれも小グループでディスカッションや発表を中心とした学生主体の学習を進める。臨床経験のある教員による指導では、より実践的な視点を養う演習を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 疾病と治療Ⅴ、母性看護論、女性の健康増進と看護、助産学概論、助産診断技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの復習を行い、十分理解して授業に臨むこと。各回、予習復習をあわせて2時間程度行うこと。特に、分娩介助技術にの習得に対しては、反復的な自己練習を行うことが必須となる。 [授業計画] 牛越幸子、峰 博子、小西真千子、平川真梨、 1. 分娩介助技術チェック(分娩介助技術の習得度確認)(4月8日/火)3限 2. 分娩期における基礎的技術の習得(紙上事例①) 入院時の観察、レオポルド触診法、CTG装着技術、初期診断に向けた情報収集(4月8日/火)4限 3. アセスメントと初期診断の記述(紙上事例①)(4月10日/木)1限 4. 分娩第1期における助産診断—初期診断の記述(紙上事例②)(4月10日/木)2限 5. 分娩第1期～2期における助産診断、情報収集からアセスメント(紙上事例③)(4月11日/金)3限 6. 分娩第1期～2期における助産診断、アセスメントから初期診断(紙上事例③)(4月11日/金)4限 7. 分娩第1期～4期/産褥までの助産診断(紙上事例④:シミュレーション)(4月14日/月)1限 8. 分娩第1期～4期/産褥までの助産診断(紙上事例④:シミュレーション)(4月14日/月)2限 9. 分娩第1期～4期/産褥までの助産診断(紙上事例④:シミュレーション)(4月15日/火)3限 10. 分娩第1期～4期/産褥までの助産診断(紙上事例④:シミュレーション)(4月15日/火)4限 11. 分娩第1期～2期までのアセスメントと診断/情報収集からアセスメント(紙上事例⑤)(4月18日/金)3限 12. 分娩第1期～2期までのアセスメントと診断/助産計画とケア(紙上事例⑤)(4月18日/金)4限 13. 分娩第1期～2期までのアセスメントと診断/助産ケアの実践(紙上事例⑤:シミュレーション)(4月22日/火)3限 14. 分娩第1期～2期までのアセスメントと診断/助産ケアの実践(紙上事例⑤:シミュレーション)(4月22日/火)4限 15. 分娩第1期～2期までのアセスメントと診断/助産ケアの実践(紙上事例⑤:シミュレーション)(4月25日/金)4限 16. 分娩第1期～2期までのアセスメントと診断/助産ケアの実践(紙上事例⑤:シミュレーション)(4月25日/金)5限 17. 分娩介助技術チェック(分娩介助技術の習得度確認)(4月28日/月)1限 18. 分娩介助技術チェック(分娩介助技術の習得度確認)、会陰縫合技術(4月28日/月)2限 19. 分娩第1期～4期/産褥までのアセスメントと診断/助産計画とケア(紙上事例⑥:シミュレーション)(5月7日/水)3限 20. 分娩第1期～4期/産褥までのアセスメントと診断/助産計画とケア(紙上事例⑥:シミュレーション)(5月7日/水)4限 21. 分娩第1期～4期/産褥までのアセスメントと診断/助産計画とケア(紙上事例⑥:シミュレーション)(5月9日/金)3限 22. 分娩第1期～4期/産褥までのアセスメントと診断/助産計画とケア(紙上事例⑥:シミュレーション)(5月9日/金)4限 23. 助産学共用試験(OSCE)(5月12日/月)1限 24. 助産学共用試験(OSCE)(5月12日/月)2限 25. 助産学共用試験(OSCE)(5月14日/水)3限 26. 助産学共用試験(OSCE)まとめ(5月14日/水)4限				

科目名	助産診断技術論演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	牛越 幸子、小西 真千子、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手		
[成績評価方法] 授業への取り組み・課題・分娩助技術習得度(50%)、助産学共用試験(OSCE)(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後に振り返りを行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み・課題・分娩助技術習得度、助産学共用試験(OSCE) 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み・課題 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:授業への取り組み・課題、助産学共用試験(OSCE) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み・課題、助産学共用試験(OSCE) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み・課題・分娩助技術習得度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、助産学共用試験(OSCE) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み・課題・分娩助技術習得度、助産学共用試験(OSCE) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み・課題 [教科書(ISBN)] 書籍名:助産師基礎教育テキスト 2024年版 第5巻 分娩期の診断とケア 著者名:佐々木くみ子 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818026155 書籍名:助産師基礎教育テキスト 2024年版 第6巻 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア 著者名:江藤宏美 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818026162 [参考書(ISBN)] 書籍名:助産師基礎教育テキスト 2024年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア 著者名:小林康江 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818026179 書籍名:病気が見えるVol10 著者名: 出版社名:メディックメディア ISBN:978-4-89632-713-7			

科目名	女性の健康増進と看護		後期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	服部 律子、母性分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 女性と母性の健康に関する特性と影響要因、成長発達や加齢に伴う変化を理解する。さらに、性と生殖にかかわる健康と人権についての理解を深め、それらを考慮にいれた健康増進への効果的な支援が行える能力を養う。 [授業概要] 女性と母性の健康を考える上で必要な概念、ならびに女性および母性の健康に影響する社会・環境要因、ライフサイクルに伴う健康課題を理解し、女性が自らの能力を生かしてより健康に過ごすために必要な看護を学ぶ。女性の健康について、生涯を通した一連の発達の变化を、生物学的側面のみならず心理・社会・文化的側面からも理解を深める。また、性と生殖における健康と人権について現状と課題を理解し、健康増進への支援を学び看護援助ができる能力を養う。看護師・助産師の実務経験のある教員が授業を担当する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 生殖関連の解剖学・生理学(生殖機能、性周期、内分泌等)に関する知識の確認学習を行うこと。 各授業の前後にはテーマに該当する教科書、参考文献、配布資料を読み整理する。前後各2時間程度。 [授業計画] 1.母性看護学と女性の健康支援 母性看護学、助産学とは、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの尊重と看護(9/25 木 3限) 2.セクシュアリティの理解と支援 女性のライフサイクル各期の身体・心理・社会的特徴(10/3 金 3限) 3.母性看護を取り巻く社会の現状と課題、保健衛生統計からみる母性看護の課題、母性看護に関わる法律、少子化対策と母性看護(10/10・金 3限) 4.思春期の健康課題と看護、若年妊娠の現状と課題、青少年と薬物(飲酒・喫煙含む)に関する健康課題、性教育の現状と課題 性感染症と予防 子宮頸がん予防(10/17 金 3限) 5.成熟期の健康課題 月経に関する健康課題 性暴力と性被害、女性への暴力の防止 不妊働く妊婦への母性保護(10/24 金 3限) 6.母子関係と愛着に関する支援 母性・父性を育てる看護ケア 母子相互作用と愛着 妊娠の受容とは 育児をめぐる社会の課題 子ども虐待と予防活動(10/31・金 3限) 7.更年期・老年期の健康課題 更年期女性の健康課題と支援 更年期障害とは 老年期女性に特徴的な健康課題(11/7・金 3限) 8.試験とまとめ(11/21・金 3限)				

科目名	女性の健康増進と看護	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	服部 律子、母性分野助手		
[成績評価方法] 授業後課題レポート(40%)、試験(60%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題と試験結果は授業もしくはmanabaにてフィードバックを行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をととして道徳的態度が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業后感想レポート(40%)試験(60%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業后感想レポート(40%)試験(60%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業后感想レポート(40%)試験(60%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業后感想レポート(40%)試験(60%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業后感想レポート(40%)試験(60%) [教科書(ISBN)] 書籍名:[第2版]母性看護学 1 概論 女性・家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケアの追求 著者名:有森 直子 編著 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263237366 [参考書(ISBN)]			

科目名	人体のしくみと機能 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	高橋 玲比古、成人分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	学生ないし教員からの疑問点や課題等をグループワークでディスカッションし、学生が結果を発表する。	実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1) ケアに必須の正常な人体のしくみと機能について理解・修得できる。 2) 生命や生きることについて考察できる。 3) 機能と構造が異常となるメカニズムを推測でき、今後学ぶ疾病と治療につながる考察ができる。 [授業概要] 看護学を学ぶ上で基本となる正常な人体のしくみと機能について系統的に講義する。人体のしくみと機能 I では、主に消化器、呼吸器、造血器、循環器について系統的に学ぶ。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1) 高校で学習した理科学科目(生物・化学・物理学)を整理・復習しておく。 2) 講義予定のレジュメと教科書範囲を熟読し、あらかじめ疑問点を整理して授業に臨む。 3) 講義で学んだ内容を復習し、専門用語などの語彙は必ず確認して未消化のままにしない。 予復習は合わせて4時間程度 [授業計画] 1. 解剖生理学を学ぶための基礎知識 1) 形からみた人体/素材からみた人体 2) 機能からみた人体(教科書pp.1-62) (4月9日水曜日)1限 2. 栄養の消化と吸収(1) 口・咽頭・食道の構造と機能(教科書pp.63-76) (4月16日水曜日)1限 3. 栄養の消化と吸収(2) 腹部消化管の構造と機能(教科書pp.76-95) (4月23日水曜日)1限 4. 栄養の消化と吸収(3) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能/腹膜(教科書pp.96-106) (5月7日水曜日)1限 5. 呼吸のはたらき(1) 呼吸器の構造(教科書pp.107-120) (5月14日水曜日)1限 6. 呼吸のはたらき(2) 内呼吸と外呼吸/呼吸器と呼吸運動/呼吸気量/ガス交換とガスの運搬(教科書pp.120-133) (5月28日水曜日)1限 7. 呼吸のはたらき(3) 肺の循環と血流/呼吸運動の調節/呼吸器系の病態生理(教科書pp.133-141) (6月4日水曜日)1限 8. 血液のはたらき(1) 血液の組成と機能/赤血球/白血球(教科書pp.141-155) (6月11日水曜日)1限 9. 血液のはたらき(2) 血小板/血漿タンパク質/血液の凝固と線維素溶解/血液型(教科書pp.155-165) (6月18日水曜日)1限 10. 血液の循環とその調節(1) 心臓の構造/心臓の拍出機能/心電図/心臓の収縮(教科書pp.167-193) (6月25日水曜日)1限 11. 血液の循環とその調節(2) 末梢循環系の構造/血管の構造/肺循環の血管/体循環の血管(教科書pp.193-206) (7月2日水曜日)1限 12. 血液の循環とその調節(3) 血液の循環調節/血圧/血液の循環/血圧・血流量の調節(教科書pp.206-219) (7月9日水曜日)1限 13. 血液の循環とその調節(4) 血液の循環調節/微小循環/循環器系の病態生理/リンパとリンパ管(教科書pp.220-229) (7月16日水曜日)1限 試験(7月23日水曜日)1限				

科目名	人体のしくみと機能 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	高橋 玲比古、成人分野助手		
[成績評価方法] 授業参加姿勢(30%)、期末 試験 (70%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 全体的にはマナバ、個別的にはオフィスアワー等 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 [教科書 (ISBN)] 書籍名:人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版 著者名:坂井 建雄 出版社名:医学書院 ISBN:9784260046879 [参考書 (ISBN)]			

科目名	人体のしくみと機能Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	高橋 玲比古、成人分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	学生ないし教員からの疑問点や課題等をグループワークでディスカッションし、学生が結果を発表する。	実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1) ケアに必須の正常な人体のしくみと機能について理解・修得できる。				
2) 生命や生きることについて考察できる。				
3) 構造と機能が異常となるメカニズムを推測でき、今後学ぶ疾病と治療につながる考察ができる。				
[授業概要]				
看護学を学ぶ上で基本となる正常な人体のしくみと機能について系統的に講義する。人体のしくみと機能Ⅱでは、主に腎・泌尿器、内分泌、骨格・運動器、脳・神経機能、生殖器について系統的に学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
1) 高校で学習した理科学科(生物・化学・物理学)を整理・復習しておく。				
2) 講義予定の教科書範囲を熟読し、あらかじめ疑問点を整理して授業に臨む。				
3) 講義で学んだ内容を復習し、専門用語などの語彙を含めて未消化のままにしない。				
予復習は合わせて4時間程度				
[授業計画]				
1. 体液の調節と尿の生成(1) 腎臓の構造と機能/糸球体の構造と機能/尿細管の構造と機能/傍糸球体装置/クリアランスと糸球体濾過量/腎臓から分泌される生理活性物質(教科書 pp.231-248)(10月1日水曜日)2限				
2. 体液の調節と尿の生成(2) 排尿路/体液の調節(教科書 pp.248-260)(10月8日水曜日)2限				
3. 内臓機能の調節(1) 自律神経による調節/自律神経の機能/自律神経の構造/自律神経の神経伝達物質と受容体/内分泌系による調節/内分泌とホルモン/ホルモンの化学構造と作用機序(教科書 pp.261-277)(10月15日水曜日)2限				
4. 内臓機能の調節(2) 全身の内分泌腺と内分泌細胞/視床下部一下垂体系/甲状腺と副甲状腺/膵臓(教科書 pp.277-290)(10月22日水曜日)2限				
5. 内臓機能の調節(3) 内分泌細胞/副腎/性腺 ホルモン分泌の調節(教科書 pp.290-306)(10月29日水曜日)2限				
6. 身体の支持と運動(1) 骨格/骨の連結/骨格筋(教科書 pp.307-323)(11月19日水曜日)2限				
7. 身体の支持と運動(2) 体幹の骨格と筋/上肢の骨格と筋/下肢の骨格と筋(教科書 pp.324-361)(11月26日水曜日)2限				
8. 身体の支持と運動(3) 頭頸部の骨格と筋/筋の収縮(教科書 pp.361-382)(12月3日水曜日)2限				
9. 情報の受容と処理(1) 神経系の構造と機能/脊髄と脳/脊髄神経と脳神経(教科書 pp.383-418)(12月6日土曜日)2限				
10. 情報の受容と処理(2) 脳の高次機能/運動機能と下行伝導路/感覚機能と上行伝導路(教科書 pp.418-435)(12月10日水曜日)2限				
11. 情報の受容と処理(3) 眼の構造と視覚/耳の構造と聴覚・平衡覚/味覚と嗅覚/疼痛(教科書 pp.435-460)(12月17日水曜日)2限				
12. 外部環境からの防御 皮膚の構造と機能/生体の防御機構/非特異的防御機構/免疫/代謝と運動/体温とその調節(教科書 pp.461-491)(12月24日水曜日)2限				
13. 生殖・発生のしくみ 1) 男性生殖器/女性生殖器 2) 受精と胎児の発生(教科書 pp.493-526)(1月7日水曜日)2限				
試験 (1月14日水曜日)2限				

科目名	人体のしくみと機能Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	高橋 玲比古、成人分野助手		
[成績評価方法] 授業態度(30%)、期末試験(70%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 全体的にはマナバ、個別的にはオフィスアワー等 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で評価する。 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で評価する。 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回のレポートと最終試験の結果で総合的に評価する。 [教科書(ISBN)] 書籍名:人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版 著者名:坂井 建雄 出版社名:医学書院 ISBN:9784260046879 [参考書(ISBN)]			

科目名	成育看護技術演習Ⅰ		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	内 正子、菅野 由美子、牛越 幸子、服部 律子、小西 真千子、原口 梨那、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1.療養生活を送る子どもの状況に応じた援助技術を理解し、実践する能力を修得する。 2.周産期にある母子の健康状態のアセスメントや新生児の日常生活に関する援助技術を理解し、実践する能力を習得する。 [授業概要] 成育看護分野における基盤的な看護技術を学ぶ。 小児看護では、子どもの成長・発達のアセスメントや療養生活を支援するために必要な技術として、身体計測、バイタルサインの測定、フィジカルアセスメント、清拭、輸液管理について演習を行う。学生は事前に各演習項目の概要(目的、必要物品、手順、留意点など)についてレポートを作成する。演習では小グループに分かれて、モデル人形もしくは学生同士で技術を学ぶ。 母性看護では、周産期における母子の健康状態を理解するために必要な技術として、妊婦のヘルスアセスメント(レオポルド触診法、胎児心音の聴取)、褥婦のヘルスアセスメント(退行性変化の観察、授乳ケア)、新生児のヘルスアセスメントやケア(衣類の着脱、おむつ交換、沐浴など)、産婦のヘルスケアアセスメント(分娩時ケア、産痛緩和ケア)について演習を行う。演習は小グループに分かれて行う。 小児看護および母性看護の経験がある教員が、その経験を活かして、技術演習指導を行う。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「小児看護論」の内容を復習し、理解しておくこと。演習の前の事前レポートを作成し、演習で実施する各技術の概要を理解しておくこと。 「母性看護論」の内容を復習し、理解しておくこと。事前課題に基づき演習の予習を行い、演習で実施する核技術の概要を理解しておくこと。 各回、予習復習合わせて2時間程度 [授業計画] オリエンテーション:9月26日金曜日 5限 ●小児看護における看護技術: 1. 身体計測と発育評価:各発達段階(乳児、幼児、学童)の事例における身体計測を実施し、その発育評価を行い、子ども・家族に対する支援を考える。 (Aクラス:12月10日水曜日 1限、2限 Bクラス:12月19日金曜日 1、2限) 2. バイタルサイン測定:各発達段階の事例について、モデル人形を用いてバイタルサイン測定を実施する。子どもへの適切な実施方法を学ぶ。 (Aクラス:1月14日水曜日 3限 Bクラス:1月28日水曜日 3限) 3. フィジカルアセスメント:ロールプレイおよび事例のモデル人形を用いて、小児のフィジカルアセスメントを行う。 (Aクラス:1月14日水曜日 4限 Bクラス:1月28日水曜日 4限) 4. モデル人形を用いて全身清拭を実施する。 (Aクラス:1月15日木曜日 3限 Bクラス:1月29日木曜日 3限) 5. 持続点滴中の看護について理解し、輸液管理の技術を学ぶ。 (Aクラス:1月15日木曜日 3限 Bクラス:1月29日木曜日 3限) 6. 事例を用いたフィジカルイグザミネーションを通してアセスメントを行う。 (Aクラス:1月15日木曜日 4限 Bクラス:1月29日木曜日 4限) ●母性看護における看護技術 7・8.妊婦のヘルスアセスメント技術:妊婦モデルを用いてレオポルド触診法、NST判読などを行い、アセスメントについて学ぶ。 (Bクラス:12月11日木曜日1・2限、Aクラス:12月12日金曜日1・2限) 9・10.褥婦のヘルスアセスメント技術:腹部触診モデルなどを用いて退行性変化や進行性変化の観察、褥婦に対する授乳支援について学ぶ。 (B1クラス:12月15日月曜日1・2限、A1クラス:12月16日火曜日1・2限) (B2クラス:12月17日水曜日1・2限、A2クラス:12月18日木曜日1・2限) 11・12.新生児のヘルスアセスメント技術:新生児モデルを用いて沐浴や抱っこの仕方、更衣、おむつ交換や観察(バイタルサイン測定、全身の観察)などを学ぶ。 (B2クラス:12月15日月曜日1・2限、A2クラス:12月16日火曜日1・2限) (B1クラス:12月17日水曜日1・2限、A1クラス:12月18日木曜日1・2限) 13.産婦のケア技術:ロールプレイをもとに分娩期の支援について学ぶ。 (Bクラス:12月22日月曜日1限、Aクラス:12月22日月曜日2限) * 演習は2クラスに分かれて行う。クラスによって、日程が異なるので、初日のオリエンテーションで確認すること。 * 演習はF202、F209、F210使用 (9月26日のオリエンテーション F210)				

科目名	成育看護技術演習Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	内 正子、菅野 由美子、牛越 幸子、服部 律子、小西 真千子、原口 梨那、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手、小児分野助手		
〔 成績評価方法 〕 小児(50%):事前課題(20%)、演習レポートおよび演習への取り組み(30%) 母性(50%):事前課題(20%)、演習レポート(事後課題)および演習への取り組み(30%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 課題についてはコメントして返却する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:演習での取り組み 課題レポート 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

P11201590 [NNB2-021]

科目名	成育看護技術演習Ⅱ		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	服部 律子、内 正子、牛越 幸子、菅野 由美子、小西 真千子、原口 梨那、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1.周産期における母子とその家族の看護ニーズを明らかにし、必要な看護援助を展開するための能力を習得する。 2.療養生活を送る子どもの看護ニーズを導き、子どもとその家族の状況に応じた看護計画を立案する能力を修得する。				
[授業概要]				
成育看護分野における看護過程を学ぶ。 母性看護では、出産後早期にある母子とその家族の事例を用いて、褥婦・新生児・家族について健康状態、母子や家族の関係性、親役割取得の視点から情報の整理、解釈・分析、看護計画立案、実施評価を行う。これらは教員の助言を受けながら個人ワークとグループワークで展開する。この一連の過程を通し、母性看護の特徴であるウェルネスの視点について学ぶ。 小児看護では、各発達段階とさまざまな状況(急性期や慢性期)に沿った看護を修得するために、多様な子どもの事例を通してグループワークを行う。小児看護における看護過程の概要を学んだ後に、事例を活用して情報収集、分析、看護目標・看護計画の立案、実施のプロセスについてグループワークを行う。情報収集や実施などは学生同士や教員とのロールプレイを通して行っていく。 看護師の実務経験を持つ教員が授業を担当する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
小児看護論および母性看護論を復習し、理解しておくこと。 演習の予習として、事前課題、該当するテキスト、資料を読み、疑問点を確認しておく(各1時間程度) 復習として、授業で指示された課題を行う(各2時間程度)				
[授業計画]				
母性看護における看護過程(服部律子、牛越幸子、峰博子、小西真千子、平川真梨)				
1. 講義・演習オリエンテーション:母性領域におけるウェルネス看護診断 4月11日(金)1限、				
2. 事例による情報収集と情報の関連づけと整理 4月18日(金)1限、				
3. 母子の健康状態や家族発達・ウェルネスの視点から情報を分析 4月18日(金)2限、				
4. 看護目標・看護計画の書き方・看護計画の立案 4月25日(金)2限、				
5. 看護計画の立案・発表 5月9日(金)2限				
6. 経過記録について・問題解決型とウェルネス志向型の用い方 5月16日(金)2限				
小児看護における看護過程(内正子、菅野由美子、橋本涼加、原口梨那)				
7. グループワーク:情報の整理、アセスメント。4月11日(金)2限、				
8. グループワーク:全体像の作成、看護計画の立案。4月25日(金)1限				
9. グループワーク:看護計画の立案。発表準備。 5月16日(金)1限				
10. 乳児の事例の全体像と看護計画、ロールプレイの発表 6月6日(金)1限				
11. 幼児の事例の全体像と看護計画、ロールプレイの発表 6月6日(金)2限				
12. 学童の事例の全体像と看護計画、ロールプレイの発表 6月13日(金)1限				
13. 思春期の事例の全体像と看護計画、ロールプレイの発表 6月13日(金)2限				

科目名	成育看護技術演習Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	服部 律子、内 正子、牛越 幸子、菅野 由美子、小西 真千子、原口 梨那、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業での課題については、その都度質問は可能です。 わからないことがあれば担当教員にメールして下さい [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身につけている。 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身につけている。 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身につけている。 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小児50点:グループ課題(40%)、発表(プレゼンテーション)(10%)、個人課題(50%) 母性50点:個人課題(80%)、授業参加態度(20%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

P11201600 [NNB3-022]

科目名	成育看護実習Ⅰ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	内 正子、牛越 幸子、菅野 由美子、服部 律子、小西 真千子、細川 愛美、原口 梨那、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 子育て支援施設の利用者である親子と関わることにより地域での生活の実際を理解できる。 2. 子育て家庭の育児の状況から子育て支援施設の必要性と意義を理解できる。 3. 地域における子育て支援施設の現状を理解し、支援の方法が理解できる。 4. 地域の子育て支援体制を理解し、看護職との連携や協働を考察できる。 5. 乳幼児との関わりを通して、援助することを意識したコミュニケーションをとることができる。 6. 乳幼児の生活を知ることにより、成長・発達を理解できる。 7. 園での過ごし方を通して、健康な乳幼児の生活について理解できる。 8. 乳幼児の健康な生活のために必要な支援について考察できる。 9. 援助者としての態度、学習姿勢が習得できる。				
[授業概要]				
既習の生活援助についての知識や技術を地域で生活する子どもや養育者への看護実践に適用し、看護の理論と実践を結びつけて理解できる能力を学ぶ。 具体的には、地域にある施設において実習を行い、乳幼児とのコミュニケーションを体験し、発達段階における成長・発達、健康な生活のあり方を理解し、その支援について学ぶ。 また、地域で子育てしている養育者の状況を理解し、子育て支援施設の必要性と意義を学ぶ。 施設において対象者への支援を見学し、援助者としての態度を養う。 乳幼児への支援および子育て支援の経験がある教員が、その経験を活かして、実習目標が達成できるよう実習指導を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
実習施設の概要やその地域の特性を調べておくこと。 効果的な学習が深まるよう事前課題を各自学習しておくこと。				
[授業計画]				
事前にオリエンテーションを受けて、実習の進め方、留意事項など理解する。				
1. 実習場は神戸市内の保育所・幼稚園および子育て支援施設とする。 2. 臨地でオリエンテーションを受け、各施設の設備や環境について理解する。 3. 乳幼児の生活を見学し、それぞれの年齢に沿った成長発達について理解する。 4. 乳幼児に対する支援者の活動を理解する。 5. 子育て支援施設で実施されている支援の様子を見学する。 6. 対象者と援助的コミュニケーションを図る。 7. 各施設で行われている活動について指導を受けながら参加する。 8. 実習での学びを振り返り、深めるためにカンファレンスを行う。 9. 看護職としての援助的態度を探索する。 10. 全体カンファレンスを行い、学びを共有し学びを深める。(5日目) 11. 実習目標の達成度を確認、今後の学習の課題を明らかにする。(5日目)				

科目名	成育看護実習 I	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	内 正子、牛越 幸子、菅野 由美子、服部 律子、小西 真千子、細川 愛美、原口 梨那、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 実習達成度(70%)、課題レポート(20%)、実習態度(10%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習達成度については、面談を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習達成度 課題レポート 実習態度			

P11201610 [NNB1-014]

科目名	成育看護実習Ⅱ（小児）		前期～後期	2 単位
サブタイトル			実習	
担当者	内 正子、菅野 由美子、原口 梨那、小児分野助手			
〔アクティブラーニング授業〕				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
〔 到達目標 〕 1.子どもを全人的に理解することができる。 2.健康逸脱や療養生活が子どもとその家族におよぼす影響を理解することができる。 3.子どもが体験している療養生活について理解し、援助できる。 4.子どもとその家族に対して看護過程を展開することができる。 5.小児医療の中での看護師の役割が理解できる。 6.子どもやその家族と援助的人間関係を築くことができる。 7.看護職として倫理的に判断・行動するための基本的能力を習得することができる。				
〔 授業概要 〕 小児看護に関する既習の知識・技術を用いて、看護の理論と実践を結び付けて理解できる能力を養う。看護実践の場で、様々な成長発達段階にある子どもの理解、様々な健康状態にある子どもへの看護を学ぶ。 具体的には、子どもが入院している施設で2週間の実習を行い、原則1人の子どもの受け持つ。そして、医療施設で療養する子どもを身体的、心理的、社会的側面から全人的に理解する。子どもとその家族との援助的人間関係を築き、関わりを通して、必要な看護を判断し、安全かつ安心できる看護実践能力の基礎を習得する。 また、子どもと家族がよりよい療養生活を送るための、社会資源や多職種連携のあり方について学び、それらを通して看護師の役割について理解する。 小児看護の経験がある教員が、その経験を活かして、到達目標を達成できるよう実習指導を行う。				
〔 準備学修(予習・復習)の内容・時間 〕 実習先の医療施設の概要について調べておくこと。 実習に必要な知識、技術の復習をしておくこと。				
〔 授業計画 〕 事前にオリエンテーションを受けて、実習の進め方、留意事項など理解する。 1.実習の場は子どもが入院している施設とする。 2.病棟の管理者からオリエンテーションを受け、子どもが療養する場としての施設の環境について理解する。(1日目) 3.原則として1人の子どもの受け持つ。 4.受け持ちとの援助関係を築き、それを発展させる。(1～9日目) 5.受け持ちを通して、看護過程を展開する。 ・子どもとその家族から情報を収集し、アセスメントを行う。(1～9日目) ・看護目標、看護計画を立案し、看護実践を行う。(2～9日目) ・子どもや家族の反応をとらえて、評価を行う。(2～9日目) ・実習内容の記録を行う。(1～9日目) 6.チームの一員としての報告・連絡・相談をする。(1～9日目) 7.受け持ち以外でも、子どもの看護について、可能な限り見学や、体験をし、看護師の役割を理解する。(6～9日目) 8.看護師が多職種と協働している場面に参加する。(6～9日目) 9.実習期間中、1日は外来での実習を行い、継続看護、在宅支援などを理解する。 10.日々の学びを共有するとともに、次の日の課題とそれを解決するための方策をグループで話し合う。(1～8日目) 11.学びの共有と実践の振り返りのため、全体カンファレンスを行う。(10日目) 12.実習目標の達成度を確認、今後の学習の課題を明らかにする。(10日目)				

科目名	成育看護実習Ⅱ（小児）	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	内 正子、菅野 由美子、原口 梨那、小児分野助手		
〔 成績評価方法 〕 実習到達度（70%）、レポート（20%）、実習態度（10%） 〔 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 〕 実習達成度に関して、面談を行う。 〔 オフィスアワー（質問等の受付方法） 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP） 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-2／（科学的根拠に基づいた課題対応能力） 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 学科DP番号／DP内容:看護1-3／（人が病むことへの関心と理解） 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 学科DP番号／DP内容:看護2-2／（看護の表現力） 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 学科DP番号／DP内容:看護2-3／（倫理の実践と道徳的態度） 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習到達度 レポート 実習態度 〔 教科書（ISBN） 〕 〔 参考書（ISBN） 〕			

P11201620 [NNB3-023]

科目名	成育看護実習Ⅱ（母性）		前期～後期	2 単位
サブタイトル			実習	
担当者	服部 律子、牛越 幸子、小西 真千子、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1.周産期における母子とその家族の特徴を理解する。 2.対象者の個別性を考慮した計画立案の必要性を理解する。 3.看護計画に基づいた看護の実践を理解する。 4.学修者としての自覚と責任感を習得できる。 5.これらの目標を通して周産期における対象者の特徴と看護について考察できる。				
[授業概要] 周産期における母子とその家族を対象とし、身体・心理・社会的な側面から対象者の特徴を理解する。対象者との関わりを通して、セルフケアの維持・向上に向けた健康ニーズを考え、対象者にとって必要な看護を学ぶ。また、既習の知識や技能、および倫理的態度などを統合し、より良い看護を提供するための基礎的な能力を養う。さらに、この実習を通して周産期における対象者の特徴と看護について考察する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 疾病と治療Ⅴ、Ⅵ(周産期学、新生児)、母性看護論、成育看護技術演習Ⅰ、成育看護技術演習Ⅱ、女性の健康増進と看護について復習し、十分理解した上で実習に臨むこと。母性看護技術は自主的練習を行うこと				
[授業計画] 実習施設により臨地実習、もしくは学内実習、遠隔実習を組み合わせ、以下の通り2週間の実習を行う。 1.産科病棟、もしくは事例を用い産後の母子を受け持ち、看護過程を展開する。 2.妊婦体験、出産経験者の体験を聞き、妊娠期における心身の経過や適応、出産準備、退院後の子育て期における心身の経過や適応、授乳や育児の実際について理解する。 3.妊産婦、褥婦への保健指導、育児支援活動を資料・映像から学ぶ。 4.日々のカンファレンスでは、その日の実習を通して得た学びを学生間で共有する。加えて、テーマを決めて討議することにより、疑問や困難の解決や自己の学びの明確化を図り、実習課題の達成に向けた学習を行う。				

科目名	成育看護実習Ⅱ（母性）	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	服部 律子、牛越 幸子、小西 真千子、峰 博子、今野 睦美、奥田 真梨、母性分野助手		

[成績評価方法]
実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
日々、実習記録は教員から口頭での助言や実習記録へのコメントを通してフィードバックを行う。実習最終日に担当教員と面談し、実習全体を振り返り、フィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容:看護1-2／（科学的根拠に基づいた課題対応能力）
人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

学科DP番号／DP内容:看護1-3／（人が病むことへの関心と理解）
生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

学科DP番号／DP内容:看護2-2／（看護の表現力）
自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

学科DP番号／DP内容:看護2-3／（倫理の実践と道徳的態度）
看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習への取り組み（20％）、実習記録（60％）、課題レポート（20％）

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

P11201630 [NNB3-024]

科目名	生活援助論		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	西原 詩子、吉原 文子、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 1. 看護技術の特徴と適切な援助を実施するための留意点を理解できる。 2. 日常生活援助における看護の役割について述べるができる。 3. 看護の基本技術と生活援助技術に関する原理・原則を理解できる。 4. 対象の基本的ニーズの充足を目的として、看護の基本技術と生活援助技術を、根拠に基づいて実践できる。 5. 演習での看護師・患者体験を通して、看護専門職として援助技術を行う上での基本的な態度を身に付けることができる。 [授業概要] 対象の基本的ニーズを充足する日常生活援助として、清潔の保持、排泄の援助、安楽を促進する援助のための知識と技術を学ぶ。看護専門職としての基本的な態度とともに、根拠に基づいた実践方法を修得する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 必要な知識や手順を理解し、技術実施のイメージがもてる状態となるまで、各回予習復習を合わせて2時間程度事前学習を行ってください。技術自主練習の時間に積極的に練習してください。 [授業計画] 1.コースオリエンテーション、生活援助技術とは、清潔を保つための生活援助技術 F310 (西原詩子)(10月1日)3限 2.排泄に対する生活援助技術、安楽を促進する生活援助技術 F310 (西原詩子・吉原文子)(10月1日)4限 3.清拭・陰部洗浄・床上排泄:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名、老年看護学分野助手助教2名)(10月8日)3限 4.清拭・陰部洗浄・床上排泄:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名、老年看護学分野助手助教2名)(10月8日)4限 5.清拭・陰部洗浄・床上排泄:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名、老年看護学分野助手助教2名)(10月15日)3限 6.清拭・陰部洗浄・床上排泄:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名、老年看護学分野助手助教2名)(10月15日)4限 7.洗髪・寝衣交換:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名、老年看護学分野助手助教2名)(10月22日)3限 8.洗髪・寝衣交換:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名、老年看護学分野助手助教2名)(10月22日)4限 9.洗髪・寝衣交換:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名、老年看護学分野助手助教2名)(10月29日)3限 10.洗髪・寝衣交換:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名、老年看護学分野助手助教2名)(10月29日)4限 11.足浴・床上排泄:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名)(11月12日)3限 12.足浴・床上排泄:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名)(11月12日)4限 13.嚥下・口腔ケア:事前学習を踏まえ、基礎的な知識、技術の手順やポイントを確認する。各自、患者・看護師役となり、技術を実施する。 「患者にとって、安全安楽な看護技術とは」を考える。F417・419・310・529(西原詩子、吉原文子、基礎看護学分野助手助教1名、遠山沙織、地域在宅看護学分野助手助教1名)11月19日3限 *筆記試験 F310 11月26日3限 *技術確認 F417・419 12月10日3・4限、12月17日3・4限				

科目名	生活援助論	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	西原 詩子、吉原 文子、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、地域在宅分野助手		
〔 成績評価方法 〕 ①授業への取り組み(援助計画書の作成・演習中の技術チェック:40%、最終課題:10%) *身だしなみが整っているかどうかを授業への取り組みの評価に含む。 ②理解度確認試験 12/4(40%) *理解度確認試験は60点以下で再試験とする ③技術確認 12/11・12/18(清拭:10%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 課題は確認し、後日返却します。 筆記試験結果については、後日講評します。 技術確認の結果はその場で講評します。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:《系統看護学講座 専門分野Ⅰ》基礎看護学[2] 基礎看護技術ⅠJ(第16版)(デジタル) 著者名:有田清子他 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-01999-6 書籍名:《系統看護学講座 専門分野Ⅰ》基礎看護学[3] 基礎看護技術ⅡJ(第17版)(デジタル) 著者名:有田清子他 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-02760-1 書籍名:「看護技術がみえるvol.1 基礎看護技術」著者名:医療情報科学研究所(編集) 出版社名:メディックメディア ISBN:978-4-896-32511-9 書籍名:「看護技術がみえるvol.2 臨床看護技術」著者名:医療情報科学研究所(編集) 出版社名:メディックメディア ISBN:978-4-896-32459-4 書籍名:「フィッカルアセスメントがみえる」著者名:医療情報科学研究所(編集) 出版社名:メディックメディア ISBN:978-4-896-32566-9 書籍名:1 著者名:2 出版社名: ISBN: 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:看護覚え書 著者名:F.ナイチンゲール 著:湯楨ます:薄井坦子:小玉香津子:田村真:小南吉彦 訳 出版社名:現代社 ISBN: 書籍名:看護の基本となるもの 著者名:ヴァージニア・ヘンダーソン 著 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN: 書籍名:新版 生活健康科学 著者名:小田切陽一・飯島純夫・小山勝弘・石原逸子 出版社名:三共出版 ISBN:978-4-7827-0618-3			

P11201090 [NNB1-006]

科目名	生活概論	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	東 ますみ、生活援助分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 1. 看護の対象である人間を、豊かな感情を持ち、相互関係の中で育まれ、社会生活を営む生活者として捉えることができる。 2. 生活を構成するさまざまな要素と健康の関係について述べることができる。 3. 健康レベルの低下した生活者に対する看護援助について理解することができる。 [授業概要] 看護師免許を持つ教員が、以下の授業概要が理解できるように講義する。 看護の対象となる人間を生活者の視点で捉え、生活の概念規定や生活と健康との関係について学び、健康レベルの低下した生活者に対する看護援助の必要性を理解する。また、自己の生活体験を見つめ、身近な人と比較することで日常生活行動の個性を知り、生活者に対する理解を深める。さらに、人の基本的欲求について学び、基本的看護との関係について理解する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて2時間程度)。 毎週、次の授業までに事前課題レポートを仕上げてきてください。授業中のグループワークに活用します。 自分自身の日常生活を振り返るとともに、家族や友人の日常生活と比較して、問題点や改善点を見つけておいてください。 [授業計画] 1. 世界保健機関(WHO)の健康の定義を理解したうえで、日常生活が健康に及ぼす影響について、自身や身近な人の体験から考察する。(4月11日(金)4限) 2. 人々を取り巻く生活環境(公共交通機関、上下水道、買物、働く場所等)、生活(食、運動)の観点から健康の関わりを学び、健康を支えるという基本を理解する。(4月18日(金)4限) 3. 住環境や療養環境が健康に及ぼす影響について、参加観察の手法を用いて考察する。(4月25日(金)4限) 4. 「働くこと」が健康を支えることであり、また「働くこと」で不健康になることの意味について深く学ぶ。(5月9日(金)4限) 5. 全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向けて推進する「健康日本21(第2次)」について学ぶ。(5月16日(金)) 6. 看護職は対象者を生活の側面から支援する専門家であることを理解し、生活及び生活者の概念について学ぶ。(5月23日(金)4限) 7. 教科書「看護の基本となるもの」をもとに、人の基本的欲求について学ぶ。(5月30日(金)4限) 8. 試験(6月6日(金)4限)			
教室 F310			

科目名	生活概論	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	東 ますみ、生活援助分野助手		

〔 成績評価方法 〕

理解度確認試験(80%)、事前学習レポートを含む授業中の課題(20%)で評価します。

〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕

理解度確認試験は、試験終了後に解答の解説を行います。
事前学習レポートは、授業の中で解説を行います。

〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

〔 メールアドレス 〕

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕

学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム)

生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。

成績評価方法:理解度確認試験、事前学習レポート、グループワークでの発言内容や取り組み態度

学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力)

人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。

成績評価方法:理解度確認試験、事前学習レポート、グループワークでの発言内容や取り組み態度

学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解)

生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。

成績評価方法:理解度確認試験、事前学習レポート、グループワークでの発言内容や取り組み態度

〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:理解度確認試験、事前学習レポート、グループワークでの発言内容や取り組み態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:理解度確認試験、事前学習レポート、グループワークでの発言内容や取り組み態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:理解度確認試験、事前学習レポート、グループワークでの発言内容や取り組み態度

〔 教科書(ISBN) 〕

書籍名:【新版 第2版】生活健康科学 著者名:小田切陽一／編著 小山勝弘／〔ほか〕共著 出版社名:三共出版

ISBN:9784782708118

書籍名:看護の基本となるもの 著者名:ヴァージニア・ヘンダーソン 著 湯楨ます・小玉香津子 訳 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818019966

〔 参考書(ISBN) 〕

科目名	生活と身体		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	中岡 亜希子、玉木 敦子、高橋 秋絵、横内 光子、菅野 由美子、笹谷 真由美、西原 詩子、小枝 美由紀、峰 博子、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標]				
人間が生命体として生きるための身体の働きについて、内部環境と外部環境の視点から理解する。その上で、ひとが生活を営む中で、食べ、排泄し、活動・休息し、コミュニケーションをとるなど、人間らしく生きていくことを支える身体の仕組みと働きに対する理解を深め、看護援助につなげる視点を養う。				
[授業概要]				
看護の対象となる人間が生活を営むなかで、身体はどのように動き、働いているのかについて、人体としくみの機能と生活概論など既習の知識を活用しながら学ぶ。食事や排泄、活動と休息などの日常生活行動について、解剖学・生理学の知識に基づき身体の働きという観点から理解を深める。また、日常生活を営むための身体の働きに影響を及ぼす様々な要因を知る。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
人体のしくみと機能Ⅰ・Ⅱ、看護学概論、生活概論、コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ・Ⅱ、生活援助論などの関連科目の復習と予習を行い、これらの科目の学習内容と関連付けて授業に取り組めるよう準備する。				
[授業計画]				
1. 生命を維持する1: 環境の変化の中で生きるための身体の働き(呼吸、循環、体液)(中岡 亜希子)(9月26日金曜日)2限目				
2. 生命を維持する2: バイタルサインでとらえる恒常性の維持(中岡 亜希子)(10月3日金曜日)2限				
3. 清潔を維持する: 生活を営む中で清潔を維持するための身体の働き(西原 詩子)(10月10日金曜日)2限				
4. 身だしなみを整える(更衣と整容): 体温調節と身だしなみを整えるために必要な身体の働き(西原 詩子)(10月17日金曜日)2限				
5. 食べる(食物摂取)1: 食事をするための身体の働き(脳の働き、食べる行動に必要な運動機能と咀嚼・嚥下)(笹谷 真由美)(10月24日金曜日)2限				
6. 食べる(消化・吸収と身体機能)2: 取り込んだ食物を生活に活かすための身体の働き(消化・分解・吸収)(峰 博子)(10月31日金曜日)2限				
7. 排泄する: 排泄(排尿・排便)行動を可能にする脳神経系と泌尿器・消化器の働き(小枝 美由紀)(11月7日金曜日)2限				
8. 休息する: 人が健康な生活を営むための睡眠の機能と役割(睡眠の種類、サーカディアンリズム、睡眠時の生体変化、睡眠環境)(菅野 由美子)(11月21日金曜日)2限				
9. 姿勢の保持と移動: 生活行動に伴う姿勢の変化と保持、移動動作に必要な運動器の働き、姿勢の違いや歩行による呼吸・循環・体温の変化(笹谷 真由美)(11月25日火曜日)3限				
10. 日常生活を調整する: 生活の中での食事・運動・休息の関係、バランスが崩れることによる身体への影響(小枝 美由紀)(12月5日金曜日)2限				
11. 困窮に対処する: ストレスによる身体の反応と免疫への影響(高橋 秋絵)(12月12日金曜日)2限				
12. 困窮の人らしく生活する: その人らしく生活することを支える脳のはたらき(感情、記憶、思考、意欲など)(玉木 敦子)(12月19日金曜日)2限				
13. コミュニケーションをとる: コミュニケーションに必要な身体の働き(感覚器、脳、発声、構音、ジェスチャー)(横内 光子)(1月9日金曜日)2限				

科目名	生活と身体	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中岡 亜希子、玉木 敦子、高橋 秋絵、横内 光子、菅野 由美子、笹谷 真由美、西原 詩子、小枝 美由紀、峰 博子、上田 志津恵、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 各回で課せられる課題(事前課題、小テスト、事後課題など) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内やmanabaを利用してフィードバックを行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:事前課題・小テスト・事後課題・グループワーク 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:事前課題・小テスト・事後課題・グループワーク 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:事前課題・小テスト・事後課題・グループワーク [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:事前課題・小テスト・事後課題・グループワーク 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:事前課題・小テスト・事後課題・グループワーク [教科書(ISBN)] 書籍名:看護形態機能学 第4版 著者名:菱沼典子 著 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN: [参考書(ISBN)]			

P11200890 [NNB1-001]

科目名	精神看護支援技術演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	高橋 秋絵、精神分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他	ロールプレイ	実務経験のある教員による授業	○	

〔到達目標〕

1. 精神科領域における治療的アプローチと看護の役割について説明できる。
2. さまざまな精神障がいのある病態、症状、治療などが生活や対人関係に及ぼす影響と、精神障がいをもつ人の体験について説明できる。
3. 精神健康状態のアセスメント技術を身につけることができる。
4. 精神障がいをもつ人への看護実践について、セルフケアモデルに沿ったアセスメントと看護援助方法を身につけることができる。
5. ロールプレイやプロセスレコードを用いて、他者理解、自己洞察、相互作用の理解を深めながら、人間関係を構築するための態度とコミュニケーション技術を習得する。

〔授業概要〕

さまざまな精神障がいのある病態、症状、治療などが生活や対人関係に及ぼす影響と、精神障がいをもつ人の体験を理解する。また精神障がいをもつ人への看護実践について、精神健康状態のアセスメント技術、セルフケアモデルに沿ったアセスメントと看護援助方法を学ぶ。さらにロールプレイやプロセスレコードを用いて、他者理解、自己洞察、相互作用の理解を深めながら、人間関係を構築するための態度とコミュニケーション技術を習得する。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

各回の演習についての予習・復習を2時間程度行うこと。
前期授業終了時まで、ワークシート課題を提示する。また各ワークシート内に提出期限を示してあるので期限までに取り組むこと。
また、精神障がいをもつ人の体験について、手記やドキュメンタリー・映画を積極的に視聴し理解に努めること。

〔授業計画〕

1. 精神状態をアセスメントする方法を学ぶ(高橋秋絵)(9月24日水曜日)3限
2. 精神科領域における治療的アプローチと看護援助を概観する(高橋秋絵)学外特別講師(9月24日水曜日)4限
3. 急性期・慢性期の統合失調症患者について、症状や治療が生活に及ぼす影響を理解し、必要とされる看護援助を学ぶ(高橋秋絵)(10月1日水曜日)3限
4. 患者-看護師関係と治療的コミュニケーションについて、ロールプレイを通して体験的に学ぶ(高橋秋絵)(10月1日水曜日)4限
5. プロセスレコードを用いたコミュニケーション演習を行い、治療的コミュニケーションについて学ぶ(高橋秋絵)(10月8日水曜日)3限
6. 気分症をもつ患者について、症状や治療が生活に及ぼす影響を理解し、必要とされる看護援助を学ぶ(高橋秋絵)(10月8日水曜日)4限
7. 不安症をもつ患者について、症状や治療が生活に及ぼす影響を理解し、必要とされる看護援助を学ぶ(高橋秋絵)(10月13日月曜日)3限
8. 神経発達症をもつ患者について、障害特性が生活に及ぼす影響を理解し、必要とされる看護援助を学ぶ(高橋秋絵)(10月13日月曜日)4限
9. パーソナリティ症をもつ患者について、症状や治療が生活に及ぼす影響を理解し、必要とされる看護援助を学ぶ(高橋秋絵)(10月15日水曜日)3限
10. 依存症をもつ患者について、症状や治療が生活に及ぼす影響を理解し、必要とされる看護援助を学ぶ(高橋秋絵)(10月15日水曜日)4限
11. 試験(10月22日水曜日)3限
12. 精神看護における看護展開について少人数グループで事例演習を行う(①患者情報をセルフケアモデルに基づいて整理する)(高橋秋絵)(10月22日水曜日)4限
13. 精神看護における看護展開について少人数グループで事例演習を行う(②セルフケアモデルに基づいたアセスメントを行う)(高橋秋絵)(11月5日水曜日)1限
14. 精神看護における看護展開について少人数グループで事例演習を行う(③アセスメントに基づいて看護援助を考察する)(高橋秋絵)(11月5日水曜日)2限

科目名	精神看護支援技術演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高橋 秋絵、精神分野助手		

〔 成績評価方法 〕

試験(80%)、レポート(10%)、授業への取り組み(10%)を総合的に評価する。

〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕

試験やレポートの学生へのフィードバックは、採点后に全体的なコメントを示すことにより行う。

〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

〔 メールアドレス 〕

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕

学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力)

人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。

成績評価方法:試験、レポート

学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解)

生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。

成績評価方法:試験、レポート

学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力)

自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。

成績評価方法:試験、レポート

学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力)

保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。

成績評価方法:試験、レポート

〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:レポート、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:レポート、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:レポート、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:レポート、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:レポート、授業への取り組み

〔 教科書(ISBN) 〕

書籍名:精神看護学 1 第6版 著者名:吉松 和哉 編集 出版社名:ヌーヴェルヒロカワ ISBN:9784861740640

書籍名:精神看護学 2 第6版 著者名:川野 雅資 編集 出版社名:ヌーヴェルヒロカワ ISBN:9784861740657

書籍名:精神看護学 第3版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 著者名:田中 美恵子 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263710708

書籍名:僕らのことばをぼけっとに 著者名:こころの絵本プロジェクト実行委員会 出版社名:特定非営利活動法人すまみらい ISBN:

〔 参考書(ISBN) 〕

P11201460 [NNB2-015]

科目名	精神看護論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	玉木 敦子、高橋 秋絵、精神分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 1.精神看護学の定義、目標について説明できる。 2.精神看護学の基盤となる理論や知識(心に関する諸理論、対人関係理論、セルフケア理論、リカバリーモデルなど)、倫理的態度について説明できる。 3.精神医療保健福祉に関する法制度、現状と課題について述べるができる。 4.精神医療保健福祉におけるチームアプローチと他職種との連携、看護の役割について述べるができる。 5.精神科病院、地域精神保健などさまざまな場における精神看護の役割と機能について述べるができる。			
[授業概要] 精神看護学の定義と目標、精神看護実践の基盤となる理論や知識、倫理的態度について学ぶ。また精神医療保健福祉に関する法制度、精神医療におけるチームアプローチと他職種との連携について学ぶ。さらに精神障がい者と家族を取り巻く現状、サポートシステムを学び、課題を検討する。精神科病院、地域精神保健などさまざまな場における精神看護の役割と機能について考察を深める。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習を4時間程度行うこと。自分自身や家族の心の健康、また精神状態と生活との関連に関心を持って授業内容の理解に努めること。			
[授業計画] 1.精神看護学の定義と目標を学び、精神看護に必要とされる知識と技術を概観する(玉木敦子)(4月14日月曜日)4限 2.精神力動論に基づいてこころの働きを心理学的側面から理解する(玉木敦子)(4月21日月曜日)4限 3.視聴覚教材を用いて、脳科学的視点からこころの働きを理解する(玉木敦子)(4月28日月曜日)4限 4.患者-看護師関係と治療的コミュニケーションに関する理論を理解し、それに基づいた精神看護の実践を学ぶ(玉木敦子)(5月9日金曜日)2限 5.セルフケア理論を理解し、それに基づいた精神看護の実践を学ぶ(玉木敦子)(5月16日金曜日)2限 6.リカバリーモデルを理解し、それに基づいた精神看護の実践を学ぶ(玉木敦子)(5月23日金曜日)2限 7.精神医療保健福祉に携わる多職種の役割やチームアプローチについて学ぶ(高橋秋絵)(5月30日金曜日)2限 8.ウィメンズ・メンタルヘルスについて学ぶ(玉木敦子)(6月6日金曜日)2限 9.精神障害のある児童・思春期の患者への看護について学ぶ(玉木敦子)(6月13日金曜日)2限 10.身体疾患をもつ人のメンタルヘルスについて学ぶ(玉木敦子)(6月20日金曜日)2限 11.精神医療保健福祉の国内外の現状を概観し、課題と看護の役割について検討する(玉木敦子)(6月27日金曜日)2限 12.精神看護におけるリスクマネジメントと人権擁護について学ぶ(玉木敦子)(7月4日金曜日)2限 13.精神障がいをもつ患者の看護援助の実際について、当事者の体験から理解する(高橋秋絵)学外特別講師(7月11日金曜日)2限 14.試験(7月18日金曜日)2限			

科目名	精神看護論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	玉木 敦子、高橋 秋絵、精神分野助手		
[成績評価方法] 試験 (80%) : 小テスト15%、期末テスト65%、レポート (20%) を総合的に評価する。 * 20分以上の遅刻は欠席として取り扱う			
[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法] * レポートや試験の学生へのフィードバックは、採点后に全体的なコメントを示すことによって行う。			
[オフィスアワー (質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]			
学科DP番号 / DP内容: 看護1-2 / (科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 試験、レポート			
学科DP番号 / DP内容: 看護1-3 / (人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法: 試験、レポート			
学科DP番号 / DP内容: 看護2-1 / (人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: 試験、レポート			
学科DP番号 / DP内容: 看護2-3 / (倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法: 試験、レポート			
学科DP番号 / DP内容: 看護3-2 / (協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法: 試験、レポート			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 自己理解 / 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート			
教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 協働性 / 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する (協働する) 能力・姿勢 成績評価方法: レポート			
教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 多様性理解 / 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート			
教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 表現力 / 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート			
教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 論理的思考力 / 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート			
教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 問題発見力 / 現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: レポート			
[教科書 (ISBN)] 書籍名: 精神看護学 1 第6版 著者名: 吉松 和哉 編集 出版社名: ヌーヴェルヒロカワ ISBN: 9784861740640 書籍名: 精神看護学 2 第6版 著者名: 川野 雅資 編集 出版社名: ヌーヴェルヒロカワ ISBN: 9784861740657 書籍名: 精神看護学 第3版 学生・患者のストーリーで綴る実習展開 著者名: 田中 美恵子 出版社名: 医歯薬出版 ISBN: 9784263710708 書籍名: 僕らのことばをばけっくに 著者名: こころの絵本プロジェクト実行委員会 出版社名: 特定非営利活動法人すまみらい			

科目名	生命倫理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	池辺 寧、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 生と死に関わる倫理的諸問題を理解し、自身の考えを述べることができる。 多様な人生観・価値観を理解し、医療現場で直面する倫理的諸問題について、倫理的な考え方に依拠して対応策を立てることができる。			
[授業概要] 医療行為は患者の身体や生命、患者や患者の家族の人生に深く関わる。それだけに医療行為に携わる者には、医学・看護学に関する専門的な知識や技術だけでなく、人間に対する深い認識や高い倫理的意識をもつことが求められる。しかも今日、生命科学や医療技術の発達に伴って、従来の生命観や価値観では対応できない場面や、技術的に可能なことと倫理的に容認されることのあいだにどのような折り合いをつけていけばよいのかが問われる場面が多々生じている。本講義では、現代医療をめぐる倫理的諸問題を概観しながら、患者と医療者との望ましい関係について考えていく。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の講義内容を配布資料をもとに復習するとともに、次回の講義内容について書籍やインターネットなどを手がかりにして調べ、問題点を自分なりに考えること。各回、予習・復習合わせて4時間程度。			
[授業計画] 第1回 倫理学と生命倫理学(10月2日(木)2時限) 第2回 人間の尊厳と医療(10月9日(木)2時限) 第3回 インフォームド・コンセント(10月16日(木)2時限) 第4回 患者の権利(10月23日(木)2時限) 第5回 研究倫理(10月30日(木)2時限) 第6回 ナラティブと医療(11月6日(木)2時限) 第7回 生殖補助医療の倫理的諸問題(1)―社会問題としての不妊―(11月13日(木)2時限) 第8回 生殖補助医療の倫理的諸問題(2)―体外受精―(11月20日(木)2時限) 第9回 生殖補助医療の倫理的諸問題(3)―代理出産―(11月27日(木)2時限) 第10回 出生前診断の倫理的諸問題(12月4日(木)2時限) 第11回 人工妊娠中絶の倫理的諸問題(12月11日(木)2時限) 第12回 移植医療の倫理的諸問題 (12月18日(木)2時限) 第13回 終末期医療の倫理的諸問題 (1月8日(木)2時限)			

科目名	生命倫理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	池辺 寧、教務助手		
[成績評価方法] 毎回のミニッツペーパー(30%)と期末試験(70%)により評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義開始時に、前回のミニッツペーパーについてコメントする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をととして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:看護学生のための医療倫理 著者名:盛永 審一郎 出版社名:丸善出版 ISBN:9784621085424 書籍名:教養としての生命倫理 著者名:村松 聡 出版社名:丸善出版 ISBN:9784621300244 書籍名:いまを生きるための倫理学 著者名:盛永 審一郎 出版社名:丸善出版 ISBN:9784621304419			

科目名	生命倫理		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	池辺 寧、教務助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 生と死に関わる倫理的諸問題を理解し、自身の考えを述べることができる。 多様な人生観・価値観を理解し、医療現場で直面する倫理的諸問題について、倫理的な考え方に依拠して対応策を立てることができる。				
[授業概要] 医療行為は患者の身体や生命、患者や患者の家族の人生に深く関わる。それだけに医療行為に携わる者には、医学・看護学に関する専門的な知識や技術だけでなく、人間に対する深い認識や高い倫理的意識をもつことが求められる。しかも今日、生命科学や医療技術の発達に伴って、従来の生命観や価値観では対応できない場面や、技術的に可能なことと倫理的に容認されることのあいだにどのような折り合いをつけていけばよいのかが問われる場面が多々生じている。本講義では、現代医療をめぐる倫理的諸問題を概観しながら、患者と医療者との望ましい関係について考えていく。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の講義内容を配布資料をもとに復習するとともに、次回の講義内容について書籍やインターネットなどを手がかりにして調べ、問題点を自分なりに考えること。各回、予習・復習合わせて4時間程度。				
[授業計画] 第1回 倫理学と生命倫理学(10月2日(木)2時限) 第2回 人間の尊厳と医療(10月9日(木)2時限) 第3回 インフォームド・コンセント(10月16日(木)2時限) 第4回 患者の権利(10月23日(木)2時限) 第5回 研究倫理(10月30日(木)2時限) 第6回 ナラティブと医療(11月6日(木)2時限) 第7回 生殖補助医療の倫理的諸問題(1)―社会問題としての不妊―(11月13日(木)2時限) 第8回 生殖補助医療の倫理的諸問題(2)―体外受精―(11月20日(木)2時限) 第9回 生殖補助医療の倫理的諸問題(3)―代理出産―(11月27日(木)2時限) 第10回 出生前診断の倫理的諸問題(12月4日(木)2時限) 第11回 人工妊娠中絶の倫理的諸問題(12月11日(木)2時限) 第12回 移植医療の倫理的諸問題(12月18日(木)2時限) 第13回 終末期医療の倫理的諸問題(1月8日(木)2時限)				

科目名	生命倫理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	池辺 寧、教務助手		
[成績評価方法] 毎回のミニッツペーパー(30%)と期末試験(70%)により評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義開始時に、前回のミニッツペーパーについてコメントする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ミニッツペーパーと期末試験により評価する。 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)] 書籍名:看護学生のための医療倫理 著者名:盛永 審一郎 出版社名:丸善出版 ISBN:9784621085424 書籍名:教養としての生命倫理 著者名:村松 聡 出版社名:丸善出版 ISBN:9784621300244 書籍名:いまを生きるための倫理学 著者名:盛永 審一郎 出版社名:丸善出版 ISBN:9784621304419			

科目名	総合実習(地域・在宅)		前期	4 単位
サブタイトル			実習	
担当者	小坂 素子、藤原 由子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、高橋 秋絵、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、中岡 亜希子、西原 詩子、関尾 裕子、吉原 文子、高呂 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、坂口 のぐみ、今野 睦美、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標]				
1. 対象者を全人的に理解し、健康課題と生活との関連性を考えることができる 2. 対象の特性に応じた計画的な看護を実践しながら、地域・在宅における看護の継続性を考えることができる 3. 対象者の生活背景に応じた援助、社会資源の活用、多職種や多施設との連携・調整を学ぶことができる 4. 実習での体験や学びとこれまで学んだ知識や技術を統合し、看護専門職としての役割を考察することで、自己の課題を明らかにすることができる				
[授業概要]				
地域で生活しているさまざまな健康レベルの対象者を全人的に理解し、その特性に応じた計画的な看護を実践する能力を養うとともに、地域・在宅における看護の継続性を学ぶ。保健医療福祉施設における入退院調整や地域・在宅での看護活動の場面にできるだけ参加し、生活背景に応じた援助、社会資源の活用、多職種や多施設との連携・調整などさまざまな看護活動を学び、担当する対象者への看護に統合していく。また、看護専門職としてさまざまな健康レベルの対象者やその人を取り巻く保健・医療・福祉システムにおける課題を見出し、よりよい看護を実践するための視点と態度を養う。さらに、実習での体験や学びとこれまでに学んだ知識や技術を統合し、看護専門職としての役割を考察することで、自己の課題を明らかにする。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
事前に実習する施設の利用者の特徴を調べ、利用者の看護を行うための事前学習をしたうえで臨むこと。健康状態を十分調整したうえで参加すること。				
[授業計画]				
・原則として、複数の対象者を受持ち、個別的な看護過程を展開する。 ・地域・在宅における看護の継続性を視野に入れながら看護過程を学ぶ。 ・学生は対象者の支援チームや多職種とのコミュニケーションをとり、チームカンファレンスやミーティングに参加できるよう調整する。 ・学生の受け持つケースへのカンファレンスに可能な限り参加し、看護援助の検討、調整について学ぶ。 ・地域・在宅における看護の継続性について理解できるよう、地域連携の場面や専門外来の見学などに可能な限り同席する。 ・患者教育、健康教育、保健指導などの場面に可能な限り参加し、それらの実際や主体的な健康の維持・増進を促すための取り組みについて学ぶ。 ・保健医療施設における退院調整や地域・在宅での看護活動の場面などに可能な限り同行し、地域で人がどのように療養し、どのような援助が必要であるかを学ぶ。				

科目名	総合実習(地域・在宅)	前期	4 単位
サブタイトル		実習	
担当者	小坂 素子、藤原 由子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、高橋 秋絵、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、中岡 亜希子、西原 詩子、関尾 裕子、吉原 文子、高尾 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、坂口 めぐみ、今野 睦美、基礎分野助手、生活援助分野助手、老年分野助手、地域在宅分野助手、精神分野助手、成人分野助手、母性分野助手、小児分野助手		
[成績評価方法] 実習のねらいに関する到達度(80%)レポート・記録物の提出(20%)			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート・記録物は後日添削したものを開示します。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]			
学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナルリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
[この授業と関連する大学全体の教育目標]			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			
教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習のねらいに関する到達度、レポート・記録物			

科目名	地域看護活動論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小坂 素子、地域在宅分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1.地域看護および公衆衛生看護活動における看護の基本と展開方法を理解する。 2.各ライフステージ、発達課題、健康レベル、場の特性に応じた保健活動を理解する。 3.対象別保健活動の法的根拠や制度、関係機関との連携、社会資源の活用について理解する。				
[授業概要] わが国における健康課題と地域特性・対象特性との関連を理解すると共に、課題解決にむけた地域看護活動を学ぶ。地域で生活しているさまざまな健康レベル・ライフステージにある対象の特性にあわせて展開されている看護活動を学ぶ。さらにグローバルな視点を持つために、国際・災害看護についても学ぶ。母子保健・成人保健・高齢者保健・精神保健・障害者(児)保健・難病保健・感染症対策・国際看護(保健)・健康危機管理(災害看護含む)・産業保健・学校保健などにおけるヘルスケアシステムや施策、関係法規、社会資源等と保健活動を学ぶ。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・次の授業テーマに沿って教科書を事前に読んでおくこと。 ・授業に関係するニュース(テレビ、新聞、雑誌、インターネット等)に関心を持ち、情報を収集する。 ・授業ノートをつくって、上記の学習、授業の復習を蓄積していく。 (試験日にノートを提出した人は内容に応じて加点します) 1回の授業に予習復習ふくめて3時間程度の学習は必要です。				
[授業計画] 1. 地域看護の考え方と位置づけ:各ライフステージにおける発達課題と看護、ライフステージにおける保健・医療・福祉の構造、法律・制度について理解する。(4月9日水曜日3限) 2. 母子保健活動①:母子保健における発達課題、社会背景、法律、制度、保健活動の展開を学ぶ(主としてポピュレーションアプローチについて学ぶ)。(4月9日水曜日4限) 3. 母子保健活動②:支援のニーズが高い親子の健康課題と支援について学ぶ(ハイリスクアプローチについて学ぶ)。(4月16日水曜日3限) 4. 成人保健活動:成人保健における発達課題、社会背景、法律、制度、保健活動の展開を学ぶ。(4月16日水曜日4限) 5. 高齢者保健活動:高齢者保健における発達課題、社会背景、法律、制度、地域包括ケア、保健活動の展開を学ぶ。(4月23日水曜日3限) 6. 障害児・者保健活動:障害児・者保健における障害の定義、社会背景、法律、制度、保健活動の展開を学ぶ。(4月23日水曜日4限) 7. 難病保健活動:難病保健における難病の定義、社会背景、法律、制度、保健活動の展開を学ぶ。(5月7日水曜日3限) 8. 精神保健活動:精神保健福祉活動における社会背景、法律、制度、保健活動の展開を学ぶ。(5月7日水曜日4限) 9. 感染症保健活動:感染症保健における社会背景、法律、制度、感染症対策の展開を学ぶ。(5月14日水曜日3限) 10. 健康危機管理(災害保健)活動:健康危機管理における社会背景、法律、制度、保健活動の展開を学ぶ。(5月14日水曜日4限) 11. 産業保健活動:産業保健における社会背景、法律、制度、保健活動の展開を学ぶ。(5月21日水曜日3限) 12. 学校保健活動:学校保健における社会背景、法律、制度、保健活動の展開を学ぶ。(5月21日水曜日4限) 13. 国際看護(保健)活動:国際看護(保健)における社会背景、法律、制度、保健活動について学ぶ。(学外特別講師)(5月28日水曜日3限) 14. 試験:筆記試験(6月4日水曜日3限)				
使用教室 F304				

科目名	地域看護活動論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小坂 素子、地域在宅分野助手		
〔 成績評価方法 〕 筆記試験 (70%)、授業参加態度・課題レポート (30%) ＊遅刻20分で欠席とみなす 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 試験は原則として採点后、manabaに解説を掲示する。課題レポートはmanabaに評価等を掲示する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:筆記試験、授業参加態度・課題レポートで評価 〔 教科書 (ISBN) 〕 書籍名:対象別公衆衛生看護活動 第5版 著者名:中谷 芳美 出版社名:医学書院 ISBN:9784260053037 書籍名:公衆衛生がみえる 著者名:医療情報科学研究所 出版社名:メディックメディア ISBN: 〔 参考書 (ISBN) 〕 書籍名:公衆衛生看護学 第4版 著者名:上野昌江 出版社名:中央法規 ISBN:9784824301758			

P11201230 [NNB3-005]

科目名	地域における助産支援		前期	1 単位
サブタイトル			講義	
担当者	服部 律子、峰 博子、母性分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
[到達目標] 1.わが国の地域母子保健の変遷と女性、母子、家族の健康の現状と動向を理解する。 2.産後4か月までの母子の健康状態をアセスメントする視点を学ぶ。 3.地域で生活する女性、母子および家族の課題や支援の実際について理解する。 4.地域で生活する女性、母子および家族を支援する助産師の役割、地域で活動する多職種や組織との連携・協働、関連制度について理解する。 5.周産期における家庭訪問や産後健診の目的、意義を理解し、家庭訪問に必要な知識技術などを学ぶ。 6.これからの母子保健における助産師の役割と活動について考察できる。				
[授業概要] 地域社会で生活する女性、母親、新生児から4か月程度までの子ども、父親や家族への健康支援に必要な知識や理論、技術を学び、地域における助産師の支援について理解を深める。また、母子保健医療福祉活動における多職種や組織との連携・協働について学び、助産師の役割や活動について理解を深める。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 社会福祉・社会保障論、社会福祉・社会活動論、母性看護論、女性の健康増進と看護、小児看護論、家族看護論の内容を復習して授業に参加すること。				
[授業計画] 1. わが国における母子保健医療福祉制度の変遷および現状と課題。生涯を通じた女性の健康支援と助産師の役割。子育て支援における切れ目のない支援を目指した助産師の役割 (4/8 火Ⅲ)(服部) 2. 産後4か月までの母子の健康状態の理解と育児支援(4/15 火Ⅲ)(服部) 乳幼児の成長発達と育児支援 3. ハイリスク妊産婦と家族への支援の実際、多胎児を生み育てる家族への支援、 低出生体重児の育児支援 (4/22 火Ⅲ)(服部) 4. 妊娠期からの育児支援 子ども虐待防止における助産師の役割 妊娠期からの母乳育児支援(5/13 火Ⅲ)(服部) 5. 地域助産師の妊産婦と家族への家庭訪問などの実際(5/20 火Ⅲ 谷川裕子 学外特別講師) 6. 地域における多職種と連携・協働して行う周産期の母子と家族への健康支援の実際(5/27 火Ⅲ)(峰) 7. 先天性の疾病や障がいをもつ児の誕生や周産期の喪失への看護(6/3 火Ⅲ)(服部) 8. 試験とまとめ (6/17 火Ⅲ)				

科目名	地域における助産支援	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	服部 律子、峰 博子、母性分野助手		
[成績評価方法] 試験(60%) 課題レポート(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] メールで直接質問してください。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:試験(60%) 課題レポート(40%) [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	治療看護論		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	奥井 早月、関尾 裕子、高呂 節子、小野 聖子、西原 翼、成人分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 1.看護の対象となる人に関心を持つことができる。 2.看護ヘルスアセスメントの目的と意義がわかる。 3.看護ヘルスアセスメントを計画・実施し、看護の対象となる人の反応をとらえることができる。 4.薬物療法を中心とする治療支援技術(薬物療法や効果判断に関する検査、治療選択における自己決定、病気をとらえていくうえでの情報管理など)を学び、看護の役割について考えることができる。 [授業概要] 「人体のしくみと機能」「疾病と治療」などで学んだ知識を活用し、看護の対象となる人の反応をとらえる方法を学ぶ。具体的には、フィジカルアセスメントや看護ヘルスアセスメントを学生同士で計画・実践したり、薬物療法を中心とする治療支援技術について考えたりすることを通して、人の健康回復を支援するために必要な知識と技術を習得することを目的とする。 本科目は、看護実践の経験を持つ教員が、看護の対象となる人の反応をとらえるアセスメント技術の習得を支援する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・各回、2時間程度の予習と復習が必要である。事前課題や事後課題の内容については、第1回目に伝える。 ・既習科目の「人体のしくみと機能Ⅰ・Ⅱ」「看護学概論」「生活概論」「生活援助論」、また同学期に学ぶ「疾病と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「薬理学」で学んだことを復習し、演習で学ぶこととの関連について考えておくこと。 [授業計画] 1. 看護ヘルスアセスメントの目的と意義(4/9・3限・F210/F529) 2. 酸素を取り込む機能のアセスメント(4/9・4限・F417/F419/F529)脳が得た情報を元に指令を出して呼吸筋が収縮すると、空気が気管を通して肺へ入る。肺胞で、二酸化炭素と交換で取り込まれた酸素は、血液を介して全身を巡るといった人が酸素をとり込む機能のアセスメントする方法を学ぶ。 3. 酸素を取り込む機能のアセスメントする技術の実践(4/16・3限・F417/F419/F529)呼吸状態の観察(視診)と聴診技術を実践する。 4. 循環機能のアセスメント(4/16・4限・F417/F419/F529)酸素や栄養など、とり込んだものを循環・流通する機能のアセスメントする技術を学ぶ。 5.循環機能のアセスメントする技術の実践(4/23・3限・F417/F419/F529)血圧測定、動脈を触知する技術、心音を聴診する技術を実践する。 6. 栄養を取り込み、不要なものを排泄する機能のアセスメント(6/4・3限・F417/F419/F529)食べ物を咀嚼して飲み込み、消化・吸収して蓄えるといった、人が生きていく上で欠かせない栄養供給の機能のアセスメントする技術を学ぶ。 7. 栄養を取り込む機能のアセスメントする技術の実践(6/11・3限・F417/F419/F529)腹部の視診、聴診、打診技術を実践する。 8.脳神経機能のアセスメント(6/11・4限・F417/F419/F529)末梢にある感覚器と中枢神経の間で情報がやり取りされ、身体が反応を表現するといった脳神経機能のアセスメントする技術を学ぶ。 9.脳神経機能のアセスメントする技術の実践(6/18・3限・F417/F419/F529)瞳孔の観察、対光反射、表情の観察、MMTの測定、麻痺スクリーニング法を実践する。 10.身体を守る機能のアセスメント(6/18・4限・F417/F419/F529)身体は皮膚によって区別され、身体の内側は維持されている。また皮膚は、外側から侵入する異物から身体を守っている。これらの機能のアセスメントする技術(乳房の視診と触診、リンパ節の触知、皮膚の観察、浮腫の観察)を学ぶ。 11. 身体を守る機能のアセスメントする技術の実践(6/25・3限・F417/F419/F529)皮膚を観察する問診技術を学生同士で実践しながら、問診に含むべき要素や問診技術のポイントを学ぶ。さらに、問診で明らかになったことからケアを導き出す過程を学ぶ。 12. 生活の質(Quality of Life:QOL)を維持する技術(6/25・4限・F210/F529)薬物を投与することにより、病気の原因を除去したり、症状の緩和を図ったりして対象者のQOLを促進する方法が薬物療法である。薬物療法にかかわる看護師の役割について考察する。 13.生命を維持する技術(Aクラス:7/2・3限・F417/F419、Bクラス:7/2・4限・F417/F419)急に倒れた人に対して、その場に居合わせた人が救急隊や医師に引継ぐまでの間に行う応急手当のことを一次救命処置(Basic Life Support:BLS)という。成人および子どもを対象としたBLSに必要な知識と技術を学ぶ。				

科目名	治療看護論	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥井 早月、関尾 裕子、高呂 節子、小野 聖子、西原 翼、成人分野助手		
〔 成績評価方法 〕 ・学習した知識を問うための小テストや課題レポート(50%) ・技術学習に向かう態度(事前課題や事後課題、演習への参加度)(50%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 課題レポートおよび、事前課題や事後課題については、教員が添削して後日返却する。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、課題レポート、技術学習に向かう態度 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:日常生活行動からみるヘルスアセスメント 著者名:大久保暢子 編 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818019850 書籍名:看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 著者名:医療情報科学研究所 編集 出版社名:メディックメディア ISBN:9784896327816 書籍名:看護形態機能学 第4版 著者名:菱沼典子 著 出版社名:日本看護協会出版会 ISBN:9784818020610 〔 参考書(ISBN) 〕 書籍名:実践基礎看護学 著者名:中西睦子監修 出版社名:建帛社 ISBN:978-4767934013			

P11201420 [NNB2-013]

科目名	治療療養支援技術演習		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	横内 光子、奥井 早月、藤原 由子、関尾 裕子、高呂 節子、小野 聖子、西原 翼、成人分野助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 1.看護技術の対象となる人の身体機能や生活に合わせた看護技術の展開を、考えることができる。 2.演習で学んだ看護技術を、練習用モデル人形に正確に実施することができる。 3.看護技術の根拠を追求する姿勢や、仲間と協力して学ぶ態度を身につけることができる。 [授業概要] 本科目では、医療機関で治療を受ける人の健康回復に必要な看護技術(静脈内注射、筋肉注射、酸素療法、気管内吸引、導尿)と、健康状態をモニタリングするために必要な看護技術(静脈採血、心電図)の習得を目指す。 看護実践の経験を持つ教員が、看護技術の対象となる人の身体機能や生活に合わせた看護技術の展開方法や、看護技術の根拠を追求する姿勢・態度について教授する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・各回、予習と復習をあわせて2時間程度。事前課題の内容については、事前にmanabaで伝える。 ・既習科目のなかでも特に、人体のしくみと機能Ⅰ・Ⅱ、看護学概論、疾病と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学を復習しておくこと。 [授業計画] 1.静脈採血(Aクラス:4/9・1限・F419)(Bクラス:4/9・2限・F419)医療機関で静脈採血が必要とされる状況を知り、静脈採血を安全に行うために必要な知識を学ぶ。また採血や注射に使用する道具の選び方、針を穿刺する部位や刺入角度など静脈採血技術のポイントを学び、練習用モデル人形に行う。 2.静脈内注射(Aクラス:4/9・2限・F205)(Bクラス:4/9・1限・F205)静脈内に薬物を安全に注入するために必要な知識を学ぶ。バイアルからの薬液の吸い上げ、滅菌操作、翼状針の固定方法と薬液を注入する速度や主な合併症など、静脈内注射技術のポイントを学び、練習用モデル人形に行う。 3.導尿・膀胱留置カテーテル法(Aクラス:4/16・1限・F417)(Bクラス:4/16・2限・F417)導尿が必要になる患者の状態を理解し、合併症を予防するなど安全に導尿を行うための知識を学ぶ。滅菌操作、患者の羞恥心や苦痛への配慮など導尿技術のポイントを学び、練習用モデル人形に行う。 4.筋肉注射(Aクラス:4/16・2限・F205)(Bクラス:4/16・1限・F205)筋肉内に薬物を安全に注入するために必要な知識を学ぶ。アンプルからの薬液の吸い上げ、滅菌操作、針を穿刺する部位と刺入角度、筋肉内に薬液を注入する速度や主な合併症など筋肉注射技術のポイントを学び、練習用モデル人形に行う。 5.導尿・膀胱留置カテーテル法(Aクラス:4/23・1限・F417)(Bクラス:4/23・2限・F417)導尿が必要になる患者の状態を理解し、合併症を予防するなど安全に導尿を行うための知識を学ぶ。滅菌操作、患者の羞恥心や苦痛への配慮など導尿技術のポイントを学び、練習用モデル人形に行う。 6.酸素療法(Aクラス:4/23・2限・F419)(Bクラス:4/23・1限・F419)酸素吸入療法が必要になる患者の状態を理解し、酸素吸入療法を効果的に行うための知識と技術のポイントを学ぶ。酸素吸入療法に使用される道具や、酸素ボンベの扱い方についても学ぶ。 7.気管内吸引(Aクラス:5/14・1限・F417/F419)(Bクラス:5/14・2限・F417/F419)人工気道があるなど、呼吸機能が低下した患者を対象とした気管内吸引の技術、吸入技術に必要な知識とポイントを学ぶ。 8.心電図(Aクラス:5/21・2限・F417)(Bクラス:5/21・1限・F417)心電図を記録する目的を知り、心電図を記録する方法と心電図の読み方を学ぶ。 9.技術練習(技術グループごとに5/28・1限または2限・F417/F419)これまで学習した技術を練習用モデル人形に実践し、繰り返し練習する。 10.技術チェック①(6/11・1限・F304/F421/F417/F419)静脈採血、静脈内注射の技術を練習用モデル人形に実施し、教員からフィードバックを受ける。 11.技術チェック②(6/11・2限・F304/F421/F417/F419)筋肉注射、酸素療法の技術を練習用モデル人形に実施し、教員からフィードバックを受ける。 12.技術チェック③(6/18・1限・F304/F421/F417/F419)気管内吸引、心電図の技術を練習用モデル人形に実施し、教員からフィードバックを受ける。 13.技術チェック④(6/18・2限・F304/F421/F417/F419)導尿の技術を練習用モデル人形に実施し、教員からフィードバックを受ける。 * 筆記試験(6/25・1限・F304) * 技術チェック①②③④が不合格の学生は、最終技術チェック(6/25・2限・F419)を必ず受けること。				

科目名	治療療養支援技術演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	横内 光子、奥井 早月、藤原 由子、関尾 裕子、高呂 節子、小野 聖子、西原 翼、成人分野助手		
[成績評価方法] 技術チェックの結果(60%)、筆記試験(40%)を総合して評価を行う。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・治療援助技術については、授業中にフィードバックを行う。 ・事前事後課題は、教員が添削して後日返却する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理の実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:技術チェックの結果と筆記試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:看護がみえる vol.2 臨床看護技術 著者名:医療情報科学研究所 編集 出版社名:メディックメディア ISBN:9784896327342 書籍名:看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 著者名:医療情報科学研究所 編集 出版社名:メディックメディア ISBN:9784896327816 書籍名:系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ 第17版 著者名:有田清子 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-02760-1 [参考書(ISBN)]			

P11201430 [NNB3-016]

科目名	発達心理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	ミニコメントへのフィードバック内容に関して、受講生と担当者が意見交換等をおこない理解の定着を図る。	実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 生涯にわたって発達する人間の姿を、その個人を取り巻く環境(家庭、園や学校、職場や地域社会など)との相互作用という観点から理解できるようになる。			
[授業概要] 従来、人は成人期を過ぎると様々な面で衰退すると捉えられていた。しかし、私たちは加齢とともに、自己の変化と外界との関係を踏まえて、最適な行動を選択・工夫することによって自己を発達させつづける存在であることが明らかにされてきた。そこで、期間の前半は、科学的根拠にもとづきながら、成人期に至るまでの乳幼児・子ども・青年がどのように自己を発達させていくのかを、彼らが育つ環境(家庭環境や教育環境など)のあり方との関係の中で論じていく。期間の後半は、大人が就職、結婚・出産・育児、子の独立、退職などの重要なライフイベントを契機に、どのように自己を発達させていくのかを、社会の変化も踏まえながら論じる。最終的には、人の外界に対する統制感(自己決定)と積極的社会参加が、生涯発達にとって重要な要因であることを理解する。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業の予定に応じて、事前に授業計画予にある授業テーマやキーワードについて、各自で調べておくこと。また、授業後に提出するミニコメントが不十分な内容であったと自己判断した時は、自分で改めて考え直しておき、「最終レポート」に備えておくこと。各回、予習・復習合わせて4時間程度。			
[授業計画] 1. オリエンテーション／発達心理学を学ぶ意義 2. 自ら環境に働きかける乳幼児(1):ひと・もの・ことの理解 3. 自ら環境に働きかける乳幼児(2):社会の一員となっていく過程 4. 自己理解・他者理解にもとづく子どもの社会性 5. 多様な学びを通して発達する子どもの有能さ 6. 子ども・青年の対人関係 7. 教育システムを通じた子ども・青年の自己形成 8. これまでの自分とこれからの自分のはざままで悩む青年 9. 大人の自己形成(1):就業を契機とした役割アイデンティの発達 10. 大人の自己形成(2):妊娠・出産・育児と女性のエンパワメント 11. 大人の自己形成(3):ワークライフバランスと夫婦関係の成熟 12. 大人の自己形成(4):地域活動への参加を通じたエンパワメント 13. 講義全体のまとめ			

科目名	発達心理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの、教務助手		
[成績評価方法] 毎回の講義時間の最後に記述・提出する「ミニコメント又は小テスト」の内容(65%)および「最終レポート」の内容(35%)によって評価する。 上記の合計で100%となる。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ミニコメントや小テストについてのフィードバック(解説等)は、次の授業の冒頭で説明する。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力)人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:授業中のミニコメント・小テスト 最終レポート 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加)社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:授業中のミニコメント・小テスト 最終レポート [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のミニコメント・小テスト 最終レポート 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のミニコメント・小テスト 最終レポート [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	フィジカルフィットネス	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	野之上 操、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 日常生活に必要な健康や体力の維持・向上を図る。			
[授業概要] より良く幸せで充実した人生を送るためには、多様な面から探求し実践していくことが必要である。古来より、「心身一如」や「健全なる精神には健全なる肉体が宿る」といわれるように、体と心は一對のものとして考えられてきた。昨今は、ストレス社会といわれ、心身のバランス(ボディ・マインド・スピリチュアル)の大切さをただ単に頭で理解しているだけではなく、自分のからだと対話することが求められている。それは、自身の体の気づきと心の気づき・・・この「気づき」学習の方法として、主に太極拳動作を用いての身体操作法、呼吸法、ヨガや気功法(中国医療気功)等を学び、人間本来が持っている自然治癒力を高め、良い生活習慣を身につけることを実践していく。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業に体調よく参加できるように日々の生活を送ること。			
[授業計画] 1. 基本姿勢・呼吸法について (9月25日木曜日)4限 2. 太極拳基本動作実践(1) (10月2日木曜日)4限 3. 太極拳基本動作実践(2) (10月9日木曜日)4限 4. 中国医療気功実践(1) (10月16日木曜日)4限 5. 中国医療気功実践(2) (10月23日木曜日)4限 6. ヨガ基本と実践 (10月30日木曜日)4限 7. まとめ (11月6日木曜日)4限			

科目名	フィジカルフィットネス	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	野之上 操、教務助手		
[成績評価方法] 毎回授業後の振り返りレポート(80%)、参加態度姿勢(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でお知らせします。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

科目名	保健統計学		後期	2 単位
サブタイトル	Health Statistics		講義	
担当者	加藤 憲司			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
1. 目的に応じた統計処理を選択、実行できるようになる。				
2. 保健統計調査の概要を説明できる。				
[授業概要]				
健康の維持・増進、あるいは疾病予防などに関する種々のデータを理解するためには、集団を理解するための統計的手法が必要である。この科目ではまず統計学の基礎を学ぶとともに、わが国の衛生関係の統計資料の概要を理解する。さらに人々の健康に関連した指標や疾病予防の観点から、保健・医療における実践や研究に不可欠な統計的データの収集、分析方法などについての基礎的知識や技術を学習する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
1.前回の授業内容を復習理解して、次回授業の予習をしておくこと。				
2.Microsoft Excelを用いたデータ分析の演習を行うために必要な基礎的事項を学んでおくこと。				
3.毎回、予習復習合わせて3時間程度。				
[授業計画]				
1. データの表現 (9月 25日木曜日)5限				
2. 尺度の種類 (10月 2日木曜日)1限				
3. 評価尺度 (10月 2日木曜日)2限				
4. 母集団と標本 (10月 9日木曜日)1限				
5. 関連の指標 (10月 9日木曜日)2限				
6. 確率分布① (10月16日木曜日)1限				
7. 確率分布② (10月16日木曜日)2限				
8. 統計分析① 推定 (10月23日木曜日)1限				
9. 統計分析② 仮説検定 (10月23日木曜日)2限				
10. 統計分析③ t検定・U検定 (10月30日木曜日)1限				
11. 統計分析④ カイ2乗検定 (10月30日木曜日)2限				
12. 統計分析⑤ 相関係数の検定 (11月 6日木曜日)1限				
13. まとめ (11月 6日木曜日)2限				

科目名	保健統計学	後期	2 単位
サブタイトル	Health Statistics	講義	
担当者	加藤 憲司		
[成績評価方法] 授業後に実施する計4回の課題の合計 80% 授業態度 20% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義時間内に全体向けデモンストレーションと各学生への個別指導を行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: [教科書(ISBN)] 書籍名:疫学・保健統計 ―看護師・保健師・管理栄養士を目指す― 著者名:松本泉美・文鐘聲 編著 出版社名:建帛社 ISBN: [参考書(ISBN)]			

科目名	母性看護論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	牛越 幸子、母性分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

母性看護の対象を理解し、基本的知識を習得すると共に、母子とその家族に関する社会資源について学ぶ。周産期における母子および家族の心身社会的な経過および健康状態のアセスメントと看護ケアを理解する。

[授業概要]

周産期にある女性と新生児、父親、家族の健康に関連する諸問題を概観し、次世代の健全な育成を支援する母性看護の役割を理解する。母子の健康を理解する上で基盤となる概念や理論、母子保健に関連する法律や施策といった社会資源について学ぶ。周産期の母子に生じる生理的变化や正常からの逸脱、それらに伴う対象の反応に関する理解を深め、これらを体験しながら生活している対象が、自らの能力を活かしてこの時期をより健康に過ごすために必要な看護援助ができる能力を養う。臨床経験のある教員が、その経験を活かして母性看護のイメージが図れるような視点で講義します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

女性の身体に関する解剖と生理、特に成人における内分泌の生理について十分理解したうえで授業に参加すること(妊娠期の内分泌変化について理解しやすくなります)。疾病と治療Ⅴ(周産期学)、新生児については疾病と治療Ⅵ(小児医学)とも関連させながら各回、予習復習合わせて4時間程度を行い、授業に参加すること。

[授業計画]

1. 妊娠の成立、胎児の発育と生理、胎児付属物の機能と生理 (9月29日/月) 1限
2. 妊娠による生殖器、内分泌、全身における変化 (10月3日/金) 1限
3. 妊婦や家族の心理/社会的変化、妊婦と胎児のアセスメント (10月3日/金) 2限
4. 妊娠期における看護①妊婦と家族を対象とした看護ケアの視点および保健指導 (10月10日/金) 1限
5. 妊娠期における看護②親になるための準備教育、正常から逸脱した妊婦への看護 (10月10日/金) 2限
6. 分娩の定義と分娩の3要素、正常分娩の経過 (10月13日/月) 1限
7. 分娩経過に応じたアセスメントの視点と看護(分娩第Ⅰ期の看護)、産婦と家族の心理的变化(10月13日/月) 2限
8. 分娩経過に応じたアセスメントの視点と看護(分娩第2期・3期の看護)、正常から逸脱した産婦への看護 (10月17日/金) 1限
9. 新生児期の看護① 新生児の定義、子宮内適応現象と出生直後の新生児への看護 (10月17日/金) 2限
10. 新生児期の看護②新生児入室後から退院までの新生児の看護 (10月24日/金) 1限
11. 産褥期の看護① 産褥期の身体的変化、心理・社会的変化の特徴 (10月24日/金) 2限
12. 産褥期の看護② 産褥期のアセスメントの視点と看護 (10月31日/金) 1限
13. 正常から逸脱した産婦/新生児への看護、周産期における課題 (10月31日/金) 2限
14. 試験 (11月7日/金) 2限

科目名	母性看護論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	牛越 幸子、母性分野助手		
〔 成績評価方法 〕 試験(100%) 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 試験終了後、フィードバックします 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:試験 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院 著者名:森恵美著 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-04223-9 〔 参考書(ISBN) 〕			

科目名	学びのグループゼミⅠ		前期～後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中岡 亜希子、高橋 秋絵、藤原 由子、藤田 冬子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、西原 詩子、関尾 裕子、小坂 素子、吉原 文子、高田 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、坂口 めぐみ、今野 瞳美、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、看護助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標]				
1. 学びのグループへの参加を通して、看護や看護の対象となる人々へ関心を向けることができる 2. 看護に向き合う姿勢や態度を学ぶことができる 3. 第Ⅰ段階の実習に向けての準備性(レディネス)を整えることができる 4. 自身の将来への大まかな見通しが想像できる				
[授業概要]				
看護師免許を持つ教員が、以下の概要について演習を行う。 学びのグループゼミは、8つの学びのグループ(1グループは1～4年次生が各11～12名ずつの45名前後からなる)を編成し、授業を行う。それぞれの学びのグループには、教員が学生の学びを焦点化するためのアドバイザーとして4～5名参加する。 学びのグループゼミⅠでは主に、自身あるいは2～4年次生の実習体験を聴くことを通して、看護の対象となる人やその人の生活状況、そこで提供されている看護について考えを深めていく。また自身も学びのグループのなかで、年間学習目標や実習体験を表明する機会を得て、他者の考えを聴く姿勢や自身の考えを相手に伝える方法を学んでいく。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
学びのグループゼミⅠの授業概要を理解し、各回の授業目的を意識して必要な事前準備を行ったうえで授業に参加すること。各回、予習復習合わせて2時間程度。				
[授業計画]				
1. 学びのグループゼミⅠの意図や授業概要、到達目標についての説明、自己紹介を行い、自身の将来を想像しながら、今年度1年間の学習目標をまとめ、発表する。事前課題として学習目標のレポートを書く。(4月10日木曜日)5限 2. 第Ⅰ段階(コミュニティ看護実習Ⅰ／成育看護実習Ⅰ)の実習における2年次生の体験やディスカッションを、興味をもったことや疑問に思ったことをメモに取るなどして関心を持って聴く。また、疑問に思ったことやわからないことを積極的に質問し、ディスカッションに参加する。(4月17日木曜日)5限 3. コミュニティ看護実習Ⅰ／成育看護実習Ⅰ及び医療看護実習Ⅱ(精神)／コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)における2年次生・3年次生の看護実践報告を聴くことや、疑問に思ったこと、わからないことを積極的に質問し、ディスカッションに参加することで学びを共有する。(4月24日木曜日)5限 4. 医療看護実習Ⅰで出会った患者の入院環境、受けていた看護など、見学したことを学びのグループで発表・共有し、2年次生からアドバイスをもらいながらディスカッションを行う。グループメンバーに見学して分かったことがより深く伝わるよう、発表の内容や方法を工夫する。(9月25日木曜日)1限 5. 医療看護実習Ⅰ及び第Ⅲ段階の実習である総合実習(地域・在宅)における看護実践報告を聴くことや、疑問に思ったこと、わからないことを積極的に質問し、ディスカッションに参加することで学びを共有する。(9月25日木曜日)2限 6. 医療看護学実習Ⅱ(急性期・慢性期)／成育看護実習Ⅱ(小児・母性)の実習における3年次生の看護実践報告を聴くことや、疑問に思ったこと、わからないことを積極的に質問しながら、ディスカッションに参加する。(12月20日土曜日)1限 7. 3年次生の発表やアドバイザー兼ロールモデルとして参加している学外特別講師の意見から、ディスカッションに参加することを通して、看護や看護の対象となる人々へ関心を高め、次年度に向けての準備を行う。(12月20日土曜日)2限 8. グループ面接(1月8日木曜日)5限 使用教室 F304、F102、F205、F210、F301、F302、F310、F202				

科目名	学びのグループゼミ I	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中岡 亜希子、高橋 秋絵、藤原 由子、藤田 冬子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、西原 詩子、関尾 裕子、小坂 美子、吉原 文子、高田 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、坂口 めぐみ、今野 睦美、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、看護助手		
[成績評価方法] 単位の認定は、指定された日時に実施する「グループ面接」によって行う。 指定された期日までに、指定された方法によって提出された「学生自己評価表」「学習目標についての自己評価」による目標達成度(60%)及び、「課題レポート」によるレポート評価(40%)を基にグループ面接を行い、総合的に評価する。 尚、当該科目は、グループへの参加を通じたディスカッション形式を中心に進めるため、出席及び積極的な参加が重視されます。欠席の場合は、評価の減点対象とします。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] グループ面接で行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

P11201720 [NNI1-004]

科目名	学びのグループゼミⅡ		前期～後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中岡 亜希子、高橋 秋絵、藤原 由子、藤田 冬子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、西原 詩子、関尾 裕子、小坂 素子、吉原 文子、高田 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、坂口 めぐみ、今野 瞳美、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、看護助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標]				
1. 看護についての問いを持ち、聴くことや書くことを通して、「他者の体験から学ぶ」姿勢を身につけることができる 2. 学びのグループへの参加を通して、看護実践の思考過程と倫理的判断について考えることができる 3. 学びのグループへの参加を通して、看護の役割や拡がり(予防から治療、地域・在宅への看護の拡がり)に気づくことができる				
[授業概要]				
看護師免許を持つ教員が、以下の概要について演習を行う。 学びのグループゼミは、8つの学びのグループ(1グループは1～4年次生が各11～12名ずつの45名前後からなる)を編成し、授業を行う。それぞれの学びのグループには、教員が学生の学びを焦点化するためのアドバイザーとして4～5名参加する。 学びのグループゼミⅡでは主に、診断や治療のために入院している人への看護実践(第Ⅱ段階の実習)を学びのグループで発表・共有し、自他の看護実践における学びを記述することを通して、看護の役割や拡がりを理解するとともに、看護の思考過程や倫理的判断について考える。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
学びのグループゼミⅡの授業概要を理解し、各回の授業目的を意識して必要な事前準備を行ったうえで授業に参加すること。各回、予習復習合わせて2時間程度。				
[授業計画]				
1.学びのグループゼミⅡの意図や授業概要、到達目標についての説明する。自己紹介を行い、1年次に掲げた学習目標と第Ⅰ段階の実習経験を踏まえ、今年度1年間の学習目標をまとめ、発表する。事前課題として学習目標のレポートを書く。(4月10日木曜日)5限 2.コミュニティ看護実習Ⅰあるいは、成育看護実習Ⅰで出会った人々が生活していた環境、受けていた看護や支援など見学したことを1年次生にイメージできるような工夫をしながら学びのグループで発表し、自由にディスカッションを行う。(4月17日木曜日)5限 3.コミュニティ看護実習Ⅰ／成育看護実習Ⅰ及び医療看護実習Ⅱ(精神)／コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)での体験や看護実践を共有する場において、学習が深まるよう、他グループの発言に関心を持って聴くことや、質問することを通して「他者の体験から学ぶ」姿勢を身につける。(4月24日木曜日)5限 4.1年次生の医療看護実習Ⅰにおける体験を聴き、自身の知識や経験を生かして実習における思いや体験に共感を示しながらディスカッションに参加する。(9月25日木曜日)1限 5.医療看護実習Ⅰ及び第Ⅲ段階の実習である総合実習(地域・在宅)での体験や看護実践を共有する場において、学びの記述を繰り返し、「他者の体験から学ぶ」姿勢を身につける。(9月25日木曜日)2限 6.医療看護実習Ⅱ(急性期・慢性期)／成育看護実習Ⅱ(小児・母性)の実習における3年次生の看護実践報告を聴き、予防や治療、退院後の地域における看護の役割について意識しながらグループディスカッションに参加する。(12月20日土曜日)1限 7.3年次生の発表やアドバイザー兼ロールモデルとして参加している学外特別講師の意見を聴いて学びを記述しながら、看護実践の思考過程と倫理的判断について考える。(12月20日土曜日)2限 8. グループ面接(12月18日木曜日)5限 使用教室 F304、F102、F205、F210、F301、F302、F310、F202				

科目名	学びのグループゼミⅡ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中岡 亜希子、高橋 秋絵、藤原 由子、藤田 冬子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、西原 詩子、関尾 裕子、小坂 美子、吉原 文子、高田 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、坂口 めぐみ、今野 睦美、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、看護助手		
[成績評価方法] 単位の認定は、指定された日時に実施する「グループ面接」によって行う。 指定された期日までに、指定された方法によって提出された「学生自己評価表」「学習目標についての自己評価」による目標達成度(60%)及び、「課題レポート」によるレポート評価(40%)を基にグループ面接を行い、総合的に評価する。 尚、当該科目は、グループへの参加を通じたディスカッション形式を中心に進めるため、出席及び積極的な参加が重視されます。欠席の場合は、評価の減点対象とします。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] グループ面接で行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探索していける。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

P11201730 [NNI2-003]

科目名	学びのグループゼミⅢ		前期～後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中岡 亜希子、高橋 秋絵、藤原 由子、藤田 冬子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、西原 詩子、関尾 裕子、小坂 素子、吉原 文子、高田 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、坂口 めぐみ、今野 瞳美、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、看護助手			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 1.看護実践を表現すること、伝えることを通して、他者の存在により自己の学びを成長させることができる 2.学びのグループのディスカッションに参加し、看護実践の思考過程と倫理的判断を探究できる 3.看護専門職について考えることができる				
[授業概要] 看護師免許を持つ教員が、以下の概要について演習を行う。 学びのグループゼミは、8つの学びのグループ(1グループは1～4年次生が各11～12名ずつの45名前後からなる)を編成し、授業を行う。それぞれの学びのグループには、教員が学生の学びを焦点化するためのアドバイザーとして4～5名参加する。 学びのグループゼミⅢでは主に、これまでの講義・演習と第Ⅱ段階の実習の学びの体験の進展を元に、看護実践事例のプレゼンテーション・ディスカッションを通して、他者に伝える力、企画する力を伸ばすとともに、看護専門職としての思考力を身につける。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 学びのグループゼミⅢの授業概要を理解し、各回の授業目的を意識して必要な事前準備を行ったうえで授業に参加すること。 各回、予習復習合わせて2時間程度。				
[授業計画] 1. 学びのグループゼミⅢの意図や授業概要、到達目標についての説明する。自己紹介を行い、これまでの講義・演習や実習での経験を踏まえ、今年度1年間の学習目標をまとめ、発表する。事前課題として学習目標のレポートを書く。(4月10日木曜日)5限 2. 医療看護実習Ⅱ(精神)／コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)の実習における看護実践を表現すること、伝えることを通し自己の学びを深める。また、ディスカッションを通して、看護実践の思考過程と倫理的判断についての学びを深める。(4月17日木曜日)5限 3. コミュニティ看護実習Ⅰ／育成看護実習Ⅰ及び医療看護実習Ⅱ(精神)／コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)の学びのグループでの学びをさらに深めることができるよう、体験や看護実践を共有する場において、これまでに学習した知識や自己の体験を活用しながらディスカッションに参加する。(4月24日木曜日)5限 4. 第Ⅲ段階の実習である総合実習(地域・在宅)における4年次生の看護実践報告を聴くことや、疑問に思ったこと、わからないことは積極的に質問しながら、ディスカッションに参加する。(9月25日木曜日)1限 5. 医療看護実習Ⅰ及び第Ⅲ段階の実習である総合実習(地域・在宅)での体験や看護実践を共有する場において、積極的に質問しながらディスカッションに参加する。また、看護実践の思考過程と倫理的判断についてこれまでに学習した知識や技術、経験を活用して質問し、検討すべき課題を提案したりするなど、グループ全体の学びを促進する。(9月25日木曜日)2限 6. 学びのグループで医療看護実習Ⅱ(急性期・慢性期)、育成看護実習Ⅱ(小児・母性)の看護実践を表現すること、伝えることを通し自己の学びを深める。さらにメンバーの意見も聴く中で、ディスカッションを深め、看護実践の思考過程と倫理的判断を探究する。(12月20日土曜日)1限 7. 話し合ったことについて発表し、学びのグループでの意見交換やアドバイザー兼ロールモデルとして参加している学外特別講師の意見から、看護専門職について思考する。(12月20日土曜日)2限 8. グループ面接(1月15日木曜日)5限 使用教室 F304、F102、F205、F210、F301、F302、F310、F202				

科目名	学びのグループゼミⅢ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中岡 亜希子、高橋 秋絵、藤原 由子、藤田 冬子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、西原 詩子、関尾 裕子、小坂 美子、吉原 文子、高田 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、坂口 めぐみ、今野 睦美、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、看護助手		

[成績評価方法]

単位の認定は、指定された日時に実施する「グループ面接」によって行う。
指定された期日までに、指定された方法によって提出された「学生自己評価表」「学習目標についての自己評価」による目標達成度(60%)及び、「課題レポート」によるレポート評価(40%)を基にグループ面接を行い、総合的に評価する。
尚、当該科目は、グループへの参加を通じたディスカッション形式を中心に進めるため、出席及び積極的な参加が重視されます。欠席の場合は、評価の減点対象とします。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

グループ面接で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養)
多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。
成績評価方法:参加態度・グループ面談

学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力)
自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。
成績評価方法:参加態度・グループ面談

学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加)
社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。
成績評価方法:参加態度・グループ面談

学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力)
保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。
成績評価方法:参加態度・グループ面談

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:参加態度・グループ面談

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:参加態度・グループ面談

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:参加態度・グループ面談

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:参加態度・グループ面談

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:参加態度・グループ面談

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	学びのグループゼミⅣ		前期～後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中岡 亜希子、高橋 秋絵、藤原 由子、藤田 冬子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、西原 詩子、関尾 裕子、小坂 素子、吉原 文子、高田 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、坂口 めぐみ、今野 瞳美、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、看護助手			
〔アクティブラーニング授業〕				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
〔 到達目標 〕 1.看護の学習者として自立することができる 2.学びのグループへの参加を通して、仲間と共同する重要性を学ぶことができる 3.看護を職業としていくことや将来のキャリアについて目標を持つことができる				
〔 授業概要 〕 看護師免許を持つ教員が、以下の概要について演習を行う。 学びのグループゼミは、8つの学びのグループ(1グループは1～4年次生が各11～12名ずつの45名前後からなる)を編成し、授業を行う。それぞれの学びのグループには、教員が学生の学びを焦点化するためのアドバイザーとして4～5名参加する。 学びのグループⅣでは、1年次生、2年次生及び3年次生が行う第Ⅰ段階・第Ⅱ段階の実習経験の発表において、助言者の役割を引き受ける。さらに、看護を実践していく仲間や仲間と共同する重要性についても学ぶ。実習で抱えた臨床の看護課題への取り組みや、そのプロセスを発表して、看護の学習者として自立することについて考えを深め、看護を職業としていくことや将来のキャリアについて目標を見出す。				
〔 準備学修(予習・復習)の内容・時間 〕 学びのグループゼミⅣの授業概要を理解し、各回の授業目的を意識して必要な事前準備を行ったうえで授業に参加すること。 各回、予習復習合わせて2時間程度。				
〔 授業計画 〕 1. 学びのグループゼミⅣの意図や授業概要、到達目標についての説明する。自己紹介を行い、これまでの講義・演習や実習での経験を踏まえ、今年度1年間の学習目標をまとめ、発表する。事前課題として学習目標のレポートを書く。(4月10日木曜日)5限 2. 医療看護実習Ⅱ(精神)／コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)の学びのグループでの学びをさらに深めることができるよう、3年次生にアドバイスしながら、看護実践の思考過程と倫理的判断について話し合うべきテーマを提案するなどし、ディスカッションに参加する。(4月17日木曜日)5限 3. コミュニティ看護実習Ⅰ／育成看護実習Ⅰ及び医療看護実習Ⅱ(精神)／コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)での体験や看護実践を共有する場において、これまでの経験や学びを踏まえて下級生にアドバイスする。(4月24日木曜日)5限 4. 第Ⅲ段階の実習である総合実習(地域・在宅)で抱えた臨床の看護課題を探索的に取り組んだプロセスと結果を報告する。3年次生に看護の学習者としての自立や看護を職業としていくことについて身をもって示し、将来のキャリアについて目標を見出す。(9月25日木曜日)1限 5. 医療看護実習Ⅰ及び第Ⅲ段階の実習である総合実習(地域・在宅)での体験や看護実践を共有する場において、これまでに学習した知識や自己の体験を活用しながら下級生にアドバイスを行い、仲間と共同する重要性を学ぶ。(9月25日木曜日)2限 6. 学びのグループで医療看護実習Ⅱ(急性期・慢性期)、育成看護実習Ⅱ(小児・母性)の実習における3年次生の看護実践報告を聴くことやディスカッションを積極的に行うことで、自己の学びを深める。(12月20日土曜日)1限 7. 話し合ったことについて発表し、学びのグループで意見交換やアドバイザー兼ロールモデルとして参加している学外特別講師の意見から、看護を職業としていくことや将来のキャリアについて思考する。(12月20日土曜日)2限 8. グループ面接(12月11日木曜日)5限 使用教室 F304、F102、F205、F210、F301、F302、F310、F202				

科目名	学びのグループゼミⅣ	前期～後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中岡 亜希子、高橋 秋絵、藤原 由子、藤田 冬子、東 ますみ、玉木 敦子、内 正子、牛越 幸子、横内 光子、菅野 由美子、小路 浩子、奥井 早月、笹谷 真由美、西原 詩子、関尾 裕子、小坂 美子、吉原 文子、高田 節子、服部 律子、加藤 憲司、小西 真千子、小枝 美由紀、細川 愛美、原口 梨那、小野 聖子、峰 博子、坂口 めぐみ、今野 睦美、上田 志津恵、奥田 真梨、西原 翼、看護助手		
[成績評価方法] 単位の認定は、指定された日時に実施する「グループ面接」によって行う。 指定された期日までに、指定された方法によって提出された「学生自己評価表」「学習目標についての自己評価」による目標達成度(60%)及び、「課題レポート」によるレポート評価(40%)を基にグループ面接を行い、総合的に評価する。 尚、当該科目は、グループへの参加を通じたディスカッション形式を中心に進めるため、出席及び積極的な参加が重視されます。欠席の場合は、評価の減点対象とします。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] グループ面接で行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 学科DP番号／DP内容:看護3-2／(協働・協力) 保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していける。 成績評価方法:参加態度・グループ面談 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:参加態度・グループ面談 [教科書(ISBN)] [参考書(ISBN)]			

P11201750 [NI4-004]

科目名	慢性期看護論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	藤原 由子、関尾 裕子、成人分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	各授業終わりに事例展開の個人ワークを行う。	実務経験のある教員による授業	○

〔到達目標〕

- 1.成人期にある慢性疾患をもつ人をどのように理解していくかが分かる。
- 2.慢性期・終末期にある人の病気の体験や看護アセスメントから、健康障害による身体をどのように見ていくかが理解できる。
- 3.生活習慣病や難病、炎症性疾患、がんなどの慢性疾患にある人の健康の維持・回復、苦痛緩和への援助の方法を理解できる。

〔授業概要〕

成人期にある人の特有な健康問題のうち、慢性期・終末期の健康障害と病気と共に生きる人の体験を理解し、ケアリングの考えを基盤にした看護援助について学ぶ。慢性期にある人の病気の体験や看護アセスメントから、健康障害による身体の変化を理解する。生活習慣病や難病、炎症性疾患、がんなどの慢性疾患の人の身体理解と事例展開を通して、健康の回復・苦痛の緩和への看護援助の理論と実践、成人期にある人の健康の増進、生活習慣病の予防の看護援助の理論と実践を理解する。さらに、健康障害により終末期にある人の理解と苦痛の緩和への看護援助の実践を学ぶことにより、治療とともに終末を迎える人や緩和治療について学ぶ。
慢性看護領域の臨床経験を有する教員が、事例を踏まえて身体理解、生活支援を通じた慢性病者の理解と看護について教授する。

〔準備学修(予習・復習)の内容・時間〕

各授業において該当する教科書の内容を読んでくること。また前回の授業内容を復習し、十分に理解したうえで次回の授業へ臨むこと。毎回、予習復習合わせて4時間程度を要する。

〔授業計画〕

1. 慢性疾患の定義と特徴(藤原由子)4月14日(月)3限
 2. 呼吸器疾患のある人の看護:在宅酸素療法、呼吸リハビリテーションにおける看護(藤原由子)4月14日(月)4限
 3. 肝疾患のある人の看護:慢性肝炎を抱えながら生きる人を支援する、肝硬変に至った患者の支援(藤原由子)4月21日(月)3限
 4. 自己免疫疾患のある人の看護:甲状腺疾患、代謝障害のある人の看護(藤原由子)4月21日(月)4限
 5. 障害受容と疾病認識、障害に関する定義、神経損傷のある人の看護、病気の受容と在宅ケアの調整(学外特別講師 尾田佳代先生)4月28日(月)3限
 6. 心・血管疾患のある人の看護:虚血性心疾患・心不全のある人の身体理解、心臓リハビリテーションにおける看護(関尾裕子)4月28日(月)4限
 7. 病院における患者体験とヘルスケアシステム:慢性疾患の鍵となる問題(長期、不確か、多大な努力重複疾患、侵害的、費用がかかる)と基本的方略(藤原由子)5月12日(月)4限
 8. 腎疾患のある人の看護:慢性腎臓病とともに生活する人への支援、人工透析を受ける人への支援(藤原由子)5月19日(月)4限
 9. がん看護総論(学外特別講師 がん専門看護師 木村有里先生) 5月26日(月)4限
 10. 化学療法・放射線療法を受ける人の看護(藤原由子)6月2日(月)4限
 11. セルフケア支援を促す患者教育:成人学習理論、自己効力を高めるための方略、患者のセルフケアを支援する教育的アプローチ(藤原由子)6月9日(月)4限
 12. アレルギー疾患のある人の看護:アレルギー疾患による身体の変化の理解、アトピー性皮膚炎患者の生活の理解、アレルギー疾患がある人のセルフケア支援(藤原由子)6月16日(月)3限
 13. 終末期にある人の理解と看護:終末期における看護技術、国際的な終末期の捉え方、疼痛のアセスメント、疼痛緩和(藤原由子) 6月16日(月)4限
- 試験 6月23日(月)1限
再試験がある場合は、6月30日(月)3限

科目名	慢性期看護論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	藤原 由子、関尾 裕子、成人分野助手		
[成績評価方法] 各授業後に記載する演習課題(10%)、試験(90%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は次回の講義時、あるはmanabaのコメントで添削し、フィードバックします。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-1／(プロフェッショナリズム) 生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:試験90%、課題10% 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験90%、課題10% 学科DP番号／DP内容:看護2-3／(倫理的実践と道徳的態度) 看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:試験90%、課題10% [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験90%、課題10% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験90%、課題10% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験90%、課題10% 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験90%、課題10% [教科書(ISBN)] 書籍名:【第2版】成人看護 2 慢性期・回復期 著者名:野並 葉子 監修 出版社名:照林社 ISBN: [参考書(ISBN)] 書籍名:慢性疾患を生きる ケアとクオリティ・ライフの接点 著者名:Anselm L. Strauss / J. Corbin / S. Fagerhaugh / Barney G. Glaser / D. Maines / B. Suczek / C. L. Wiener南裕子監訳 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-34861-4 書籍名:慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル 著者名:ピエール ウグ 出版社名:医学書院 ISBN:978-4-260-34172-1			

科目名	薬理学	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川 豊、教務助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 薬が作用する過程を理解するために必要な受容体などの薬の作用点や情報伝達系などの基礎的知識を修得する。さらに、薬物治療に応用できるように、神経系に作用する薬、炎症・アレルギーに対する薬物、抗菌薬や抗悪性腫瘍薬などの作用機構について具体的に理解する。 [授業概要] 疾病の薬物治療において、医師、薬剤師および看護師は、それぞれの立場で協同して治療にかかわらなければならない。そのためには、薬がどのように生体に作用するのかを十分に理解しておく必要がある。「薬理学」は、疾病の治療や予防の目的で使用される薬が、生体にどのように働きかけるのかを科学的に理解しようとする学問である。 本科目では、薬が作用する過程を理解し、治療薬がどこにどのように作用して疾患や症状に対する治療効果をもたらすかを解説する。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し、次回の授業の予習をしておき、日頃から医療に関するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度すること。 [授業計画] 1. 薬理学総論①(4月11日) 生理機能と薬理作用の関係および薬はどのように作用するかを学ぶ。 2. 薬理学総論②(4月18日) 薬の作用点としての受容体と情報伝達機構を学ぶ。 3. 薬理学各論①(4月25日) 生活習慣病治療薬の作用を学ぶ。 4. 薬理学各論②(5月9日) 中枢神経系に作用する薬物の作用を学ぶ。 5. 薬理学各論③(5月16日) アレルギー疾患・自己免疫疾患に作用する薬物の作用を学ぶ。 6. 薬理学各論⑤(5月23日) 感染症に作用する薬物の作用を学ぶ。 7. 薬理学各論⑥(5月30日) 抗悪性腫瘍薬の作用を学ぶ。 8. 試験(6月6日)			

科目名	薬理学	前期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川 豊、教務助手		
[成績評価方法] 試験結果(100%)に基づいて評価する。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験の解答例はmanabaなどで掲示する [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:いちばんやさしい薬理学 はじめてでもスラスラ読めるオールカラー図解 著者名:木澤 靖夫 監修 出版社名:成美堂出版 ISBN:9784415324173 [参考書(ISBN)]			

科目名	養護概説		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	細川 愛美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 養護教諭の行う学校保健活動を理解し、養護教諭の専門性と役割、学校での健康支援の方法を修得する。				
[授業概要] 「児童生徒の養護をつかさどる」専門職である養護教諭は、教育職員の一員として専門性を生かし、学校保健推進の中核的役割を果たしている。 養護教諭の活動は広範囲で多岐にわたり、求められる役割は勤務する校種や対象となる子供たちの発達段階、学校を取り巻く地域の状況によっても変化する。養護教諭の職務の専門性と、養護教諭独自の職務である養護活動について具体的な展開方法を学び、発育・発達段階にある子供たちの健康問題の理解、およびそれらに対する援助方法を習得する。 また、それら、養護教諭が行う学校保健活動の実際を学ぶ中で、専門職として果たすべき役割を論究する。学校内の他の職種や、学校外の専門機関および、保護者・地域との連携についても合わせて学習し、対象に合わせ、保健室の機能を生かした職務を実践できる能力を養う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業を復習し、理解できるようにノート整理をする。また、次回の授業内容の予習をしておくこと。各回、予習・復習を合わせて4時間程度。				
[授業計画] 1.養護教諭とは？ 歴史と職務内容、関係法規について学ぶ。(12月10日水曜日)4限 2.学校保健計画の作成と保健室経営について学ぶ。(12月10日水曜日)5限 3.保健教育についての概要、および、保健指導の手法を学ぶ。(12月12日金曜日)1限 4.保健指導案作成の体験を通して、作成方法と保健指導の在り方を学ぶ。(12月12日金曜日)2限 5.健康観察・保健調査について、意義と手法を学ぶ。(12月17日水曜日)3限 6.学校でよく見られる感染症とその対応、および、疾病管理について学ぶ。(12月17日水曜日)4限 7.養護教諭のフィジカルアセスメントと救急処置について、外科的事例をあげ、具体的な対応を学ぶ。(12月19日金曜日)3限 8.養護教諭のフィジカルアセスメントと救急処置について、内科的事例をあげ、具体的な対応を学ぶ。(12月19日金曜日)4限 9.心臓疾患、腎臓疾患、糖尿病等、慢性的な疾患を持つ子供の学校での健康管理について学ぶ。(1月7日水曜日)3限 10.内科検診・歯科検診・耳鼻科検診・眼科検診、法に定められたその他の検診について、意義、目的および実施手順と事後措置を学ぶ。(1月7日水曜日)4限 11.身体測定、視力検査、聴力検査について実施手順と事後措置を学ぶ。(1月20日火曜日)3限 F209 12.身体測定、視力・聴力検査について体験し、実施方法を学ぶ。(1月20日火曜日)4限 F209 13.まとめ、保健指導の実践発表会 (1月21日水曜日)3限 14.試験 (1月28日水曜日)4限				

科目名	養護概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川 愛美		
[成績評価方法] 授業への取り組み姿勢、レポート、小テスト等(50%) 定期試験(50%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 次の授業の冒頭で、レポートの講評を行う。 後日、manabaにて試験の講評、解説を行う [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護2-1／(人間性の涵養) 多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 学科DP番号／DP内容:看護2-2／(看護の表現力) 自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 学科DP番号／DP内容:看護3-1／(社会参加) 社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していける。 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、レポート、授業への取り組み姿勢(50%)、理解度確認テスト(50%) [教科書(ISBN)] 書籍名:養護教諭の活動の実際 著者名:静岡県養護教諭研究会 出版社名:東山書房 ISBN:9784827814873 [参考書(ISBN)]			

科目名	予防看護論	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西原 詩子、東 ますみ、生活援助分野助手		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 1.1次予防、2次予防、3次予防について述べるができる。 2. 集団への看護と個への看護の関連性を述べるができる。 3. 生活習慣病と関連する生活習慣(生活行動)について述べるができる。 4. 生活習慣病予防に関する施策と看護の関連性について述べるができる。 5. 生活習慣変容に関する諸理論と対象者自身が捉える主観的な生活との違いを理解する。 [授業概要] 看護師免許を持つ教員が、以下の授業概要が理解できるように講義する。 生活習慣病を理解し、健康的な生活習慣づくりを支援する看護について学びを深める。 健康状態と保健行動の分類から、1次予防、2次予防、3次予防について理解する。また疾病管理の考え方をもとに、集団への看護と個への看護の関連性について理解する。 生活習慣変容に関する諸理論(健康信念モデル、自己効力理論、変化ステージモデル、エンパワメントモデル等)を概観し、様々な看護のアプローチ法があることを知る。 さらに客観的に捉えることを目指したそれら諸理論と対象者が主観的に捉える生活には違いがあることを知り、対象者とともに対象者が望む健康生活を創造する看護とはどのようなものかについて理解を深める。 [準備学修(予習・復習)の内容・時間] 関連する文献等を読み理解し、自身の考えを整理しておいてください。日頃から自分自身や他者の生活に関心を持ち、様々な視点で生活を捉えることを意識してください。(各回、予習復習合わせて2時間程度。) [授業計画] 1. 健康状態と保健行動の分類(西原詩子)(12月8日月曜日)3限 2. 集団への看護と個への看護(西原詩子)(12月8日月曜日)4限 3. 生活習慣変容に関する諸理論の概観①(東ますみ)(12月11日木曜日)1限 4. 生活習慣変容に関する諸理論の概観②(東ますみ)(12月11日木曜日)2限 5. 行動変容を促す、教育・指導方法に必要なアセスメント(生活を理解する)(西原詩子)(12月15日月曜日)3限 6. 行動変容を促す、教育・指導方法の実際(西原詩子)(12月15日月曜日)4限 7. 対象者が望む健康生活を支援する看護を考える。(西原詩子)(12月16日火曜日)1限 8. 試験(12月18日木曜日)2限 教室 F304			

科目名	予防看護論	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西原 詩子、東 ますみ、生活援助分野助手		
[成績評価方法] 理解度確認試験(80%)、授業への取組(20%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後、解答の解説を行います。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 学科DP番号／DP内容:看護1-3／(人が病むことへの関心と理解) 生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験、グループワーク等での発言内容や取り組み態度			
[教科書(ISBN)] 書籍名:医療・保健スタッフのための 健康行動理論の基礎第2版 生活習慣病を中心に 著者名:松本 千明 出版社名:医歯薬出版 ISBN:9784263710685 [参考書(ISBN)] 書籍名:健康行動理論による研究と実践 著者名:日本健康教育学会／編集 神馬征峰／〔ほか〕執筆 出版社名:医学書院 ISBN:9784260036351 書籍名:国民衛生の動向 2024/2025 著者名: 出版社名:厚生労働統計協会 ISBN:			

科目名	理化学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル	Introduction to Chemical Science	講義	
担当者	加藤 憲司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

看護専門領域の科目を理解するための化学の基礎知識を身につけ、以後の専門学習の準備とする。また、高等学校における化学の内容を基盤とした化学的現象と、日常のトピックスとの繋がりを理解することを目指す。

[授業概要]

化学分野の知識は、生体内で起こる様々な変化、機能などを理解し、人体の機能や病態の理解を深めるために必要なものである。本講義では、看護・医療の現場において遭遇する多くの現象を理解するために必要となる化学の基礎的な知識を学習する。なお本科目は、高等学校で化学(科目名に「基礎」が付かないもの)を未履修である人の受講を想定している。したがって、高等学校で化学を履修済みの人は、本科目を選択しないことが望ましい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

教科書の該当部分を事前に読んで授業に臨むこと。

[授業計画]

1. 物質の構成 (4月10日木曜日)3限
2. 原子構造と周期表 (4月17日木曜日)3限
3. 化学結合 (4月24日木曜日)3限
4. 原子量・分子量・式量 (5月 8日木曜日) 3限
5. 物質と化学反応式 (5月15日木曜日)3限
6. 酸と塩基 (5月22日木曜日)3限
7. 酸化還元反応 (5月29日木曜日)3限
8. 酵素反応 (6月 5日木曜日) 3限
9. 有機化合物 (6月12日木曜日)3限
10. 糖質 (6月19日木曜日)3限
11. 脂質 (6月26日木曜日)3限
12. タンパク質 (7月 3日木曜日) 3限
13. 核酸 (7月10日木曜日)3限

科目名	理化学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル	Introduction to Chemical Science	講義	
担当者	加藤 憲司		
[成績評価方法] 小テスト 80% 授業態度 20% [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaの機能を通じてレポートの内容に関するフィードバックを行う。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:看護1-2／(科学的根拠に基づいた課題対応能力) 人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法: [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: [教科書(ISBN)] 書籍名:生理学・生化学につながる ていねいな化学 著者名:白戸亮吉・小川由香里・鈴木研太 出版社名:羊土社 ISBN:9784758121002 [参考書(ISBN)]			